

2026年2月号

# 海外情報

産業機械業界をとりまく動向



一般社団法人 日本産業機械工業会

◎ジェトロ・シカゴ事務所

JETRO, CHICAGO

1 East Wacker Drive., Suite 3350

Chicago, Illinois 60601, U.S.A

Tel. : 1 - 312 - 832 - 6000

Facsimile : 1 - 312 - 832 - 6066

調査対象地域

アメリカ, カナダ

◎ジェトロ・ウィーン事務所

JETRO, WIEN

Parkring 12a/8/1,

1010 Vienna, Austria

Tel. : 43 - 1 - 587 - 56 - 28

Facsimile : 43 - 1 - 586 - 2293

調査対象地域

オーストリア及びその他の  
西欧諸国, 東欧諸国並びに  
中近東諸国, 北アフリカ諸  
国

調査対象機種

ボイラ・原動機, 鉱山機械, 化学機械, 環境装置, タンク, プラスチック機械, 風水力機械,  
運搬機械, 動力伝導装置, 製鉄機械, 業務用洗濯機, プラント・エンジニアリング等

# 海外情報

## — 産業機械業界をとりまく動向 —

2026年2月号 目次

### 調査報告

- (ウィーン) EU 諸国のエネルギー動向と代替エネルギーの導入状況 ..... 1
- (シカゴ) シカゴ連邦準備銀行の経済アウトルック・シンポジウムについて ..... 11

### 情報報告

- (ウィーン) 欧州の産業施設における火災・爆発防護の規制と技術動向 (その1) ..... 19
- (ウィーン) ホワイト水素の利活用とプロジェクト動向 ..... 27
- (ウィーン) 欧州環境情報 ..... 33
- (シカゴ) 米国環境産業動向 ..... 42
- (シカゴ) 最近の米国経済について ..... 46
- (シカゴ) 化学プラント情報 ..... 56
- (シカゴ) 米国産業機械の輸出入統計 (2025年10月) ..... 57
- (シカゴ) 米国プラスチック機械の輸出入統計 (2025年10月) ..... 73
- (シカゴ) 米国の鉄鋼生産と設備稼働率 (2025年10月) ..... 78

### 駐在員便り

- (ウィーン) ウィーンの冬景色 ..... 85
- (シカゴ) シカゴの冬の気候について ..... 87

## EU 諸国のエネルギー動向と代替エネルギーの導入状況

### 1. ロシアによるウクライナ侵攻以降のエネルギー政策の変化

2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻以降、EUは欧州グリーンディールを軸とした気候変動対策を維持しつつも、エネルギー安全保障をより重視する政策へと舵を切った。同年3月のヴェルサイユ宣言では、ロシア産エネルギーからの段階的な依存脱却が合意され、5月にはその実現に向けた包括的戦略として「REPowerEU計画」が発表された。同計画は、安全保障上の脅威となっているロシア産エネルギーの輸入を段階的に廃止しつつ、エネルギー転換の加速と供給源の多様化を進めることで、供給の安全性や市場の安定性を確保することを目的としている。

これまでに講じられた措置により、ロシア産天然ガスの輸入量は2021年の1,500億立方メートルから2024年には520億立方メートルへと減少し、輸入シェアも45%から19%へと大幅に低下した。ロシア産石炭の輸入は、制裁措置により全面的に禁止され、石油の輸入比率も2022年初頭の27%から現在は3%まで縮小している。原子力分野では、ロシア型加圧水型原子炉（VVER）を使用する加盟国が、他国製核燃料への切り替えを進めている。

2025年5月、欧州委員会はロシア産エネルギーへの依存を完全に断つための道筋を示す「REPowerEUロードマップ」を発表し、加盟国に対して2025年末までにロシア産エネルギーの輸入廃止に向けた国家計画を策定するよう求めた。同ロードマップでは、以下の具体的措置が示されている。

- 天然ガス：2027年末までにロシア産ガスの輸入を全面停止し、ロシアのガス供給業者との新規契約を禁止。既存のスポット契約も2025年末までに廃止する。
- 石油：ロシアが制裁回避のために運用する「シャドーフリート（影の船団）」による石油輸送に対し、新たな対策を導入する。
- 原子力：Euratom供給機関（ESA）が共同署名するロシア由来のウラン、濃縮ウラン、その他の核物質に関する新規供給契約の制限を導入する。

2025年6月には、ロシア産ガス輸入を実質的に禁止し、ロシア産石油の段階的廃止を確実にするための法案が提出され、同年12月に欧州議会とEU理事会が政治合意に達した。今回の合意により、ロシア産液化天然ガス（LNG）は2026年12月31日までに、パイプラインガスは2027年9月30日までに段階的に廃止されることとなった。加盟国の貯蔵量が必要な充填水準を下回る場合には、期限を2027年10月31日まで延長できる例外措置も設けられている。したがって、遅くとも2027年11月までにEUはロシア産ガスの輸入を完全かつ最終的に停止することとなり、当初案よりも前倒しされた形で輸入禁止が実現する見通しである。

一方、今回の合意にはロシア産石油の輸入禁止に関する規定は含まれていないものの、

欧州委員会は2026年初頭にロシア産石油輸入の段階的廃止に向けた法案を提出する方針を示している。これにより、現在認められている輸入も2027年末までに全面的に禁止される見込みである。

## 2. 代替エネルギー（再生可能エネルギー、バイオマスなど）の導入状況

以下に掲載されているデータは、EUの統計局であるEurostatが発行した2025年版のエネルギー統計に基づくものである。なお、下図に記載の国コードは以下の通り：

IS（アイスランド）、IE（アイルランド）、IT（イタリア）、EE（エストニア）、AT（オーストリア）、NL（オランダ）、CY（キプロス）、EL（ギリシャ）、HR（クロアチア）、SE（スウェーデン）、ES（スペイン）、SK（スロバキア）、SI（スロベニア）、CZ（チェコ）、DK（デンマーク）、DE（ドイツ）、NO（ノルウェー）、HU（ハンガリー）、FI（フィンランド）、FR（フランス）、BG（ブルガリア）、BE（ベルギー）、PL（ポーランド）、PT（ポルトガル）、MT（マルタ）、LV（ラトビア）、LT（リトアニア）、RO（ルーマニア）、LU（ルクセンブルク）

### エネルギーミックス

EUで利用可能なエネルギーは、EU域内で生産されるエネルギーと域外（非EU諸国）から輸入されるエネルギーによって構成されている。したがって、EU全体で利用可能なエネルギーの状況を正確に把握するためには、生産量だけでなく輸入量との関係を踏まえて評価する必要がある。2023年において、EUは自らの需要の約42%を域内生産で賄い、残る58%を輸入に依存していた。

2023年におけるEUのエネルギーミックス（利用可能なエネルギー源の構成）は、以下の5つのエネルギー源から成り立っていた：原油及び石油製品（37.7%）、天然ガス（20.4%）、再生可能エネルギー（19.5%）、原子力（11.8%）、固体燃料（10.6%）。

EU加盟国間では、利用可能エネルギーに占める各エネルギー源の割合が大きく異なる。2023年には、石油製品の比率が最も高かったのはキプロス（86.3%）、マルタ（85.6%）、ルクセンブルク（61.1%）であった。一方、天然ガスはイタリア（34.8%）、オランダ（29.5%）、ハンガリー（29.1%）、アイルランド（28.5%）で重要なエネルギー源となっていた。再生可能エネルギーの割合が最も高かったのはスウェーデン（50.2%）とラトビア（44.7%）であり、原子力はフランスで39.1%、スロバキアで28.8%を占めた。固体燃料の比率はエストニア（53.4%）とポーランド（35.5%）で最も高かった。

### エネルギー生産

EUにおけるエネルギーの生産は、固体燃料、天然ガス、原油、原子力、そして水力・風力・太陽光などの再生可能エネルギーといった多様なエネルギー源に分散している。

再生可能エネルギーは、EUにおけるエネルギー生産の中で最も高い割合を占めている。

2023年には再生可能エネルギーがEU全体のエネルギー生産の46%を占め、最大の供給源となった。次いで原子力エネルギーが29%、固体燃料が17%、天然ガスが5%、原油が3%となっている。

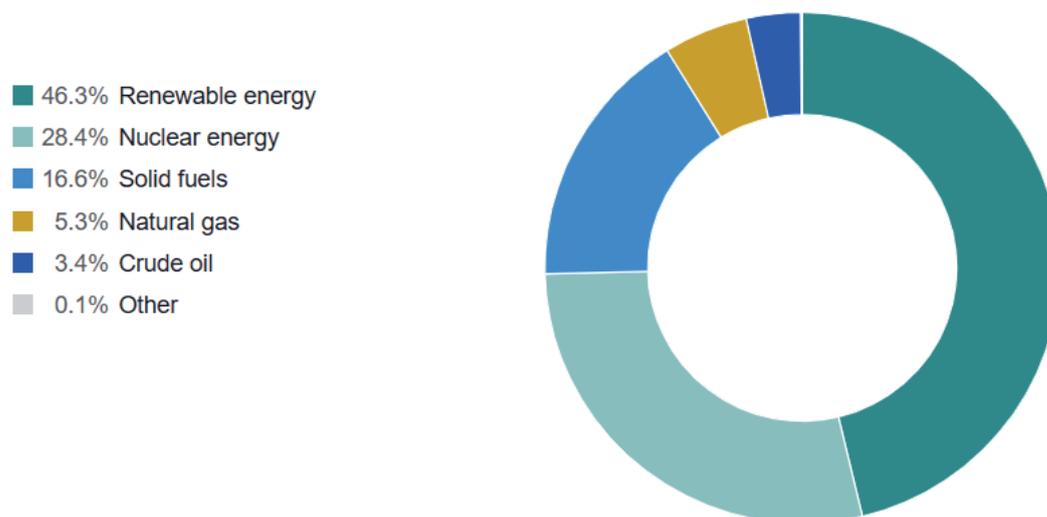


図1. 2023年におけるEUのエネルギー生産の電源別構成比

出典：Shedding light on energy in Europe - 2025 edition, Eurostat

一方で、エネルギーの生産状況はEU各国で大きく異なる。2023年には、マルタでは再生可能エネルギーのみが生産されており（つまり他の種類のエネルギーは生産されていない）、他の15の加盟国でも再生可能エネルギーがエネルギー生産の半分以上を占めた。具体的には、ラトビアで99.4%、ポルトガルで98.0%、キプロスで96.5%を記録している。原子力の生産が特に多かったのは、フランス（国内総生産の72%）、スロバキア（65%）、ベルギー（59%）。固体燃料が主なエネルギー源となっているのは、ポーランド（67%）、エストニア（59%）、チェコ（43%）。天然ガスの割合が最も高かったのは、オランダ（41%）、ルーマニア（35%）、アイルランド（31%）。原油の割合が最も高かったのはデンマーク（30%）であった。

### エネルギー輸入

EUは自国のエネルギー消費を賄うために、非EU諸国からのエネルギー輸入も必要としている。2023年におけるEUの主な輸入エネルギー製品は、原油を含む石油及び石油製品で全体の65%を占めた。これに続くのが天然ガス（25%）、固体化石燃料（5%）、電力（3%）、再生可能エネルギー（2%）であった。

2023年におけるEU諸国のエネルギー輸入に関して、石油及び石油製品の割合が最も高かったのはキプロス（96%）とマルタ（88%）であった。天然ガスではハンガリーとイタリアがともに36%、固体化石燃料ではポーランドとスロバキアがともに15%、電力ではエストニア（28%）とルクセンブルク（16%）、再生可能エネルギーではデンマーク（9%）とスウェーデン（6%）がそれぞれ最も高い割合を占めている。

2023年、EUにおける主要なエネルギー供給国は、石油・石油製品では米国、天然ガスではノルウェー、固体化石燃料（主に石炭）ではオーストラリアであった。2023年にEU域外から輸入された石油・石油製品のうち、49%は以下の5か国からのものであった：米国（15%）、ノルウェー（12%）、サウジアラビア及びカザフスタン（ともに8%）、英国（7%）。EUの天然ガス輸入の71%はノルウェー（27%）、米国（19%）、アルジェリア（14%）、ロシア（11%）であった。固体化石燃料（主に石炭）の最大の輸入元はオーストラリア（24%）で、次いで米国（23%）、コロンビア（17%）、南アフリカ（13%）となっている。

2022年には、ロシアが石油・石油製品（21%）、天然ガス（23%）、固体化石燃料（23%）の全ての主要輸入カテゴリにおいてEU最大の供給国であったが、2022年以降のロシアによるウクライナ侵攻に伴うEUの制裁措置により、2023年にはそれぞれの割合が石油・石油製品で4%、天然ガスで11%、固体化石燃料で1%にまで低下した。

### エネルギー輸入依存率

エネルギー輸入依存率とは、ある経済圏が自国のエネルギー需要を満たすために、どれほど輸入に依存しているかを示す指標である。これは、域内総エネルギー消費量（国内生産と純輸入の合計）に占める純輸入（輸入から輸出を差し引いた値）の割合で測定される。

2023年において、EUのエネルギー輸入依存率は58%であり、EUのエネルギー需要の約60%が純輸入によって賄われていたことになる。ただし、この依存率は加盟国によって大きく異なり、マルタでは98%、キプロスでは92%、ルクセンブルクでは91%と非常に高い一方で、エストニアではわずか3%であった。

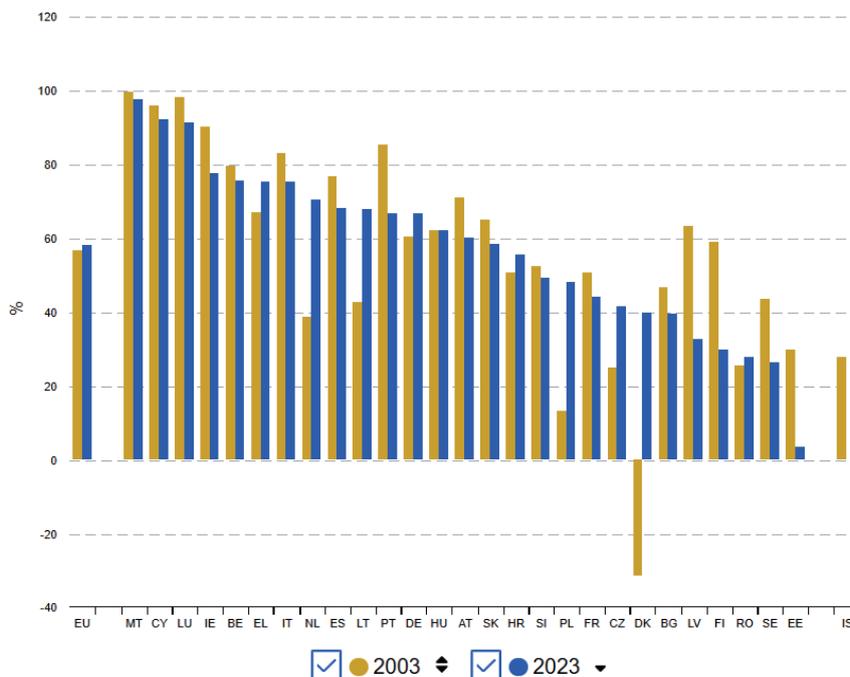


図2. エネルギー輸入依存率（TJ換算の総利用可能エネルギーに占める純輸入の割合）

出典：Shedding light on energy in Europe - 2025 edition, Eurostat

## エネルギー消費

2023年にEUで利用可能であったエネルギーの内、67%が最終消費（家庭、産業、輸送などのエンドユーザーによる消費）として使用された。残る33%は、主に発電・送電の過程で失われたエネルギー、エネルギー生産プロセスを支えるために使用されたエネルギー、あるいはアスファルトやビチューメンのような非エネルギー用途で消費されたものである。

2023年のEUにおける最終エネルギー消費では、石油製品（暖房用油、ガソリン、ディーゼル燃料など）が全体の37%を占め、最も大きな割合となった。これに続くのは、電力（23%）、天然ガス及び製造ガス（20%）、再生可能エネルギーの直接利用（電力に変換されないもの。例えば、暖房や給湯に用いられる木材、太陽熱、地熱、バイオガスなどで13%）、熱供給（地域熱供給などで5%）、固体燃料（主に石炭で2%）であった。

再生可能エネルギーの実質的な消費量（25%）は、直接利用分（13%）よりも多かった。これは、水力、風力、太陽光発電といったその他の再生可能エネルギー源が電力消費に含まれているためである。

EU加盟国間では、2023年の最終エネルギー消費の構成が大きく異なっていた。石油製品は5か国で最終消費の半分以上を占め、キプロスとルクセンブルクでは56%、ギリシャとマルタでは54%、アイルランドでは51%に達した。電力の割合はマルタで39%、スウェーデンで33%と高く、ガスはオランダで34%、スロバキアで29%を占めた。再生可能エネルギーの直接利用は、スウェーデンで30%、フィンランドで29%と高い比率を示した。

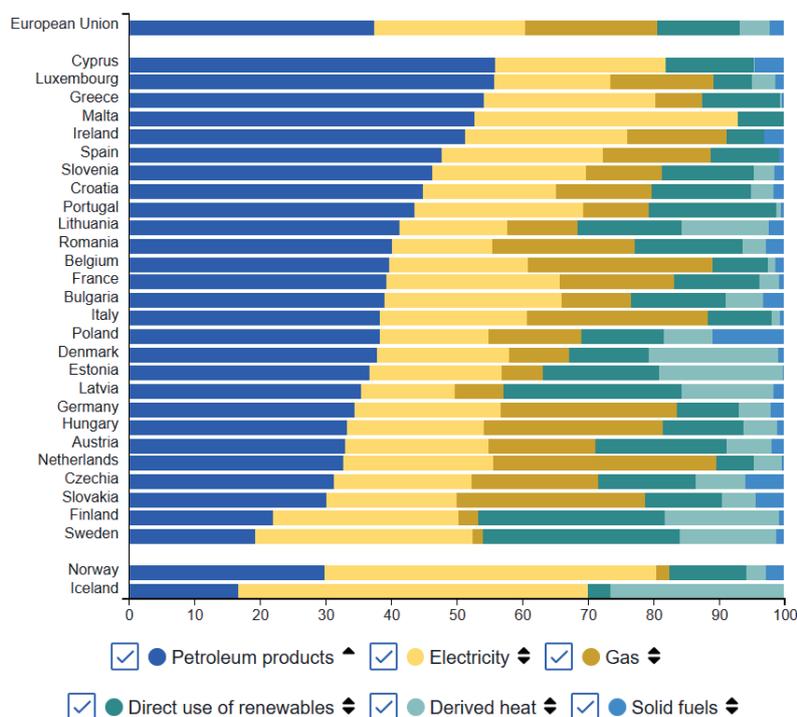


図3. 2023年における最終エネルギー消費に占めるエネルギー製品の割合 (%)

出典: Shedding light on energy in Europe - 2025 edition, Eurostat

### 電力生産

2023年、EUにおける最終エネルギー消費のうち23%が電力であり、その電力は様々なエネルギー源から供給された。電力生産においては、再生可能エネルギー（44%）と化石燃料（31%）が主な供給源であり、原子力発電（23%）を上回る割合となっている。

再生可能エネルギーの中では、風力発電が最も高い割合（18%）を占め、次いで水力発電（12%）、太陽光発電（9%）、バイオ燃料（5%）が続く。

電力の供給源はEU加盟国によって大きく異なる。2023年には、化石燃料による電力生産の割合が最も高かったのはマルタ（86%）、キプロス（80%）、ポーランド（72%）であった。一方、原子力発電の割合が最も高かったのはフランス（約65%）、次いでスロバキア（62%）。デンマークでは電力の57%が風力発電によって供給され、ラトビアでは59%が水力発電、次いでオーストリアが58%となっている。バイオ燃料（24%）と太陽光発電（21%）の割合が最も高かったのはルクセンブルクであった。

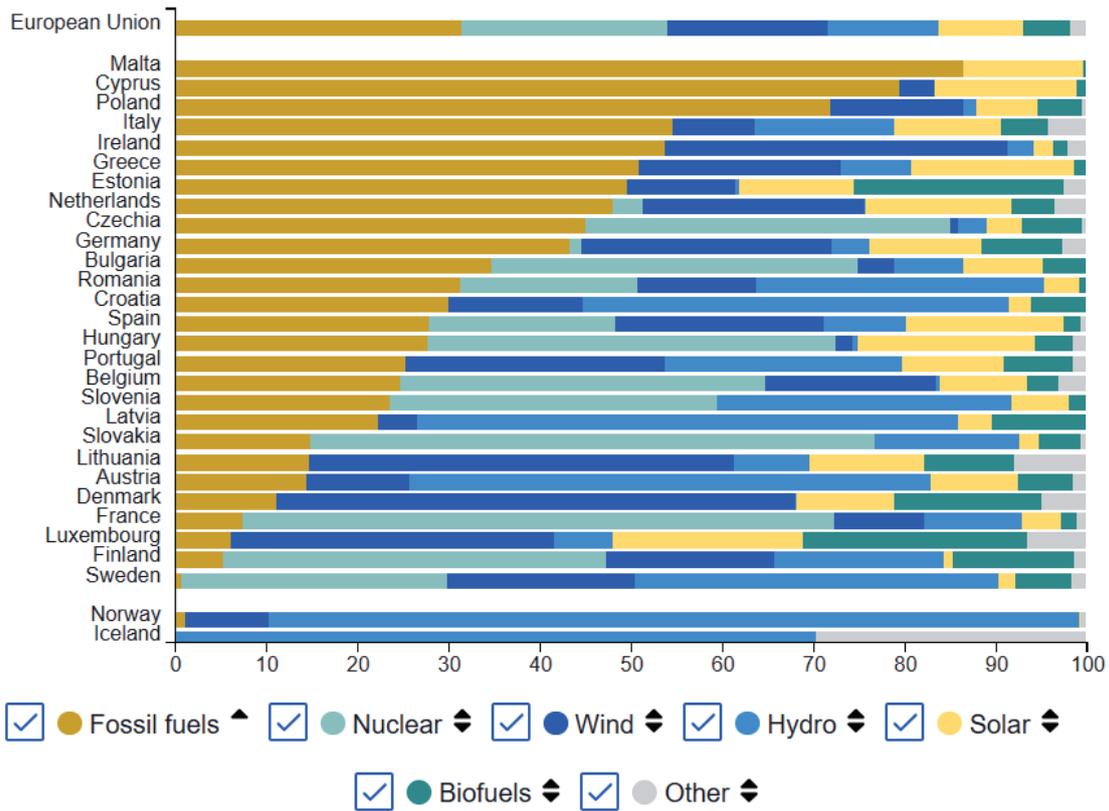


図4. 2023年の電源別発電量の割合 (%)

出典: Shedding light on energy in Europe - 2025 edition, Eurostat

### 電力・ガス価格

EU加盟国間で電力及びガス価格を比較するため、各国の国内価格はユーロ建てに換算されている。ユーロ圏外の国については、為替レートの変動がユーロ表示の価格に影響を及ぼす可能性がある。

## 電力価格

2024年上半期において、税金及び各種賦課金を含む家庭向け電力料金が最も高かったのはドイツ（100kWh当たり40ユーロ）、次いでアイルランドとデンマーク（いずれも37ユーロ）であった。一方、最も低かったのはハンガリー（11ユーロ）とブルガリア（12ユーロ）であった。

電力料金に占める税金・賦課金の割合は、ポーランド（50%）とデンマーク（49%）で最も高く、ルクセンブルク（-49%）とオーストリア（-8%）で最も低かった。これらの国では、家庭向け補助金や給付金により税負担が実質的にマイナスとなっている。

非家庭部門（産業・事業者向け）では、付加価値税（VAT）及びその他の還付可能な税・賦課金を除いた電力料金は、アイルランドの100kWhあたり26ユーロから、フィンランドの9ユーロまで幅があった。

## ガス価格

2024年上半期において、税金及び各種賦課金を含む家庭向け天然ガス価格が最も高かったのはスウェーデン（100kWh当たり18ユーロ）とオランダ（16ユーロ）であり、最も低かったのはハンガリー（3ユーロ）とクロアチア（4ユーロ）であった。

ガス価格に占める税金・賦課金の割合は、オランダ（54%）とデンマーク（49%）で最も高く、ルクセンブルク（-9%）とクロアチア（5%）で最も低かった。ルクセンブルクでは、家庭向け補助金により実質的に税負担がマイナスとなっている。

非家庭部門（産業・事業者向け）の天然ガス価格（付加価値税（VAT）及びその他の還付可能な税・賦課金を除く）は、スウェーデンで100kWh当たり10ユーロ、フィンランドで9ユーロと最も高く、ブルガリアとギリシャではいずれも4ユーロと最も低かった。

## エネルギー効率

エネルギー・ユニオン戦略の優先事項の一つは、EU全体のエネルギー使用量を削減し、より費用対効果の高い方法でエネルギーを管理することでエネルギー効率を高めることである。エネルギー効率の改善は、エネルギー節約、環境保護、気候変動の緩和、そしてEUの石油・ガスの域外供給国への依存低減に寄与する。

エネルギー使用量を減らすためには、一次エネルギー消費と最終エネルギー消費ともに削減する必要がある。エネルギー効率の向上とは、エネルギー需要全体と、個人が直接使用するエネルギーの両方を減らすことを意味する。

2023年のEUにおける一次エネルギー消費量は1,211百万トン（石油換算、Mtoe）となり、2022年比で3.9%減少した。これは、この指標が公表され始めた2005年以降で最も低い水

準である。2023年の値は、2030年のEU目標（一次エネルギー消費1,128 Mtoe以下）まであと7.3%の削減が必要となる水準である。

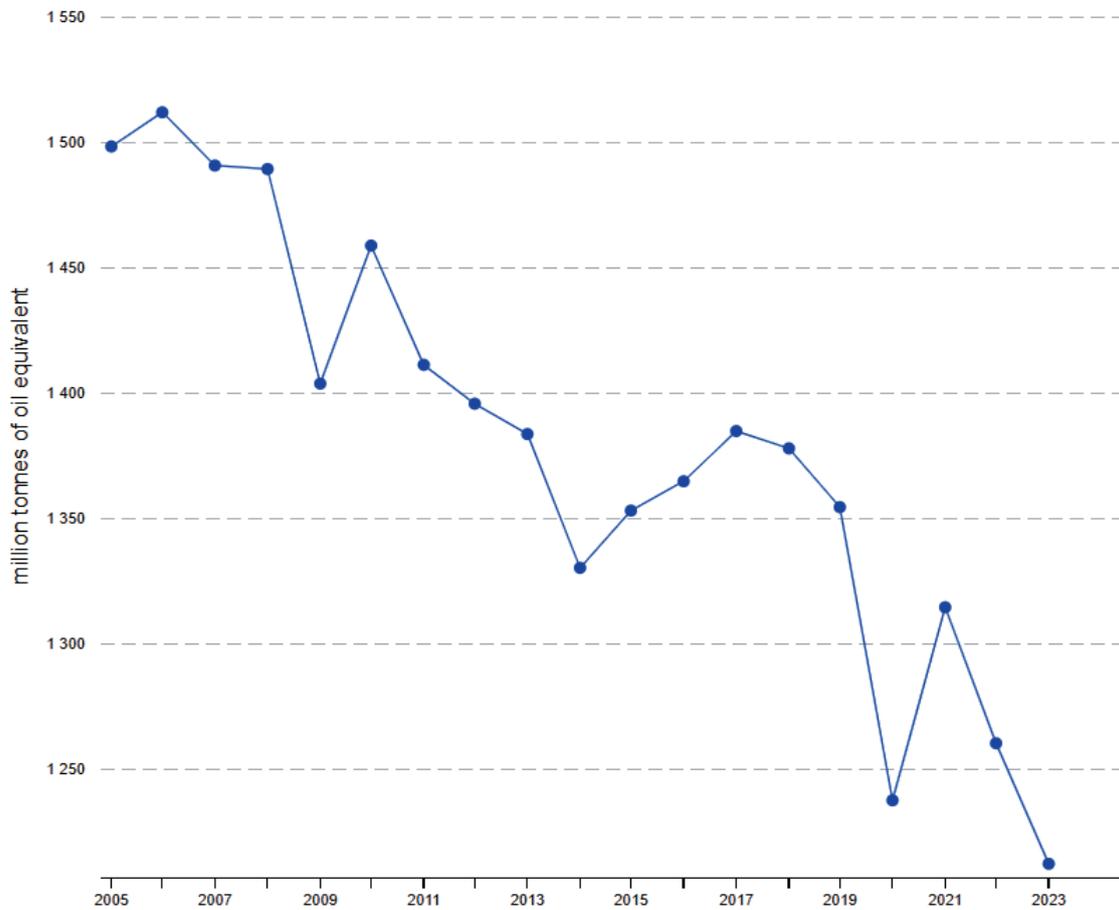


図5. 一次エネルギー消費量の推移（百万トン石油換算）

出典：Shedding light on energy in Europe - 2025 edition, Eurostat

また、最終エネルギー消費も2023年に減少し、894 Mtoe（2022年比-3.0%）となった。これは、COVID-19パンデミックの影響を受けた2020年を除けば、2005年以降で最も低い水準である。2023年の値は、2030年目標（最終エネルギー消費846 Mtoe以下）まで5.7%の削減が必要な状況にある。

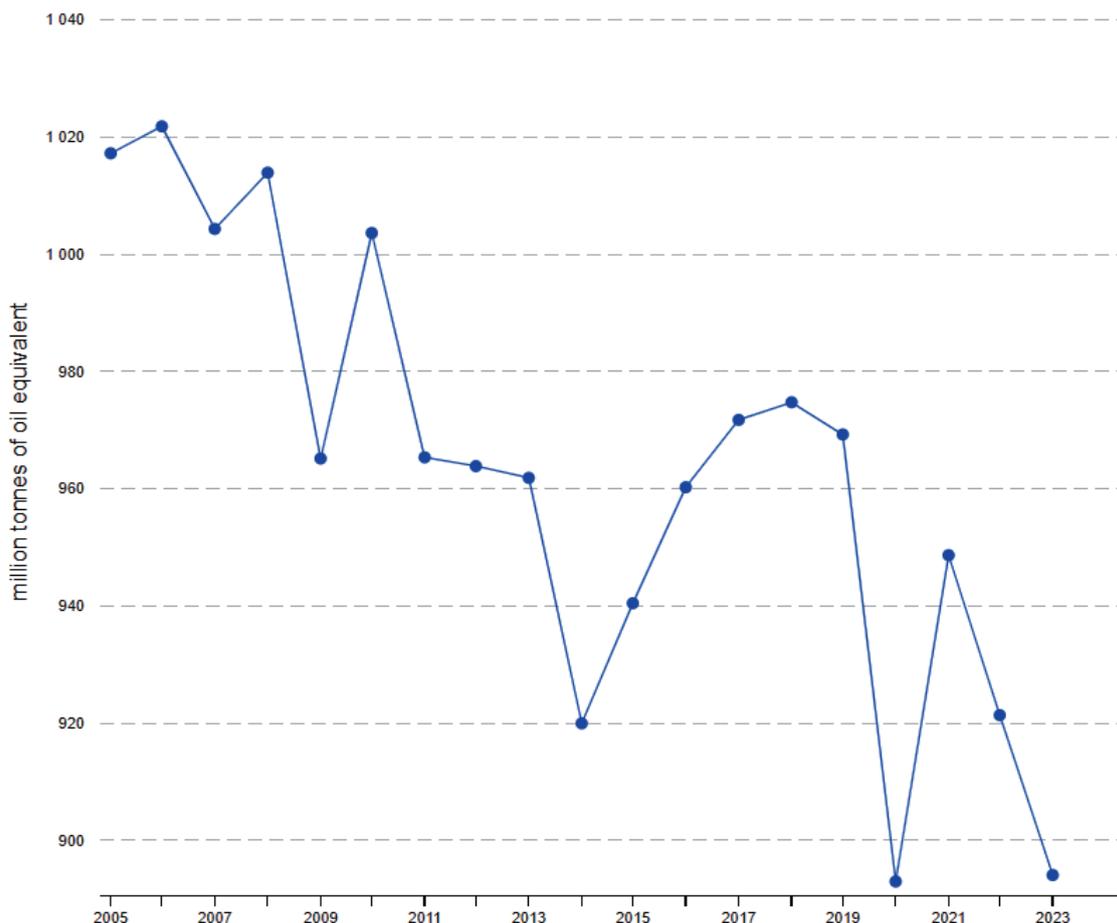


図6. 最終エネルギー消費量の推移（百万トン石油換算）

出典：Shedding light on energy in Europe - 2025 edition, Eurostat

### 再生可能エネルギー

EUにおける最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合は、2004年の9.6%から2013年には16.7%、そして2023年には24.6%へと着実に増加してきた。唯一減少が見られたのは2021年で、これはパンデミックに伴うCOVID-19規制が解除され、その影響が大きかったためである。現在のEU目標は、2030年までに再生可能エネルギー比率を42.5%に引き上げることである。

2023年において、再生可能エネルギーの割合が最も高かったのはスウェーデン（66.4%）で、フィンランド（50.8%）、デンマーク（44.4%）が続いた。一方、最も低かったのはルクセンブルク（14.4%）、ベルギー（14.7%）、マルタ（15.1%）であった。これらの違いは、主に水力発電の建設可能性やバイオマスの利用可能性といった自然資源の賦存状況の差に起因している。

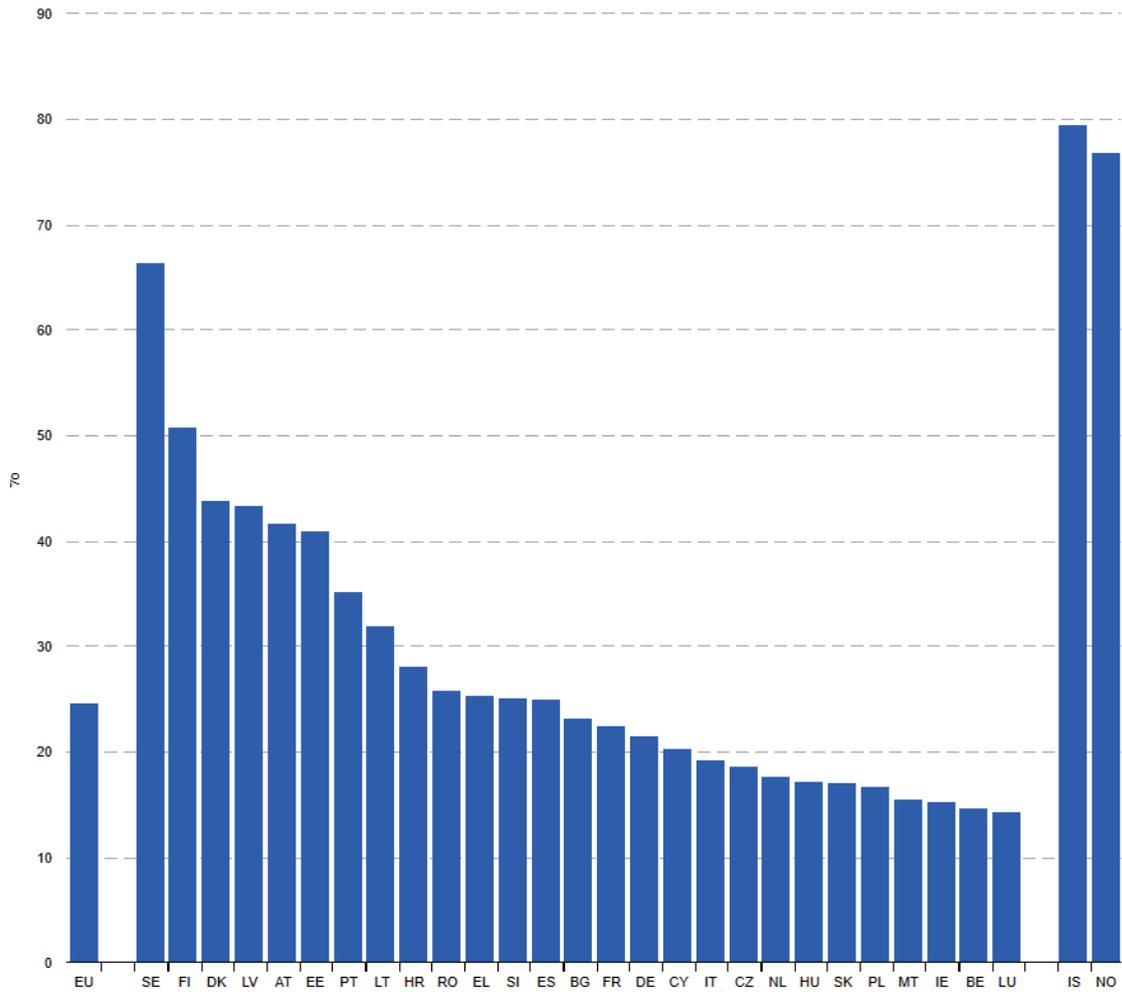


図7. 2023年の最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合 (%)

出典: Shedding light on energy in Europe - 2025 edition, Eurostat

(参考資料)

• EU agrees to permanently stop Russian gas imports and phase out Russian oil, December, 2025, European Commission

([https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip\\_25\\_2860](https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_25_2860))

• Shedding light on energy in Europe - 2025 edition, Eurostat

## シカゴ連邦準備銀行の経済アウトルック・シンポジウムについて

2025年12月12日、シカゴ連邦準備銀行の経済アウトルック・シンポジウムが開催された。本シンポジウムは、シカゴ連邦準備銀行が毎年開催している経済会議で、米国経済の現状と翌年の見通しについて、学者・企業経済担当者・業界専門家らが議論するイベントである。39回目の開催を迎えた今回は、2026年に向けた米国経済の動向を中心に、2026年の米国経済のコンセンサス予測、物価動向、労働市場、自動車産業・消費者動向などの主要セクターの見通しをテーマに議論が行われた。本レポートでは、各セッションのポイントを紹介する。



### 2026年のコンセンサス見通し

トーマス・ウォルストラム（シカゴ連邦準備銀行主席ビジネスエコノミスト）

今後4四半期における米国実質GDPのコンセンサス予測は、トレンド成長率に近い、あるいは2%をわずかに下回る水準（1.9%）である。失業率は4.6%へ小幅上昇が見込まれ、インフレ率も2.9%へ上昇する見通しだ。10年物国債利回りは4.1%へわずかに低下すると予測されている。全体として経済は良好な状態にあり、2026年も同様の傾向が続くだろう。

## Growth to stay near trend

Median for Q2-2025 to Q2-2026

EOS: 1.9%  
 Blue Chip: 1.7%  
 FOMC SEP longer run: 1.8%

### Real GDP Growth

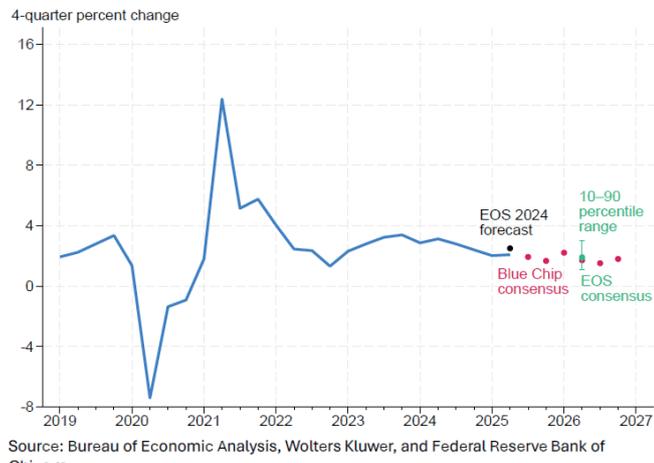


図1 GDP 成長率予測

## Unemployment continues slight upward trajectory

Median for Q3-2026

EOS: 4.6%  
 Blue Chip: 4.5%  
 FOMC SEP longer run: 4.2%

### Unemployment rate

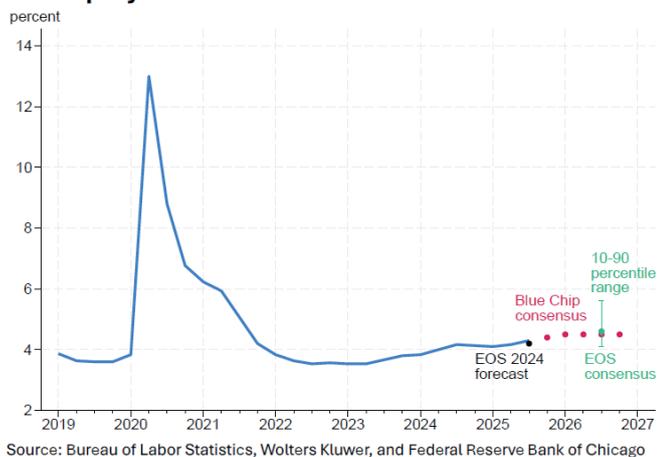


図2 失業率予測

## Inflation to swing up some

Median for Q3-2026

EOS: 2.9%  
 Blue Chip: 3.0%  
 FOMC SEP longer run: 2.0%

### Personal Consumption Expenditures price index

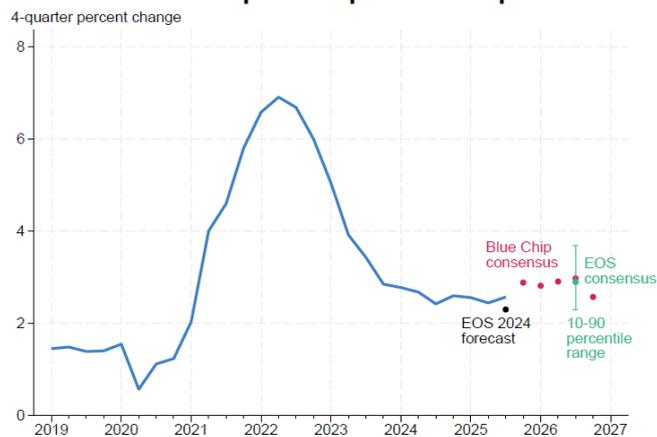


図3 インフレ率予測

## Long run rates to come down just a bit

Median for Q3-2026

EOS: 4.1%  
 Blue Chip: 4.0%

### Yield on 10-year Treasury note

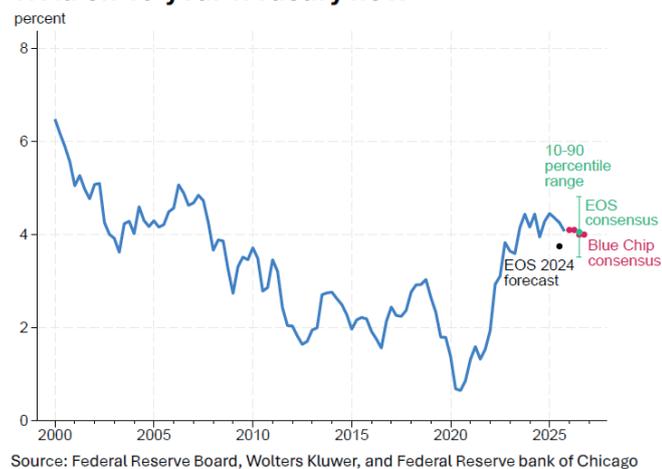


図4 10年物国債利回り予測

## 北米自動車業界見通し

コリン・ショー（MENA 純正部品供給業者協会会長）

自動車産業は依然として米国最大の製造業セクターであり、直接雇用者数は 93 万人超（間接雇用者数はさらに 450 万人）、米国 GDP の約 2.5% を占めている。S&P グローバル・モビリティの予測によれば、米国実質 GDP 成長率は 2027 年末まで四半期ごとに 1.6% から 2.3% の範囲で推移する見込みだ。

### U.S. Economic Growth is Positive

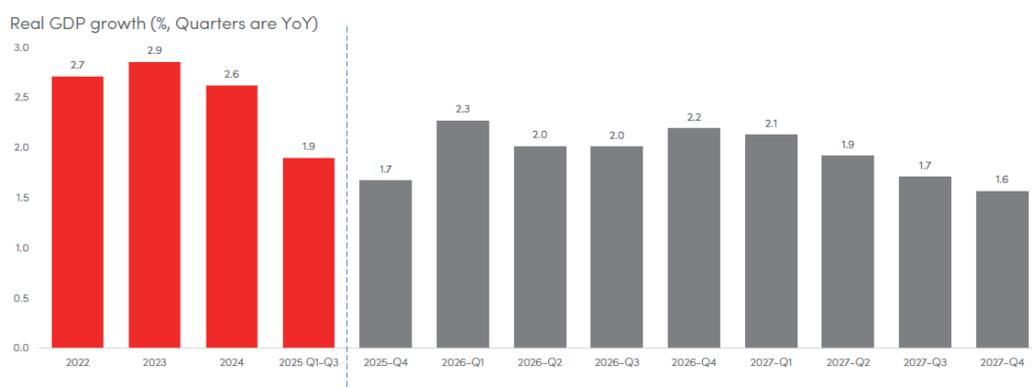


図 5 GDP 成長率予測

しかし、現在の経済成長を牽引しているのは製造業ではなく、データセンターと AI である。世界の自動車（乗用車、SUV、小型トラック等の小～中型車両）販売台数は今後 10 年間で大きな伸び余地がない。東南アジア、インド、南米の一部を除き、主要自動車市場は既に成熟している。米国は依然として最も収益性の高い市場だ。世界の自動車販売台数は 2025 年の約 9000 万台から、2035 年までによりやく 1 億台に達する見込みである。

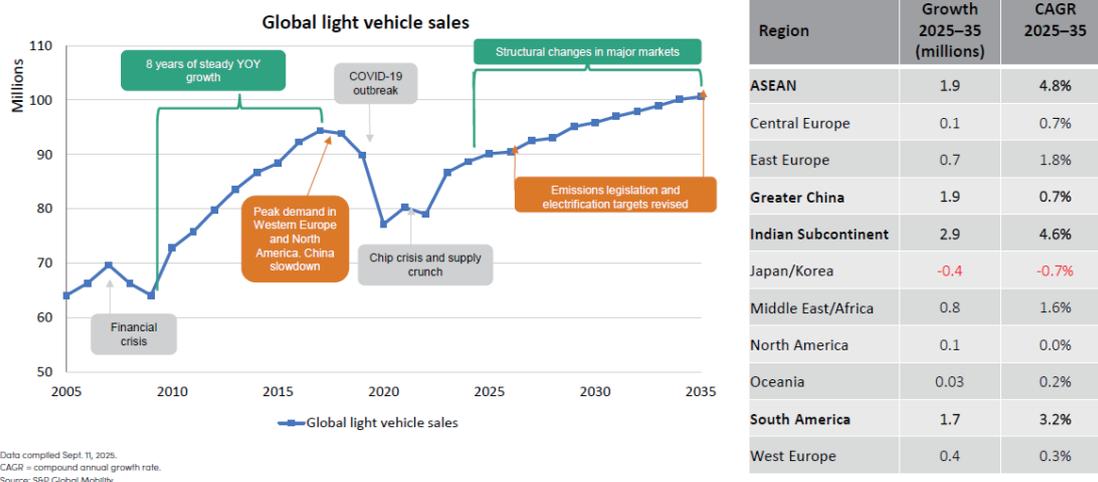


図6 自動車販売台数の推移

米国自動車生産は2025年と2026年に小幅な減少を見せた後、この10年の終わりまでによろやく1600万台を突破する見込みだ。これは2019年以来初めてのことだが、2016年の過去最高記録である1780万台には依然として大きく及ばない。

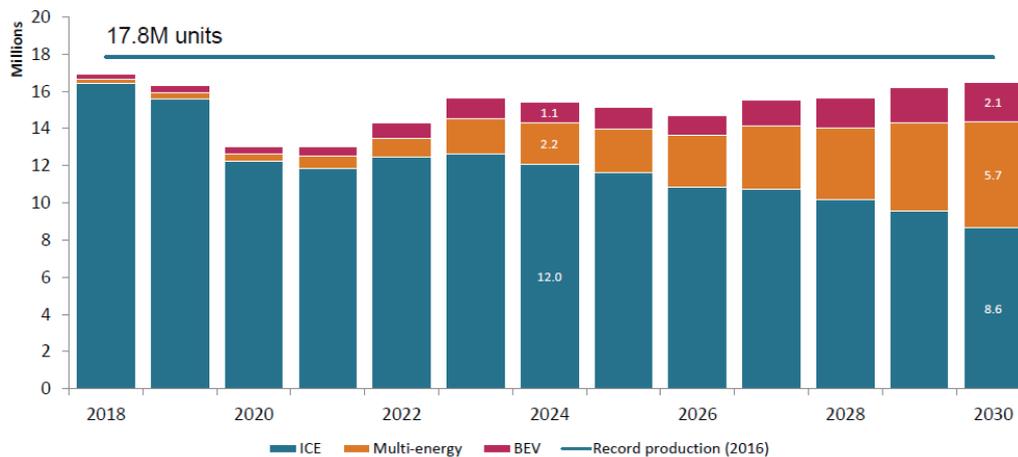
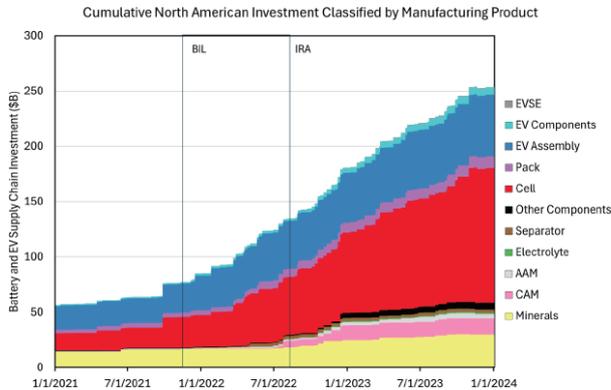


図7 米国自動車生産台数の推移

現時点でMEMA加盟企業が最も懸念しているのは、関税とその頻繁な変更、USMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）をめぐる混乱、排出ガス規制の変更だ。2026年に業界にとって最大の脅威となるのは、連邦政府の貿易政策の不安定さと変更であるという点で、加盟企業の間には強い合意がある。

米国自動車業界は中国よりもEV移行に多く投資した。実際、販売台数に対する投資額は過剰だった。この投資の一部は再配分可能だが、一部は失われるだろう。



**Total Global Commitments:** Over \$1.2 trillion pledged for the EV transition, with substantial increases noted since early 2023.

**Regional Breakdown:**

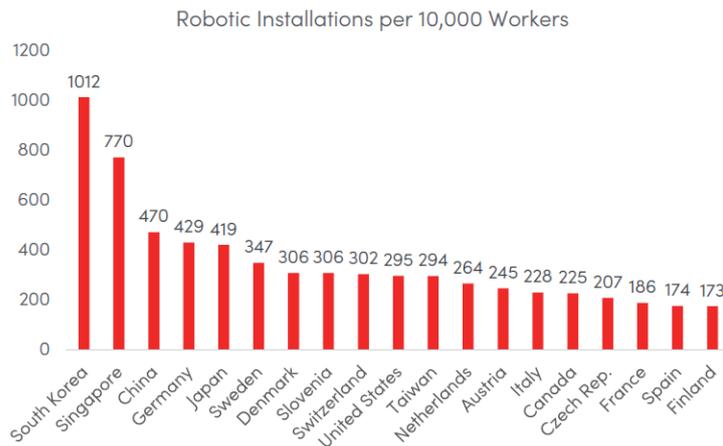
- **United States:** ~\$312 billion committed, with over \$223 billion already allocated to specific projects.
- **Europe:** ~\$346 billion committed.
- **China:** ~\$243 billion expected.
- **North America Growth:** Cumulative investment in the battery and EV supply chain surpassed \$250 billion by late 2023

図8 製品別累積投資額の推移

MEMA 加盟企業は今後数年間で労働問題が悪化すると予測している。特に自動化・技術人材の不足が最大の課題であり、熟練労働者の確保と従業員の定着も課題だ。組合化はもはや重大な懸念事項ではない。

米国はロボット設置台数の一人あたり順位で順位を下げ、現在は世界で 11 位だ。一方、中国は過去数年間で新規ロボットに巨額を投じ、ロボット設置総台数を 2 倍以上に増やした。中国は現在、韓国とシンガポールに次ぐ 3 位で、ドイツと日本を上回っている。

## Falling Behind in Robotics Installations



- **South Korea** has held the top position since 2010, driven by its strong electronics and automotive industries.
- **China** has shown the most dynamic growth, more than doubling its robot density within four years and moving into third place in 2023.
- **The United States** ranks eleventh globally, with automation heavily concentrated in the automotive sector.

図9 ロボット設置数の国別比較

米国製造業では現在、求職者 1 人に対して 4 つの空席が存在する。教育と労働力開発に対する産業界と政府の支援は極めて重要であり、現有人材の維持と知識の継承も同様

に重要だ。

鉄鋼やアルミニウムなどの輸入金属に対する現行の高関税は、金属プレス加工やその他の金属加工の米国回帰、特に南部諸州への回帰を促進するだろう。

## 米国消費者の現状

レオ・フェラー (Numerator)

関税は、現時点ではインフレ上昇につながっていない。多くの企業が既存の在庫や小売業者・供給業者との契約を既に保有しているためだ。しかし、今後6ヶ月でインフレが再び上昇し始める見込みである。消費者が既に購入力への圧迫を受けている状況では、企業が価格引き上げでこれを緩和するのはより困難になるだろう。

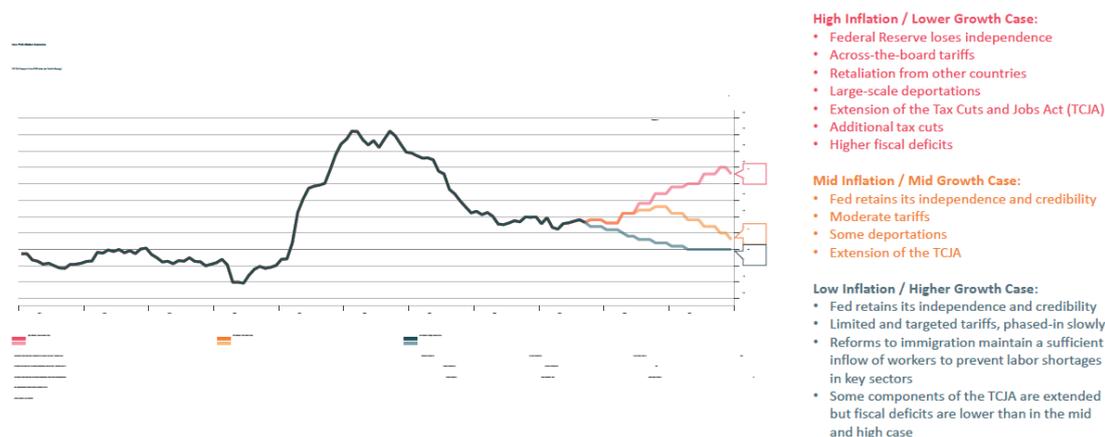


図1 インフレ率予測

政策変更や外部ショックがインフレに影響を及ぼすまで、データに反映されるまでに14～16ヶ月かかることもある。インフレによる価格上昇は、低所得層の消費者にとって割合的により大きな影響を与える。とはいえ、ここ数ヶ月では全ての所得層で消費支出が増加している。現在の実効全体関税率は約12%である。これは企業がより高い税率を回避するために生産基準を変更しているため、名目値よりも低い。米国政府は2025年11月時点で2570億ドルの関税を徴収しており、前年同期の900億ドルから大幅に増加している。

**Tariff revenue collected so far this year**

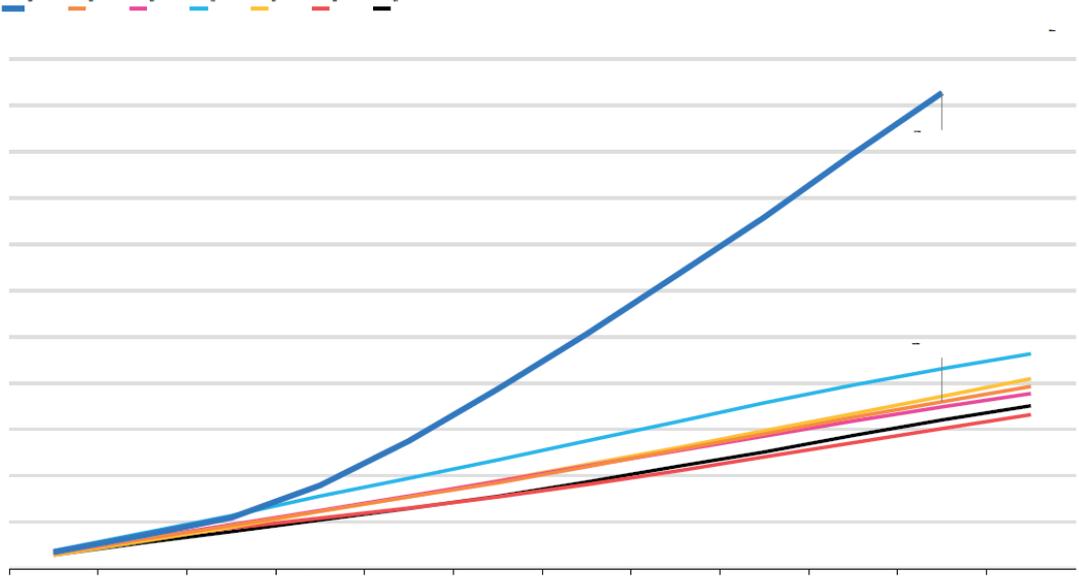


図2 年別関税徴収額（青色が2025年）

GLP-1減量薬を服用する人は食料品店での支出が5%減少し、平均約40ポンド(約18kg)の減量効果がある。消費者は第1四半期の冬季にこれらの薬を服用する傾向が強いため、食品業界はより周期的な購買行動への適応が必要となる。

**シカゴ連邦準備銀行指標による小売売上高と失業率の追跡**

スコット・ブレイブ（シカゴ連邦準備銀行 シニアエコノミスト兼経済顧問）

連邦準備制度理事会（FRB）は、民間部門が収集するデータを活用し、政府公式統計を補完する方法を模索している。代替手段ではないが、公式統計の予測値を導く助けとなる。

シカゴ連銀は公的・民間データを統合する2つのプログラムを採用している。シカゴ連銀小売業先行指標（CARTS）とシカゴ連銀労働市場指標（CFLMI）である。これらのデータ分析は、消費者支出と失業率に関する予測を概ね裏付けている。

以上

（参考リンク）

39<sup>th</sup> Annual Economic Outlook Symposium

<https://www.chicagofed.org/events/2025/economic-outlook-symposium>

## 欧州の産業施設における火災・爆発防護の規制と技術動向（その1）

本稿では、欧州における火災・爆発防護に関する規制体系、最新の防護技術、さらに関連する事故事例等について、2回に分けて紹介する。

### 1. はじめに

火災は、可燃性物質、酸素、十分な着火エネルギーが存在する場合に発生する可能性がある。爆発は、可燃性物質と酸素が混合した雰囲気依存する。火災や爆発を防止する最も有効な方法は、可燃性物質の代替または使用量の最小化である。それが不可能な場合には、着火源となり得るものを排除することが重要である。

世界火災統計センター（World Fire Statistics Centre）によれば、火災及び爆発による損失は、世界の国内総生産のおよそ1%に達すると推定されており、ヨーロッパだけでも死亡者数は数千人に上る。産業施設やプラントにおける火災や爆発は、損失や被害をもたらすだけでなく、経済活動の機能を阻害する可能性がある。化学産業及び類似分野を対象とする事故保険機関によれば、ドイツでは平均して1日に3件の爆発が発生している。しかし、企業が十分なリスク低減措置を講じているため、これらの爆発は多くの場合、深刻な結果には至っていない。

eMARSデータベースには、化学事故及びヒヤリハット事例の報告が収録されている。eMARSとは「重大事故報告システム（Major Accident Reporting System）」の略称である。EU加盟国は、セベソ指令（2012/18/EU）で定義される「重大事故」の基準に該当する化学プラントでの事故が発生した場合、事故報告書を提出する義務を負う。eMARSデータベースの目的は、危険物質に関連する事故やヒヤリハット事例から得られた教訓を共有し、化学事故の予防及び潜在的影響の軽減を図ることである。データベースには合計1,100件以上の事故報告が収録されており、その約45%が爆発に関係している。

### 2. EUにおける火災・爆発防護に関する規制体系の概要

労働安全衛生（OSH）枠組み指令（89/391/EEC）は、全ての産業分野における労働者の安全と健康を体系的に向上させるための一般原則を定めており、この枠組みの下で複数の個別指令が採択されている。火災・爆発防護に関連する主な指令としては、以下のものが挙げられる。

- 作業場における安全標識及び健康標識の提供に関する要件（指令 92/58/EEC）
- 作業における化学物質に起因するリスクから労働者を保護するための要件（指令 98/24/EC）

さらに、可燃性ガスや粉塵の存在により爆発の危険が生じる場所で使用される製品の安全性を確保するため、ATEX (ATmosphères EXplosibles (爆発性雰囲気)) 指令と総称される規制枠組みが設けられている。ATEX指令は、製造者を対象とした防爆機器の適合性要件を定める「ATEX equipment指令 (2014/34/EU)」と、労働者の安全確保を目的とする使用者向けの「ATEX workplace指令 (1999/92/EC)」の二つで構成される。

関連するEU指令が示す一般原則として、リスクは可能な限り発生源で予防されるべきであり、作業組織、作業内容、設備、工具は、リスクの排除または低減を目的として労働者に適合させる必要がある。予防措置は、①リスクの除去、②危険物質や可燃性物質の代替、③有効な着火源の排除などの集団的防護措置、④個人用防護具の使用といった個別的防護措置の順に優先順位を踏まえて実施される。

まず、可燃性物質や酸化性物質の代替または削減により、爆発性雰囲気の発生を回避することが重要である。場合によっては、不活性ガスとの混合による希釈も適用可能である。これらの手段が適用できない場合、使用者は追加的な保護措置を講じる必要があり、「ATEX workplace指令 (1999/92/EC)」に従って爆発性雰囲気が存在するゾーンを分類し、爆発防護文書を作成しなければならない。

ゾーンの分類及び表示を行った後の次の段階は、各ゾーンに適合した防爆仕様機器を使用し、効果的な着火源を排除することである。機器は、使用が想定されるATEXゾーン (0/20、1/21、2/22) に応じてカテゴリー1、2、3に分類される (表2参照)。これらの機器は、「ATEX equipment指令 (2014/34/EU)」の要求事項に適合している必要がある。

爆発性雰囲気の着火を完全に防止することが困難な場合、使用者は爆発の影響を許容可能なレベルに抑えるための追加措置を講じる必要がある。これには、耐爆構造、爆発放散 (例：破裂板)、爆発抑制 (例：消火剤の迅速注入)、爆発隔離などの手段が含まれる。これらの措置は全て文書化し、爆発防護文書として取りまとめ、要求に応じて当局に提示できる状態にしておかなければならない。

### 3. ATEXとIECEX

ATEXとIECEXは、いずれも爆発性雰囲気で使用される機器を対象とし、ガスまたは粉塵の存在状況やリスクレベルに基づいて危険場所を分類する共通のゾーニング概念を採用している。ATEXが欧州の法規制に基づく制度であるのに対し、IECEXは国際電気標準会議 (IEC) が策定した国際的な認証制度である。両者は非常に類似しているように見えるものの、実際にはいくつかの重要な相違点が存在する (表1参照)。

表 1. ATEXとIECEXの比較

|         | ATEX   | IECEX  |
|---------|--|--|
| 適用地域    | EU及びEEA加盟国では取得必須   | 世界的に認知、任意採用。<br>5か国で法制化                                      |
| 指令／スキーム | ATEX equipment指令<br>(2014/34/EU)<br>ATEX workplace指令<br>(1999/92/EC) | IECEX 認証機器スキーム<br>サービス施設認証スキーム<br>適合マークライセンス制度<br>有資格者認証スキーム |
| 機器カテゴリー | 鉱山用途・非鉱山用途のカテゴリー1、2、3  | 保護レベル<br>'a', 'b', 'c'                                       |
| マーキング   | CEマーキング、Exシンボル、機器グループとカテゴリー、ガス／粉塵区分、第三者認証機関 (ExNB) 番号                | 適合証明書 (CoC) 番号、IECEX認証機関 (ExCB) 番号、保護レベル                     |
| 規格適合性   | 2005年以降、両規格は技術的に殆ど同一<br>柔軟性があり、規格は「適合とみなす」方法として使用され、解釈の余地が大きい        | 規格への厳格な準拠が求められる  |
| 認証手続き   | 第三者認証機関 (ExNB) が実施   | IECEX認証機関 (ExCB) が実施   |
| 認証文書    | EU 型式試験証明書   | 適合証明書  |
| 品質監査    | 品質保証通知<br>(QAN: Quality Assurance Notifications)                     | 品質評価報告書<br>(QAR: Quality Assessment Report)                  |

出典: ATEX vs. IECEx: Zones, Certification, and Geographic Applicability, January, 2024, Ex Machinery

### 3.1 適用地域

ATEXは欧州の法規制であり、加盟国はこれに従う義務を負う。英国はEUを離脱したものの、DSEAR (Dangerous Substances and Explosive Atmospheres Regulations) としてATEXと整合する国内規制を引き続き維持している。また、ノルウェー、アイスランド、スイス、トルコ、リヒテンシュタインなどの非EU加盟国においてもATEX規制が採用されており、これらの国々では危険場所で使用される機器にATEX認証の取得が法的に定められている。

一方で、IECEX認証は義務ではなく任意の制度である。ATEXとIECEXは共通の技術基準に基づいており、IECEXの試験報告書はATEX認証の申請に活用することが可能である。このため、複数地域に跨るプロジェクトや、欧州とその他の市場の双方で防爆機器を販売する場合には、両方の認証を取得する事例が見られる。しかし逆は成り立たず、ATEX認証をIECEX認証の取得に利用することはできない。

EU域外の多くの国では、爆発性雰囲気ですら安全に使用できることを示す適切な証拠があれば機器の使用が認められる。一方、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、インド、イスラエルの5か国はIECEXを法的に承認しており、特定の条件下で同制度による認証を受け入れている。

### 3.2 ゾーンと機器カテゴリー

IECEXとATEXはいずれも、環境中の危険度を評価するための共通のゾーン分類システムを採用している。このゾーン分類は、危険場所で使用する機器を選定する際の重要な指標となり、適切な機器選択を支援する役割を果たす。表2に示すように、この分類システムはガス及び粉塵の危険性に基づいてゾーンを区分している。

表2. ゾーンと機器カテゴリー (保護レベル)

| 危険場所の危険度  | IECEX/ATEXゾーン     | ATEX カテゴリー | IECEX 保護レベル |
|---|-------------------|------------|-------------|
| 爆発性雰囲気が連続的に、または長時間、もしくは頻繁に存在する場所                  | 0 (ガス)<br>20 (粉塵) | 1          | 'a'         |
| 通常の運転状態において、時折爆発性雰囲気が発生する可能性がある場所                 | 1 (ガス)<br>21 (粉塵) | 2          | 'b'         |
| 通常の運転状態では爆発性雰囲気が発生する可能性は低いですが、発生したとしても短時間のみ持続する場所 | 2 (ガス)<br>22 (粉塵) | 3          | 'c'         |

出典 : ATEX vs. IECEX: Zones, Certification, and Geographic Applicability, January, 2024, Ex Machinery

ATEX規制では、機器はまず鉱山用途 (mining) と非鉱山用途 (non-mining) の2つの主要グループに大別される。さらに、要求される安全レベルに応じてカテゴリー1、2、3に区分される。これらのグループ及びカテゴリーの概要を表3に示す。

表 3. 機器グループとカテゴリー

| 機器グループ     | カテゴリー | 説明                           |
|------------|-------|------------------------------|
| I (鉱山用途)   | M1    | 爆発性雰囲気下でも機器が機能し続けなければならない    |
|            | M2    | 爆発性雰囲気が発生した場合、機器を停止しなければならない |
| II (非鉱山用途) | 1     | 高い保護レベル                      |
|            | 2     | 中程度の保護レベル                    |
|            | 3     | 通常の保護レベル                     |

出典：ATEX vs. IECEx: Zones, Certification, and Geographic Applicability, January, 2024, Ex Machinery

一方、IECExでは機器の安全設計に対して‘a’、‘b’、‘c’の保護レベルが用いられる。これはATEXにおける「本質安全」でも類似の指標が使用されるため、マーキングのみでは両認証の違いを判別しにくい場合がある。まとめると、ATEXとIECExはExゾーンの分類方法は共通している一方で、機器の保護レベルの表記方法が異なる点に特徴がある。

### 3.3 マーキング

ATEXマーキングは、爆発性雰囲気において機器を適切に選定し、安全に使用するために必要な情報を提供するように設計されている。しかし、その表記は必ずしも統一されておらず、指令の分類体系と完全に対応していないことから、解釈が難しい場合がある。各機器に付されるマーキングの詳細な意味や解釈は、ユーザー向け取扱説明書に記載されている。ATEXマーキングの主要な構成要素は以下の通りである。

- CEマーキング：必要に応じて第三者認証機関（ExNB）の識別番号が付される
- 防爆マーク：六角形の中に「E」が入った爆発保護マーク
- 機器グループ：ATEX指令に基づくグループ I または II、EN 60079-0に基づくグループ I、II、III
- 機器カテゴリー：1、2、3のいずれか
- 爆発性雰囲気の種類：G（ガス）、D（粉塵）、DG（両方）
- 「Ex」マークと保護方式コード：防爆を示す「Ex」マークと、保護方式を示すExコード（例：tD A21）
- ガスまたは粉塵のグループ指定（例：II C（ガスグループ））
- 最高表面温度：温度クラス（例：T4）または具体的な温度（例：T80 °C）
- 機器保護レベル（EPL：Equipment Protection Level）：爆発性雰囲気における着火防止能力を示す指標（例：Gb）

IECEXのマーキングはATEXと類似しているものの、いくつかの重要な相違点が存在する。ATEXと異なり、IECEXでは「Ex」機器ロゴ、CEマーキング、機器グループやカテゴリーの表示は用いられない。また、IECEXの認証プロセスには第三者認証機関（ExNB）は関与せず、代わりにIECEX認証機関（ExCB）が認証を実施する。このため、IECEXマーキングにはExCB番号が付される。

### 3.4 規格適合性

IECEXはISO/IEC 17065の原則に厳密に従う仕組みであり、IEC国際規格への完全な適合が認証取得の必須条件となる。これは厳格なルールベースのシステムであり、規格の解釈の幅は極めて限定的である。

これに対し、ATEXはより柔軟な制度である。ATEXでは、附属書Ⅱに示された本質的健康・安全要求事項（EHSRs）への適合が義務付けられているものの、規格への適合はそのための手段、すなわち「適合したものとみなす（deemed to comply）」方法として扱われる。従って、ATEXは規格の使用を推奨しているが、必須要件として位置付けている訳ではない。

製造者は、一般的にこれらの規格を用いて製品を評価し、EHSRsへの適合性を示す。ATEXでは、EHSRsに適合するものであれば、認められた規格や各国の安全規制を適用することが可能である。欧州委員会はそのために調和規格（Harmonised Standards）の一覧を提供しており、これらのCEN/CENELEC規格はEHSRsへの適合を推定するために策定されている。ただし、これらの規格に適合していても、ATEX要件を完全に満たすことが保証される訳ではない。

さらに、Ex CENELEC規格は対応するIEC規格と技術的にほぼ同一であることが多く、両システム間に大きな重なりが存在する。しかし、両者の本質的な違いは、IECEXでは規格適合が必須であるのに対し、ATEXではEHSRsを満たすための代替的なアプローチが認められている点にある。

### 3.5 認証手続き

IECEX認証では、IECEX認証機関（ExCB）によって発行される以下3つの主要文書が中心となる。

- IECEX 試験報告書（ExTR：IECEX Test Report）
- IECEX 品質評価報告書（QAR：Quality Assessment Report）
- IECEX 適合証明書（CoC：Certificate of Conformity）

同様に、サービス施設認証スキーム及び有資格者認証スキームにおいてもIECEX適合証明書が発行され、併せて次の文書が提供される。

- 施設評価報告書 (FAR : Facilities Assessment Report Form)
- 人員能力評価報告書 (PCAR : Personnel Competence Assessment Report)

これらの認証は、IECEXの手続き規則及び運用文書に基づく体系的かつ標準化されたプロセスの一部である。さらに、全ての技術的判断や認証情報はIECEXオンラインシステム上で公開されており、誰でも閲覧可能となっている。

一方、ATEX 認証は第三者認証機関 (ExNB) によって実施され、主に以下の文書で構成される。IECEXが文書をオンラインで公開しているのに対し、ATEXの文書は従来、紙媒体で提供されることが一般的である。

- EU 型式試験証明書 (EU Type Examination Certificate)  
EN 60079シリーズ規格に基づく評価及び試験結果を記録したもの
- Ex 品質保証通知 (QAN : Quality Assessment Notification)  
ISO/IEC 80079-34に基づき、製造者の品質保証システムを評価する文書

重要な点として、ATEX規制ではカテゴリ 3 (ゾーン 2 及び 22) に分類される機器について、第三者認証機関の関与は必須ではなく、製造者による自己認証が認められている。

### 3.6 適合性とガバナンス

IECEXシステムにおけるガバナンスは、国際的な認証プロセスを統一することを目的として設計されている。全ての認証機関 (ExCB) 及び試験所 (ExTL) が高い専門性を維持し、危険場所区分 (ゾーン 0、1、2) にかかわらず一貫した手順で試験・認証を実施することが求められる。この仕組みにゾーン区分による手続きの差異を設けておらず、防爆機器認証の国際標準化を志向している。

これに対し、ATEXのガバナンスはより多様であり、複数の適合性評価ルートが存在する。ATEXでは、製造者が自ら生産管理を行い、機器の安全性を宣言することが認められており、EU指令への適合及び使用環境における安全性について、製造者自身が責任を負う点が強調されている。

ATEXの全てのルートで第三者機関の関与が必要とされる訳ではなく、カテゴリ 3 の機器 (ゾーン 2 及び 22) については製造者の自己適合宣言 (DoC) が認められている。この自己宣言においては、IECEX認証を補助的な証拠として活用することも可能である。

### 3.7 認証機関

IECEX認証機関 (ExCB) 及び試験所 (ExTL) は、厳格な資格審査プロセスを経て選定さ

れる。このプロセスにはIECEXアセスメントチームによる初回の相互審査、継続的な監査、5年ごとの再評価監査が含まれ、これによりExCBとExTLが適切な技術的専門性、設備、試験環境を備えていることが確保される。

一方、ATEXの認証機関（ExNB）は、EU加盟国の各国政府によって任命される。IECEXとは異なり、ExNBに対する国際的に統一された評価制度は存在せず、監査や評価は各国政府の要求事項に基づいて実施される。

### 3.8 認証文書

IECEX適合証明書（CoC）は、製品がIEC規格に基づく試験及び評価に合格した後、IECEX認証機関（ExCB）によって発行される国際的に認められた適合証明書である。

これに対し、EU型式試験証明書（EU Type Examination Certificate）は、ATEXの枠組みにおける文書であり、製品が欧州市場向けにEN 60079規格に基づいて評価・試験されたことを示す。この証明書はATEX認証プロセスの一部であり、ATEX認証機関（ExNB）によって発行される。

ATEXでは、適合性を示すために適合宣言書（DoC: Declaration of Conformity）も用いられる。例として、ATEX規制環境向けに設計された防爆エアコンが挙げられる。

IECEX適合証明書（CoC）とATEXのEU型式試験証明書のいずれも、危険場所用機器における「防爆証明書（Ex certificate）」として利用される。

（参考資料）

- ・ Prevention of fires and explosions, European Agency for Safety and Health at Work (<https://oshwiki.osha.europa.eu/en/themes/prevention-fires-and-explosions>)
- ・ ATEX vs. IECEx: Zones, Certification, and Geographic Applicability, January, 2024, Ex Machinery (<https://ex-machinery.com/atex-zones-vs-iecex-classes/>)
- ・ What Is ATEX vs. IECEx? Key Differences, Zones, and When Each Applies, September, 2025, HEXLON (<https://www.hexlonex.com/news/atex-iecex-key-differences-zones-when-each-applies/>)

## ホワイト水素の利活用とプロジェクト動向

近年世界的に注目を集めているホワイト水素について、欧州におけるプロジェクト事例や研究開発・政策支援の動向、課題等を紹介する。

### 1. はじめに

ホワイト水素（ゴールド水素）とは、蛇紋岩化作用や放射線分解などの地質学的プロセスによって地下で自然に生成される水素を指す。水素産業では、製造経路の違いを区別するために色による分類が用いられており、それぞれの水素が異なる特徴と影響を有している（表1参照）。ホワイト（ゴールド）として分類される天然水素は、工業的な製造プロセスを必要としない唯一の水素源であり、地殻深部における地質学的プロセスによって自然に生成される点で、分類体系の中でも独自の位置付けを持つ。

表1. 水素のカラー分類体系

|           | 色          | 技術              | 原料／電力源          | GHG排出   |
|-----------|------------|-----------------|-----------------|---------|
| 電力による製造   | グリーン       | 水電解             | 風力、太陽光、水力、地熱、潮力 | 極低      |
|           | パープル（ピンク）  |                 | 原子力             | 極低      |
|           | イエロー       |                 | 系統電力            | 中       |
| 化石燃料による製造 | ブルー        | 天然ガス改質（ガス化）+CCS | 天然ガス（石炭）        | 低       |
|           | ターコイズ      | 熱分解             | 天然ガス            | 固体炭素（C） |
|           | グレー        | 天然ガス改質          |                 | 中       |
|           | ブラウン       | ガス化             | 褐炭              | 高       |
|           | ブラック       |                 | 黒炭              | 高       |
| 天然        | ホワイト（ゴールド） | 天然ガス採掘に類似       | 地下水素蓄積          | 極低      |
|           | オレンジ       | 触媒反応            | 地下岩石            | ネガティブ   |

出典：Natural Hydrogen: The Next Frontier in Clean Energy Exploration, September, 2025, Society of Petroleum Engineers (SPE)

ホワイト水素は、表1に示すように環境負荷が極めて低く、従来の水素製造方法と比較して特に優れた効率特性を示す。電気分解は電解槽の損失により通常60～70%の効率に留まり、水蒸気メタン改質でも約70%であるのに対し、ホワイト水素の抽出は変換プロセスをほとんど必要としないため、極めて高い効率を達成できる可能性がある。この効率面での優位性に加え、生産時にCO<sub>2</sub>排出が発生しないことから、ホワイト水素は水素生産における変革的技術となり得る。また、従来の水素製造方法がエネルギー集約型の工業プロセスを必要とするのに対し、ホワイト水素は既に地質学的プロセスによって生成されており、地表での抽出と最小限の処理のみで供給可能であるため、従来技術と競合し得る生産コス

トを達成できる潜在性があり、地表及び地下の探査手法がまだ初期段階にあるにもかかわらず、近年大きな注目を集めている。

一方で、2030年以前に大規模な商業開発が実現するかどうかは依然として不透明である。その主要因として、確立された探査手法が存在しないことや生成プロセス及び地質条件に関する理解が不十分であることが挙げられる。現在までに商業生産が行われているのは、マリのブーラケブグー（Bourakebougu）油田のみであり、その規模は年間5トン（原油換算で年間100バレル相当）に留まる。現在、ホワイト水素の探査活動は複数の大陸及び多様な地質環境で展開されており、北米、オーストラリア、欧州をはじめ、世界各地で複数のプロジェクトが進行しているが、地球規模の埋蔵量に関する数値は存在しない。



図1. ホワイト水素の産出が確認された地点（水素濃度10%以上）

出典：Natural hydrogen: future energy and resources, June, 2025, The Royal Society

## 2. 欧州におけるプロジェクト事例

フランスでは、ロレーヌ地域及びモゼル地域の地下に、約9,200万トンの水素が存在することが確認されており、欧州最大規模の埋蔵量と見られている。この資源は深さ1,250メートルの地層で確認されたもので、地質構造により自然に生成され閉じ込められていたものと考えられている。現在、フランス政府やエネルギー企業は大規模採取の実現可能性評価を進めるとともに、開発に向けた法的・規制枠組みの整備を行っている。

スペインでは、2023年にHelios Aragón社がアラゴン州モンソン（ウエスカ）近郊のプロジェクトにおける探査許可を取得し、地質調査の結果、深さ約3,500メートルの地層で水素の存在が確認されている。規制改正が実現すれば、早ければ2028年にも商業生産が開始される可能性がある。しかし、現在のスペイン法では水素が炭化水素として分類されており、気候法の下で採取が制限されている。このため、業界関係者はフランスの事例を参考

に、ホワイト水素開発を可能とする鉱業法改正を求めている。

同プロジェクトは、約9億ユーロの投資を呼び込み、約300人の直接雇用と約1,500人の間接雇用を創出すると見込まれている。また、生産コストは約0.75ユーロ/kgと試算されており、現在のグリーン水素（6～8ユーロ/kg）と比較して大幅に低コストでの供給が期待されている。

### 3. ホワイト水素の採取・利用に関する技術と課題

ホワイト水素の開発には多方面にわたる技術的課題が存在しており、従来の石油・ガス分野の手法を超えた解決策が求められている。最も重要な課題の一つが水素資源の正確な検知と定量化である。水素は反応性が高く分子サイズも極めて小さいため、移動や貯留の過程で変質や逸散が生じやすく、炭化水素とは異なる特性を踏まえた探査技術が必要となる。

地震探査はホワイト水素の探査において有望視されているものの課題も多い。地震探査は貯留層、シール、断層、構造トラップのイメージングに有効であり、従来の石油・ガス探査で開発された多くの手法を応用できる。しかし、その有効性は貯留層の品質や深度に大きく左右され、貯留層の品質が低い場合には、地下に水素が存在していても検知が困難となる可能性がある。

生産試験も重要な技術的課題の一つである。従来型ガス田とは異なり、地下水に溶存した水素ではなく、自由ガスとして存在する水素を確認するためには特別なアプローチが求められる。また、現在確認されているホワイト水素の多くは、メタン、二酸化炭素、ヘリウム、窒素、リチウムなどを相当量含んでおり、水素濃度も大きく変動するため、精製に関する課題も多い。ヘリウムやリチウムは、ホワイト水素採取の商業的価値を高め得る一方で、二酸化炭素やメタンといった不純物は分離・処理が必要となるため、コスト増につながる可能性が指摘されている。マリのプーラケブグー油田では、ほぼ純粋な形での産出が確認されているが、他地域では窒素、ヘリウム、メタンなどのガスと混合して存在する例や、地下水に溶存した形で確認される例も報告されている（図2参照）。

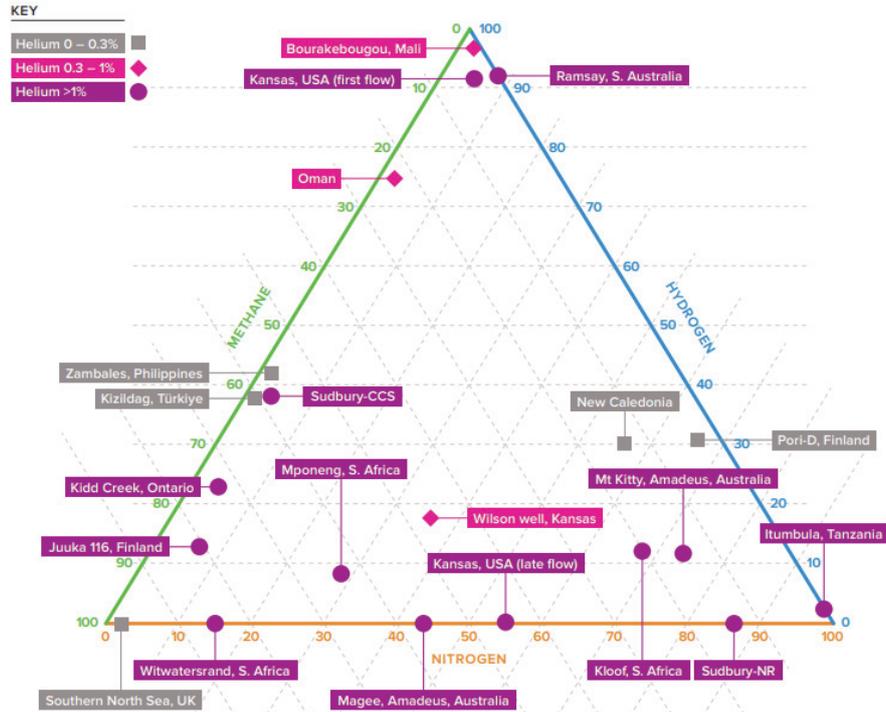


図 2. 水素・窒素・メタンの三成分ガス組成図

出典：Natural hydrogen: future energy and resources, June, 2025, The Royal Society

#### 4. 研究開発の動向

水素生成メカニズムの理解を深めるためには、基礎研究の進展が不可欠である。異なる地質条件下における蛇紋岩化反応の速度論や効率に関する研究は重要であり、これらの知見は資源評価や探査戦略の高度化に直接寄与する。また、水素生成量や生成速度を規定する要因を特定することは、商業的生産の可能性を予測する上で極めて重要である。オックスフォード大学の最近の研究では、ホワイト水素が蓄積するために必要な要素として、水素生成源、移動経路、貯留岩、シール構造、保存条件が示されている。

また、移動及び蓄積に関する研究もホワイト水素開発における重要な領域である。水素は独特の物理化学的性質を持つため、その移動挙動は従来の炭化水素とは大きく異なる。水素の移動経路、トラップ機構、保存条件に関する理解は、より効果的な探査戦略を構築する基盤となる。特に、地下微生物による水素消費が起こりにくい環境条件を把握することは、商業生産を可能とするための重要なポイントとなる。

#### 5. 政策支援の動向

欧州における水素技術の研究・イノベーション活動を支援するクリーン水素パートナーシップ (Clean Hydrogen Joint Undertaking) は、2025年年間作業計画において、技術成熟度の低い水素関連技術の開発を促進することを目的とした総額 1 億 8,450 万ユーロの公

募 (Call for Proposals) を実施した。本公募には、ホワイト水素の探査・生産を対象とする事業も含まれており、2025年4月に計15件の提案が提出された。この内、1件が採択され、9件がリザーブリストに登録されている。本事業の概算予算総額は200万ユーロであり、主な事業範囲は以下の通りである。

- 地下における水素の生成、移動、蓄積プロセス及び地表への自然放出をより正確に把握するための技術・ツール・手法の開発。また、有望地域を確実に特定するための基準を確立すること。提案には少なくとも1つのケーススタディ地域を含め、リモートセンシング、水素センサーの試験、能動・受動地震探査による地球物理データの収集、地球化学データの取得、さらに可能であれば坑井内検層ツールを活用し、環境負荷を最小限に抑えつつ手法の較正を行うこと。
- ホワイト水素の生成に必要な主要パラメータや条件の組み合わせを特定し、欧州における潜在的なホワイト水素源を体系的に識別するためのガイドラインを作成すること。
- ホワイト水素の生成を制御する現場条件（温度、圧力、岩石の鉱物組成・化学特性、地質流体組成）を再現するアナログ実験を実施し、水素生成速度（mol/kg/s）を評価すること。
- 生成、移動、変質、貯留層での閉じ込め、地表への漏出までを含む、大規模水素システムのダイナミクスを予測する数値モデルを構築すること。
- 想定されるガス組成に応じた精製要件を特定し、利用可能な技術を選定するとともに、実験室レベルで性能試験を行うこと。
- ライフサイクルアセスメント（LCA）を実施し、探査・採取・生産の環境性能を評価するとともに、温室効果ガス排出量（kg CO<sub>2</sub>換算/kg H<sub>2</sub>）、重要原材料の使用量、水資源消費量、土地利用を明らかにすること。
- LCA 結果に基づき、ホワイト水素が非生物由来の再生可能燃料（RFNBO）として分類可能かを検証すること。これにより、EU 認証制度への組み込みと脱炭素化を目指す利用者への商業供給を可能にする。また、適切な分類（タクソノミー）を確立するための要素も提示すること。
- 掘削設計、運用コスト、定期的な坑井作業、廃坑費用、精製要件、期待生産量、坑井能力などを考慮し、水素生産の平準化コスト（€/kg H<sub>2</sub>）を概念的に評価するパラメトリックモデルを構築し、個別案件の経済性評価を可能にすること。
- 安全かつ費用対効果の高い方法で地下資源にアクセスするための研究を行うこと。坑井建設や掘削ダイナミクスに関する課題を特定し、その解決策を提示することで、ホワイト水素の探査・生産を前進させ、探査から生産に至るまでの漏出リスクを低減する。

(参考資料)

- Natural Hydrogen: The Next Frontier in Clean Energy Exploration, September, 2025, Society of Petroleum Engineers(SPE)
- Global Hydrogen Review 2025, September, 2025, IEA
- White hydrogen reserve under exploration in France and Spain, July, 2025, Interreg Europe  
(<https://www.interregeurope.eu/unify/news-and-events/news/white-hydrogen-reserve-under-exploration-in-france-spain#>)
- Natural hydrogen: future energy and resources, June, 2025, The Royal Society
- Clean Hydrogen Joint Undertaking (Clean Hydrogen JU) Work Programme 2025, January, 2025, Clean Hydrogen Partnership

## 欧州環境情報

**欧州：CBAM が本格適用**

欧州委員会は 2026 年 1 月 14 日、EU の炭素国境調整メカニズム（CBAM）が 2026 年 1 月 1 日の導入以降、順調に運用されていると発表した。1 月 1 日から 6 日までの第 1 報告期間に申告された対象品目の輸入量は、合計 166 万トンに達した。

品目別では鉄鋼部門が全体の約 98% を占め、肥料（1.2%）、セメント（0.5%）及びアルミニウム（0.3%）が続く。電力・水素部門からの申告は無かった。主な輸入元は、トルコ、中国、インド、カナダ、台湾及びベトナムであった。EU 側の輸入国としては、ベルギー、スペイン、ルーマニア、オランダ、フランス及びドイツが上位となった。

「加盟国と EU レベルのシステムの円滑な統合により、リアルタイムでのデータ交換や申告者の検証が可能となり、国境での輸入手続きが滞りなく実施されている」と欧州委員会は述べている。各国当局からも、税関での処理時間は安定しているとの報告があったという。

欧州委員会によると、1 月 1 日から 7 日までに 1 万 2,000 以上の事業者が CBAM 認可を申請し、同期間中に CBAM 対象品目を含む輸入通関申告のうち、約 1 万 500 件が統合された税関システムを通じて自動的かつリアルタイムで検証されたという。また、1 月 1 日前後に 4,100 以上の事業者が EU 域内での「認可申告者」の資格を取得することに成功したと付け加えた。

欧州委員会は、対象となる全事業者に対し、CBAM 登録簿を通じた速やかな認可申請を提出するよう求めている。早期の申請提出がコンプライアンスの確保や自動検証へのアクセス、円滑な税関手続きに繋がると強調している。

**欧州：Syensqo 社と Axens 社は全固体電池材料の合弁会社を設立**

ベルギー精密化学企業の Syensqo 社とフランスのエネルギー企業 Axens 社は、全固体電池向け材料の開発と量産化を手掛ける Argylium 社と呼ばれる合弁会社を設立し、次世代全固体電池を中心に、欧州のバッテリー生産バリューチェーンの強化を目指している。

この合弁事業は、Syensqo 社がラ・ロシェルで運用してきた全固体電池のパイロットラインの実績とパリ研究所における 10 年以上の技術開発の蓄積に基づいている。

Argylium 社は、全固体電池の生産に必要な硫化物系の材料を開発する。

Axens 社は、プロセス設計、産業規模への拡大、無機化学プラントの運営に関するノウハウを提供している。さらに、フランスの研究機関 IFP Énergies nouvelles (IFPEN) も参画しており、長年にわたる酸化物系・硫化物系材料に関する研究知見を提供している。

「Argylium 社の設立は、全固体電池材料の市場投入に向けた重要な一歩である。各社との連携により、全固体電池技術のスケールアップを促進し、欧州の電化とエネルギー貯蔵の目標達成に貢献することができる」と Syensqo 社の研究開発責任者 Canova 氏は述べている。

Argylium 社は今後、欧州の主要研究機関、自動車メーカー、バッテリーメーカーやエネルギー技術企業などと協力し、欧州全域で持続可能かつ競争力のある全固体電池産業の確立を目指す。

**欧州：プラスチック輸入に関する規制を厳格化**

欧州委員会は、中国などからの安価な輸入品との競争に苦しむ欧州のリサイクル工場を支援するため、プラスチックの輸入に対してより厳格な規制を導入すると発表した。

業界団体である欧州プラスチックリサイクル協会（Plastics Recyclers Europe）によると、安価な輸入品の流入やエネルギーコストの高騰により、2025 年に欧州のプラスチックリサイクル産業のリサイクル能力が過去最大規模で減少し、オランダなどで工場閉鎖も余儀なくされているという。

特に懸念されているのは、使用済み材料で作られるリサイクルプラスチックではなく、化石燃料を原料とする安価な「バージンプラスチック」がリサイクル品として誤って表示されている問題である。その結果、現地のリサイクル事業は、この安価なリサイクル品と競争できなくなっているという。

欧州委員会は 2026 年前半に法改正案を提示し、リサイクルされたプラスチックの輸入に厳格な書類の提出を義務付ける方針を示した。また輸入品の追跡を容易にするため、リサイクル及びバージンのプラスチックに別々の関税コードを設ける予定である。

その他の措置として、欧州域外を含むリサイクル工場の EU による監査やリサイクルプラスチックの出荷が本物かどうかを検証する研究所の支援などが含まれる。

さらに欧州委員会は、貿易措置を導入する必要があるかどうかを検討しており、2026年には EU の輸入監視タスクフォースがプラスチックの輸入を監視する予定である。

### **英国：バーミンガムにレアアース磁石のリサイクルプラントを稼働開始**

英国・バーミンガムの Tyseley エネルギーパークにおいて、レアアース磁石の分離・再処理を行う新施設が開設された。既存の実証プラント（1回のバッチ処理で 50～100kg 回収）を基に開発されたもので、1バッチあたり 400kg 以上のレアアース合金を回収し、新たな焼結磁石へと加工できる。単一シフトでの年間処理能力は 100 トンであるが、複数シフトを導入すれば 300 トン以上を超える可能性があるという。

本リサイクル技術は、バーミンガム大学の Magnetic Materials Group と呼ばれる研究グループによって開発・特許化され、同大学発のスピンアウト企業である HyProMag 社によって事業化された。HyProMag 社は 2023 年にカナダの資源探査企業 Mkango Resources 社に買収されている。新施設では、磁石スクラップを水素で処理し、ネオジム・鉄・ホウ素合金の粉末を生産する。このリサイクルされた粉末を用いて、焼結磁石が製造される。

これらの磁石は、スマートフォン、スピーカー、風力発電タービンや EV といった用途に供給される。

本プラントは、英国のイノベーション局 Innovate UK の「電気革命推進産業化センター（Driving the Electric Revolution Industrialisation Centres : DER-IC）」を通じて 450 万ポンドの資金提供を受けている。

また本施設は、英国政府が 2025 年 11 月に発表した「重要鉱物戦略（Critical Minerals Strategy）」を支援する役割も果たしている。同戦略では 2035 年までに、英国内における重要鉱物需要の 10%を自国資源で、20%をリサイクル材で賄う目標を掲げている。

### **ドイツ：中国水電解槽メーカーは 250MW 規模の水電解槽の製造プラントを建設**

中国の水電解槽メーカーである Guofuhee 社（Jiang Guofu Hydrogen Energy Technology & Equipment）は、ドイツの EPC 企業 RCT Group 社との合弁を通じて、ドイツで水素製造装置の生産を開始する。同社は、装置販売に加え、自社プラントの建設・所有・運営にも取り込む予定である。

RCT Group 社が 51%、Guofuhee 社が 49%を出資する合弁会社 RCT Hydrogen 社は、ドイツ東部で 250MW 規模の水電解槽の製造プラントの準備を進め、2026 年第 1 四半期に、最初の 2.5MW システムを納入する予定である。

水電解槽工場では、Guofuhee 社の技術に基づく加圧アルカリ型スタックを製造するほか、水素製造・販売サービスも提供する見通しである。RCT Hydrogen 社は「サービスとしての水素（hydrogen-as-a-service）」の一環として、産業顧客に固定価格で水素を供給できると主張している。

同社は、グレー水素の生産施設から高コストの陸上輸送に依存している既存の産業用ユーザーを主なターゲットとする予定である。

また、Guofuhee 社は 2025 年 2 月に欧州へ進出する取り組みの一環として、Siemens 社と RCT Group 社と覚書（MoU）を締結した。本覚書に基づき、Siemens 社が製造拠点向けのデジタルソリューションやプラント開発・運営を支援し、RCT Group 社が EPC を担当する。

この連携の背景には、EU が公的資金のプロジェクトにおける中国製電解装置の使用制限を強化したことがある。2024 年 9 月以降、プロジェクトは水電解槽スタックの中国からの調達を全容量の 25%以下にすることが義務付けられている。

### ドイツ：石炭産出地域におけるバッテリー生産拡大に1億7,000万ユーロの補助金を拠出

ドイツ連邦経済・エネルギー省（BMWE）は、石炭産出地域における産業転換支援の一環として、電池セル生産の拡大などに1億7,000万ユーロの補助金を拠出すると発表した。合計7件の転換プロジェクトが対象となる。

今回の資金提供により、約6億ユーロの投資を呼び込むことが期待されている。同省によれば、「これにより、約600人の直接雇用が創出され、上流・下流サプライチェーンで最大3,000人の追加雇用が生まれる見込みである」という。

支援対象となっているドイツのバッテリーリサイクル企業 Cylib 社は、ライン地方の Dormagen 工場の拡大計画の第2フェーズに向けて6,340万ユーロの資金を確保している。欧州初となるリン酸鉄リチウム（LFP）バッテリーのリサイクルプラントを建設し、資源の循環利用を目指す。同プラントは年間3万トンの材料を処理し、湿式製錬プロセスにより90%の材料回収率を達成する見込みである。これにより、従来手法と比較して排出量を30%削減できるという。総投資額は1億8,113万ユーロで、ドイツ政府が約3分の1（6,300万ユーロ超）を負担する形となる。

また、AMG-Lithium 社はドイツ中部の石炭地域ビターフェルト＝ヴォルフエン（Bitterfeld-Wolfen）で、バッテリーグレードのリチウム塩の生産能力を拡大する。年間2万トンの生産能力（年間約34GWh分のバッテリー生産に相当）を目指し、酸化カルシウムの処理と再利用の革新的なプロセスを導入する予定である。総投資額は1億8,000万ユーロで、ドイツ政府が3,600万ユーロを拠出する。

さらに、ドイツ東部の Schwarze Pumpe 工業団地では、Altech Batteries 社が塩化ナトリウム系全固体電池の製造工場を建設している。総投資額は1億5,369万ユーロで、同政府が4,611万ユーロを拠出する。

ドイツ政府は、2027年も石炭地域の企業支援に向けた助成公募を発表する予定である。本資金は、ドイツ政府の STARK（Strengthening Transformation Dynamics and New Beginnings in the Coal Regions and at Coal Power Plant Sites）と呼ばれる支援プログラムを通じて提供されている。

### オーストリア：OMV社は水電解槽プラントの建設に1億2,300万ユーロの公的資金を確保

オーストリアの石油ガス大手 OMV 社は、建設中の140MW規模の水電解槽プラントのプロジェクト向けに、オーストリア国営振興銀行と資金調達の契約を締結し、1億2,300万ユーロの公的資金を確保した。

ウィーン近郊のブルック・アン・デア・ライタで開発されている本プロジェクトでは、Siemens Energy 社製のプロトン交換膜（PEM）水電解槽（出力140MW）を導入し、年間最大2万3,000トンのグリーン水素を生産する。これにより、OMV社のシュヴェヒャート製油所で使用されるグレー水素を代替する計画である。

2025年11月には、アラブ首長国連邦（UAE）の再生可能エネルギー大手 Masdar 社が同プロジェクトの株式49%を取得した。OMV社と合弁会社を設立し、同プロジェクトを共同で進める計画である。

稼働開始は2027年末を予定しており、水電解槽プラントと製油所を結ぶ22kmのパイプラインも敷設される。製油所サイトでは、既に運営・建設許可を取得済みである。

OMV社は2025年5月に最終投資決定（FID）を発表した際に、同プロジェクトの実現には公的支援が不可欠であると警告していた。

OMV社は現在、化石燃料とグリーン水素とのコスト差を補填することを目的とした、欧州水素銀行（EHB）によるグリーン水素入札にも参加予定で、1kg当たりの生産補助金の獲得を目指している。

### オランダ：BayWa r.e.社は46MWの浮体式太陽光発電プロジェクトを売却

ドイツの再生可能エネルギー開発大手 BayWa r.e.社は、オランダ子会社の GroenLeven 社と共同で、オランダ北部のフリースラント州で開発中の 46MW の浮体式太陽光発電プロジェクトを売却した。

本プロジェクトの権利は、地元のエネギー企業 Enerzjyk Skûlenboarch 社、ティツェルクスターディール (Tytsjerksteradiel) 自治体、そしてフリースラント州のクリーンエネルギー基金へ移転された。稼働開始後、オランダ最大規模の浮体式太陽光発電所となる。

BayWa r.e.社は、浮体式太陽光発電技術 (FPV) の先行企業として知られており、2021 年にはオランダで合計容量が 71MW となるプロジェクト 2 件を稼働させた。

オランダ国外では、同社は 2023 年にオーストリアで 24.5MW 規模の発電所を建設しており、当時の合計設備容量は 230MW に達していた。

### スペイン：再生可能エネルギー関連部品の製造支援に向けた補助金プログラムを開始

スペインのエコロジー移行・人口課題省 (MITECO) は、再生可能エネルギー関連部品の製造を支援するための新たな補助金プログラムを開始した。

総額 3 億 5,500 万ユーロの本補助金は、EU の NextGenEU プログラムの下で実施されるスペインの復興・変革・レジリエンス計画 (PRTR) を通じて提供される。本プログラムは、太陽光発電、エネルギー貯蔵、バッテリー (EV を除く)、風力発電、太陽熱、地熱やグリーン水素といった技術向けの部品生産を促進することを目指している。

スペインにおけるクリーンエネルギー製造のサプライチェーン強化を目指す「RENOVAL」プログラムに基づく 2 回目の公募となり、特に太陽光分野ではポリシリコン、インゴット、ウエハー、太陽セルやモジュールなどの部品を対象とする。

新規のプロジェクトだけでなく、生産能力拡大や既存インフラの拡大・転換も補助金の対象となる。

プロジェクトの公募期間は 2026 年 2 月 25 日までとなっている。「RENOVAL 2」プログラムは、事業規模が 3,000 万ユーロ以上のプロジェクトに重点を置く一方、中小規模 (100 万~3000 万ユーロ) 向けにも 2,500 万ユーロの枠が確保されている。1 件プロジェクトあたりの補助上限は 1 億 5,000 万ユーロ、または対象経費の 15% を超えない。

2025 年 3 月に結果が公表された「RENOVAL 1」では、総額 3 億ユーロのうち、2 億 1,000 万ユーロ以上が太陽光製造分野に割り当てられた。その内の大部分はスペインのウエハー製造事業者 Sunwafe 社に配分され、同社は 2 億ユーロを獲得した。同社は、2030 年までにスペイン北部で 20GW 規模のウエハー製造工場を建設する計画である。

初回のプログラムで採択された企業には、オランダの太陽光発電開発事業者 MCPV 社 (スペイン北部のナバラに 2.5GW のヘテロ接合モジュール組立工場を建設) や、スペインのモジュールメーカー Escelco (生産能力の拡張) が含まれている。

### スペイン：126 件のエネルギー貯蔵プロジェクトに対して補助金を提供

スペインのエコロジー移行・人口課題省 (MITECO) は、大規模なエネルギー貯蔵プロジェクトの開発を後押しするため、126 件のプロジェクトに対して補助金を提供すると発表した。総額 8 億 1,830 万ユーロ規模の補助金は、欧州地域開発基金 (ERDF) を通じて提供される。

選定プロジェクトのうち、再生可能エネルギー施設に併設される蓄電プロジェクト (ハイブリッド) が 69 件と最も多く、独立型バッテリーが 39 件、熱貯蔵が 15 件、揚水発電が 3 件と続いた。これらのプロジェクトを合わせると、2.2GW の出力と 9.4GWh の貯蔵容量が開発される見込みである。

ハイブリッドの蓄電プロジェクトと組み合わせられている再生可能エネルギー技術は、主に太陽光発電 (38 件) と風力発電 (18 件) である。さらに、9 件は太陽熱発電とのハイブリッド化を含み、残る 4 件は太陽光・風力双方との組み合わせ (4 件) となっている。

新たな施設の稼働により、電力システムの柔軟性と再生可能エネルギーの統合を促進し、脱炭素化を加速させると同省は述べている。

選定されたプロジェクトは、助成契約の締結後 36 ヶ月以内に事業を完了しなければならず、全ての作業は 2029 年末までに終了している必要がある。この結果、アンダルシア州で 31 件、バレンシア州で 15 件、ガリシア州で 11 件のプロジェクトが開発されることとなる。

今回の補助金は、スペインの復興・変革・レジリエンス計画（PRTR）に基づき、スペインのエコロジー移行・人口課題省やエネルギー多様化・節約研究所（IDAE）が推進してきた既存の支援スキームを補完するものである。

### スペイン：EVバスの使用済みバッテリーを定置用蓄電システムに再利用

スペインのバス製造事業者 Irizar e-mobility 社、マドリード市交通公社（EMT Madrid 社）及びエネルギー大手 Iberdrola 社は、マドリード市内の EMT Madrid 社の Fuencarral 車庫において、EV バスの使用済みバッテリーを定置用蓄電システムに再利用するという実証プロジェクトを共同で開発する。セカンドライフバッテリーをスマート充電システムに統合することで、ピーク電力の抑制やコスト最適化、バッテリーの寿命の延命を図る。

Fuencarral 車庫には、Irizar e-mobility 社製の使用済みバッテリーを組み込んだコンテナ型の定置用蓄電システムが設置されている。これらのバッテリーは、車両用としては十分な容量を維持できなくなっているものの、定置用途では依然として十分な性能を発揮する。

本システムは、EMT Madrid 社のスマート充電システムで管理し、電力需要の少ない時間帯に充電し、需要ピーク時に放電することで、バス充電時の電力負荷の平準化及びエネルギーコストの最適化を目指している。

同システムの容量は最大 1 MWh であり、出力は最大 500kW である。Irizar e-mobility 社のバス 3 台から回収した 15 基のバッテリーから構成されている。

Irizar e-mobility 社は、7年以上にわたり自社バッテリーの設計・製造を手掛けており、循環型経済への取り組みとしてバッテリーの再利用に焦点を当てている。バスの安定運行には、一定の容量維持が必要で、劣化による交換は避けられない。これらのバッテリーを定置用途として再利用することで、e-モビリティの主要な課題の解決に貢献している。

本プロジェクトは、スペイン政府の支援プログラム PERTE VEC プログラムの一環であり、公共交通の脱炭素化を後押しするという EMT Madrid 社の戦略を支援するものである。

### ポルトガル：再生可能エネルギー源は 2025 年の国内電力需要の 68%を賄う

ポルトガルの送電事業者 REN 社（Redes Energéticas Nacionais）のデータによると、ポルトガルの 2025 年の再生可能エネルギーの発電量は 37TWh に達し、過去最高を記録した。この発電量は国内電力需要の 68%を賄う規模であり、同国が欧州における再生可能エネルギーの先進国としての地位を築いている。

2025 年 4 月に発生した大規模な停電やその直後の影響にもかかわらず、2024 年の記録（36.7TWh）を上回った。

主要要因としては、太陽光発電の急速な拡大が挙げられる。大規模な発電所と分散型電源の双方が増加し、太陽光発電量は前年比で 25%増となった。また、良好な水文気象条件も再生可能エネルギーの発電量を押し上げる重要な要因となった。

電源構成の内訳は、水力発電が総需要の 27%を占める最大の電源となり、風力発電が 25%、太陽光発電が 11%、バイオマスが 5%を占めた。

残りの電力需要は、主に天然ガスによる従来型発電（15%）と電力輸入（17%）によって賄われた。

ポルトガルは依然として電力の純輸入国であるが、純輸入量は 9.3TWh と前年比で 11%減少した。総需要に占める輸入比率は 2024 年の 20%から 17%に低下している。

一方、2025 年の総電力消費量は 53.1TWh に達成し、前年比で 3.2%増加した。

### デンマーク：世界初の動的グリーンアンモニアプラントが稼働

デンマークの脱炭素化技術大手である Topsoe 社と再生可能エネルギー開発事業者 Skovgaard Energy 社、そして風力発電大手 Vestas 社は、世界初となる「動的（ダイナミック）」グリーンアンモニアプラントを稼働させた。

本プラントは、再生可能エネルギー源の出力変動に合わせて水電解槽及びアンモニアの合成ループを調整するという動的アプローチを採用している。これにより、グリーン水素や再生可能エネルギーの高価な貯蔵需要を減らし、コスト効率の高いアンモニア生産が可能となる。

Topsoe 社がアンモニア製造技術を提供し、Vestas 社は Skovgaard Energy 社の太陽光発電パネルと風力発電タービンから供給される電力に加え、風力発電を提供する。本実証プロジェクトは、デンマークのエネルギー技術開発・実証プログラム（EUDP：Danish Energy Technology Development and Demonstration Program）を通じて資金提供を受けている。

本プラントは、デンマーク北西のユトランドのランメに位置する。新設の 50MW の太陽光発電パネルと既設の Vestas 社製風力発電タービン（12MW）からの電力供給を受け、年間 5,000 トンのグリーンアンモニアを生産する見通しである。これにより、年間約 9,600 トンの CO<sub>2</sub> 排出削減が見込まれている。

### ノルウェー：3ヵ所のアンモニア燃料補給ステーションの建設を支援

ノルウェー国営エネルギー機関 Enova 社は、同国内3ヵ所（モンスタッド、フロロ、リサヴィカ）のアンモニア燃料補給ステーションの建設に向け、4億 4,200 万 NOK（約 4,380 万米ドル相当）の支援パッケージを提供すると発表した。

ノルウェーの Azane Fuel Solutions 社は、船舶へ高容量かつ高速で燃料補給できる技術を開発しており、計画中の設備では1時間あたり 100 トン以上の冷却アンモニアの充填が可能となる。2029 年以降の稼働開始を目指し、国内外の船舶に適用される予定である。

インフラ整備と並行して、Enova 社は7隻のゼロエミッション船に対して総額 10 億 NOK 以上の補助金を提供している。この中には、Amon Bulk 社が開発するアンモニア燃料ばら積み貨物船3隻と、GMI Rederi 社及び LH2 Shipping 社が開発する水素燃料船4隻が含まれる。

これら7隻の導入により、年間9万 2,000 トンの CO<sub>2</sub> 排出量削減が見込まれている。

「燃料補給インフラの整備が確実となれば、船主はアンモニア燃料船への投資に前向きになる」と Enova 社の Noddeland 氏は指摘している。主要港へのステーション設置を促進することで、船主のリスクを軽減し、海運の脱炭素化を加速させる狙いである。

### ノルウェー：Gen2 Energy 社は 195MW 規模のグリーン水素プロジェクトにおいて電力供給枠を確保

ノルウェーのグリーン水素開発事業者 Gen2 Energy 社は、ヘルゲラン県で計画する 195MW 規模の液化グリーン水素プロジェクトの第1フェーズにおける電力供給枠を確保したと発表した。

同社は最終投資決定（FID）に向けて、一日あたり 30 トンの生産を目指す同プロジェクトの第1段階を促進するため、ヴェスフン自治体の既存の水力発電網から 87MW の電力供給枠を確保している。水素プラントは、モスヨエンのネスブルケットに建設され、地域の海事産業向けにグリーン水素を供給する予定である。

Gen2 Energy 社は 2025 年 10 月に、ドイツのエネルギー企業 MB Energy 社と共同で、同拠点からドイツ市場への液化水素輸出ルートの構築を検討すると発表している。

Gen2 Energy 社は、同プラントを段階的に 195MW 規模まで拡大する予定である。この拡大計画は、ノルウェーの送電事業者 Statnett 社が重要な役割を果たすことになる。同社は、2035 年までに最大 170 億ユーロを国内の電力網に投資すると発表しており、その 50%超が送電網の増強に充てられる予定である。

Gen2 Energy 社は、ノルウェーで計 995MW に及ぶプロジェクトパイプラインを保有している。

### フィンランド：Norsk e-Fuel 社と Outokumpu 社は SAF の製造プラントを建設

ノルウェーの合成燃料製造事業者である Norsk e-Fuel 社とステンレス鋼メーカー Outokumpu 社は、フィンランドのトルニオで持続可能な航空燃料（SAF）の製造プラントを共同で建設する計画を発表した。

両社は本事業に関する覚書（MoU）を締結し、Outokumpu 社のステンレス鋼の製造工場に隣接するサイトで同プロジェクトの実現可能性調査を実施する予定である。

Outokumpu 社は、既存のフェロクロム生産工程で発生する副生ガス（一酸化炭素）を原料として供給し、これをグリーン水素と組み合わせることで、年間 8 万～10 万トンの eSAF を生産する計画である。

本プロジェクトは Norsk e-Fuel 社が主導し、開発や資金調達を担う。総事業費は 12 億～15 億ユーロと見積もられている。

実現可能性調査の結果次第で同社は 2028 年頃に最終投資決定を行い、2032 年の着工を見込んでいる。

なお Norsk e-Fuel 社は、2025 年 2 月にスウェーデンでも年間 8 万トンの SAF 製造工場の計画を発表している。

### ポーランド：新たな国際空港に太陽光発電及びエネルギー貯蔵設備を併設

2032 年の開業を目指すポーランドの新たな国際空港「Port Polska」において、太陽光発電及びエネルギー貯蔵設備が併設されることが明らかとなった。

ポーランド国営の SPV（Special Purpose Vehicle）である CPK 社（Centralny Port Komunikacyjny）は 2025 年 12 月に、電力供給システムの設計に関する入札において、ポーランドの EPC 企業 Elektrotim を選定したと発表した。

本システムは、出力 20MW の太陽光発電と、容量 50MW（稼働 2 時間）のバッテリー貯蔵システムから構成される予定である。空港が本格稼働した段階で、設備容量が将来的に拡張される可能性もあるという。

空港の運営に必要な電力は、太陽光発電及び系統電力で賄われる予定である。余剰電力を貯蔵することで、空港全体のエネルギー自立性を高め、系統への依存を軽減する役割を果たす。

CPK 社の声明によれば、空港インフラは化石燃料に依存せず、敷地内に炭素排出を伴うエネルギー源は一切設置されないという。同社は、太陽光発電所とバッテリー貯蔵システムへの投資を、気候中立の実現に向けた取り組みの一環として位置付けている。

また CPK 社は、ポーランド科学アカデミーの鉱物資源・エネルギー管理研究所と協定を結び、温水（地熱水）掘削調査の準備も進めている。条件が整えば、空港需要に応じた地熱エネルギーの活用も検討する方針である。

### チェコ：Altris 社と Draslovka 社はナトリウムイオン電池用技術のバリューチェーンを構築

スウェーデンのナトリウムイオン電池製造事業者である Altris 社と、チェコの化学品大手の Draslovka 社は、チェコで欧州初となる産業規模のナトリウムイオン電池用カソードバリューチェーンの構築に向け、戦略的なパートナーシップを締結した。

両社は、Draslovka 社がチェコのコリンに所有する工場の既存設備を、Altris 社のカソード活物質（CAM）生産ラインに転換する計画である。これにより、市場投入までの期間を短縮し、資本効率の高いスケールアップを実現する狙いである。フル稼働時の生産能力は年間最大 350 トンを見込み、これは約 175MWh のナトリウムイオン電池セル容量に相当する。

パートナーシップの一環として、Draslovka 社は Altris 社に対し、1,930 万ユーロ規模の戦略的な投資を行っている。これにより Altris 社は、Draslovka 社が持つ製造ライセンスやプロセスに関するノウハウ、共同開発設備の設計を長期的に利用可能となる。両社は、2026 年後半の生産開始を予定している。

欧州では、バッテリー材料の域内調達や、域外への依存度が高いリチウム供給網からの脱却が急務となっている。両社はコリン工場での大規模な CAM 生産を通じて、ナトリウムイオン電池技術の域内バリューチェーンを確立し、強靱なエコシステムを構築することを目指している。

### **クロアチア：2025年に再生可能エネルギーが新記録を達成**

クロアチア再生可能エネルギー協会（OIEH）のデータによると、2025年には太陽光発電、風力発電や、持続可能な燃料を用いた火力発電所などの再生可能エネルギー源が合計で過去最高を記録し、総発電量は5TWhを超え、同国の総電力消費量の26.6%を占めた。水力発電を加えると、再生可能エネルギー全体の割合は52.6%に達する。

2025年の総電力消費量は前年で1.01%増の1万9,326GWhとなり、初めて19TWhを上回った。また、年間約322GWhの電力消費増加に対し、水力発電を除く再生可能エネルギー源の年間平均増加量は376GWhとなっており、ほぼ同じペースで追随している。

電源別では、水力発電が依然として国内電力システムにおいて単独で最大のシェアを持つが、水不足などの影響で発電量は前年比で18.4%減少した。

個別の技術では水力発電が首位を維持しているものの、風力発電、太陽光発電、バイオマス・バイオガスを合わせた発電量は5,142GWh（総消費量の26.6%）となり、初めて水力発電などを上回った。

現在の開発ペースが維持されれば、2026年初頭までには太陽光発電設備容量は約1,290MWとなり、初めて風力発電を上回る見込みである。2026年の太陽光発電量は約1,550GWhに増加し、利用可能な総電力量の約8%を占めると推定されている。

なお、さらなる再生可能エネルギーの拡大や電力輸入の削減には、大規模なプロジェクトにおける系統連系費用の問題解決が不可欠であると指摘されている。この規制上の問題が未解決のままであるため、現在約3.5GWの再生可能エネルギー及びバッテリー貯蔵システムが接続待ちの状態にある。

### **北マケドニア：134MW規模の太陽光発電所プロジェクトの開発に8,700万ユーロの資金を確保**

北マケドニア国営電力企業ESM社（Elektrani na Severna Makedonija）は、Bitola 3と呼ばれる134MW規模の太陽光発電所プロジェクトの開発向けに、総額8,700万ユーロの資金を確保した。

本プロジェクトは、同国南西部のビトラの旧炭鉱跡地に建設される予定である。

欧州復興開発銀行（EBRD）が最大3,700万ユーロを、ドイツ復興金融公庫（KfW）が5,000万ユーロのソブリン融資保証（sovereign-guaranteed loan）をそれぞれ提供する。EBRDとKfWが共同で資金提供を行う初めてのプロジェクトとなる。

この資金により、ESM社はBitola 3発電所の開発・建設・運営を進める。稼働開始後の年間発電量は約180GWhを見込み、北マケドニア最大級の太陽光発電所となる。

ESM社は、太陽光発電や風力発電プロジェクトの開発により、今後2～3年間にわたって再生可能エネルギーの設備容量を200MW以上増加させる目標を掲げている。これにより、年間26万トンのCO<sub>2</sub>排出量削減を見込んでいる。

北マケドニアは国家エネルギー・気候計画（NECP）の下で、2030年までに石炭火力を段階的に廃止し、温室効果ガス排出量を82%削減する目標を掲げている。また、この計画では、最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を2024年時点の約22%から、2030年末までに38%へ増加させる目標を設定している。

### **エストニア：新たな国家エネルギー開発計画を発表**

エストニア政府は、ENMAK 2035と呼ばれる2035年までの国家エネルギー開発計画を承認した。本計画は、エネルギー安全保障の強化とクリーンエネルギーへの移行加速を目的としている。

エストニア気候省が5年間かけて策定した同計画は、老朽化したオイルシェール（頁岩油）プラントを代替するため、蓄電設備を伴う風力発電や太陽光発電の拡大に加え、新規の調整電源を導入する予定である。

また、将来的に原子力の導入も検討する予定で、2035年までにガス消費の3分の1を再生可能なガスで賄う方針である。地域暖房システムの近代化は、ヒートポンプなどの技術で促進し、輸送部門の目標は別途策定されているモビリティ計画と整合させる予定である。

「ENMAK 2035 は官民の投資指針となる枠組みである。エネルギー分野の最良の結果は市場ベースの発展から生まれるが、不十分な場合には、調整電源の確保や金融支援、規制緩和などの予備措置も講じる」とエストニア政府のエネルギー・環境庁の大臣 Sutt 氏は述べている。

## ●米国環境産業動向

○ニューヨーク州、温室効果ガス排出量の報告を義務化へ

ニューヨーク州環境保全局（DEC）は12月、州内の温室効果ガス排出源を対象とする排出量及び関連データの年次報告を義務づける温室効果ガス報告プログラムを導入すると発表した。

DECによると、一定規模以上の温室効果ガス排出源は、排出量及び関連データを毎年DECに報告する義務を負うが、このプログラムは排出実態を正確に把握することで、今後の気候政策の基盤となる情報を整備するためのデータ収集を目的としたもので、排出削減の義務や排出枠の取得を求めるものではないという。

収集したデータは、DECが毎年公表する州全体の温室効果ガス排出量報告書の精度向上にも活用されるほか、将来的な排出削減施策の検討材料となる見通しだ。

○トランプ政権、企業平均燃費基準を緩和へ

トランプ大統領は12月3日、米国運輸省道路交通安全局（NHTSA）の企業平均燃費（CAFE）基準を緩和すると発表した。バイデン前政権下で導入された目標を引き下げ、企業の環境対応への負担を減らすとともに、ガソリン車の販売を続けやすくする意図と見られる。

CAFE基準は自動車メーカーに課されていた厳しい燃費基準で、2031年型車の平均燃費を1ガロンあたり約50マイル（約80km）としていたが、トランプ氏は「米国の消費者の負担を軽減し、自動車産業の雇用を守り、家庭にとって車の購入をより手頃で安全なものにするために歴史的な措置を取る」として、34.5マイル（約55km）へと大幅に引き下げる方針。また、自動車メーカーが基準達成のために利用してきた「規制クレジット」の取引制度を28年型車から廃止する計画で、早ければ来年には最終決定される可能性がある。

トランプ氏はまた、過度なEV（電気自動車）推進によるコスト増が、自動車価格の高騰を招いていると主張。今回の規制緩和により、自動車メーカーは無理なEVシフトを強いられることなく、需要の底堅いガソリン車やハイブリッド車を柔軟に生産・販売できるようになるため、メーカーにとっては環境対応コストの削減や罰則リスクの低減が期待でき、自動車価格の引き下げにつながる可能性がある。

また米国石油協会（API）も同日、EVへの急速な移行が抑制され、ガソリンエンジン車が長く市場に残ることは燃料需要が長期的に維持され、また消費者の選択肢を保護しているとして今回の提案を歓迎する声明を発表している。

○メタとネクステラ、クリーンエネルギー契約を締結 巨大電力調達網を構築

Meta（メタ）と再生可能エネルギー大手の米NextEra Energy（ネクステラ・エナジー）は12月8日、合計2.5ギガワットのクリーンエネルギー契約を締結したと発表した。

電力購入契約（PPA）11件とエネルギー貯蔵契約2件からなり、メタは急増するデータセンター需要に対応するために電力基盤を強化する。2.5ギガワットのうち2.1ギガワットは、主要電力市場で開発される太陽光プロジェクト9件を通じて供給される。さらにニューメキシコ州バレンシア郡とデバカ郡において、太陽光190メガワットと蓄電168メガワットを組み合わせた4つのプロジェクトが始動し、メタを含む利用者がより効率的にクリーン電力を導入できる仕組みが導入される。

またネクステラは同日、米IT大手Google Cloud（グーグルクラウド）との提携をさらに強化し、データセンター容量の拡大も発表。両社は複数のギガワット級のデータセンターを新設する

計画で、2026年半ばまでにグーグルクラウド AI を活用した製品を投入し、機器の故障予測や需要増加時の送電網の安定性向上につなげるという。

### ○グーグル、海洋由来の二酸化炭素除去技術企業と契約

米 Google (グーグル) は 12 月 10 日、海洋を活用した二酸化炭素除去技術を開発するスタートアップ企業の米 Ebb Carbon (エブ・カーボン) と、大気中の二酸化炭素 3500 トンを除去する事前購入契約を締結したと発表した。

今回の契約ではエブ・カーボンが独自に開発した技術を利用し、海水淡水化プラントから排出される高濃度の塩水 (ブライン) を処理対象とする。このブラインを電気化学的にアルカリ溶液へと変換し、海洋へ放出することで、海水が自然に大気中の二酸化炭素を吸収・固定する能力 (アルカリ度) を高める。

エブ・カーボンは 11 月、海水淡水化施設を活用したプロジェクトのため、世界最大の淡水化事業者であるサウジアラビア水庁との提携を発表。同国内の淡水化施設に同社の技術を導入することで、将来的には年間最大 8500 万トンの CDR 能力を確保する計画を明らかにしている。今回グーグルが購入する 3500 トン分の二酸化炭素除去は、サウジアラビア国内の施設で実施される予定だ。

またエブ・カーボンはアルファベット傘下の先端技術研究機関である「X (ムーンショット・ファクトリー)」とも連携し、海洋アルカリ化プロセスの副産物として生じる酸をコンクリート廃棄物のリサイクル処理に活用する研究を進めている。

### ○マイクロソフト、C2X と 12 年間で 360 万トンの二酸化炭素除去契約を締結

低炭素分子生産施設の開発・運営を行うデンマークの企業 C2X は 12 月 11 日、米 Microsoft (マイクロソフト) と、12 年間で計 360 万トンの二酸化炭素を大気中から除去する長期契約を締結したと発表した。

今回の契約は、C2X の子会社である Beaver Lake Renewable Energy (BLRE) がルイジアナ州で開発を進める新規低炭素燃料プロジェクトを通じて実施され、マイクロソフトは 360 万トンの炭素除去ユニット (CRU) を購入する (CRU は 1 ユニットにつき 1 トンの二酸化炭素を大気から除去し、地下に恒久的に貯留できる)。

同プロジェクトでは、かつて製紙工場があった敷地を活用し、持続可能に調達された森林残渣を原料としてバイオメタノールを製造。年間 50 万トン超のバイオメタノールを生産する一方で、生成過程で発生する生物由来の二酸化炭素を回収・貯留し、年間約 100 万トンの二酸化炭素を削減・除去する計画だという。

マイクロソフトは今回の契約について、「大規模な炭素除去と、グリーンメタノールによる広範な脱炭素化を両立できる点に意義がある」と発表。プロジェクト稼働後は 600 人以上の雇用が創生され、製紙・パルプ工場の閉鎖が相次いだルイジアナ州の林業支援にもつながるほか、二酸化炭素輸送・貯留インフラへの投資促進効果も期待されている。

### ○アンソロ・エナジー、バッテリー用電解質工場を開設 米国初の大型国内資本による先進電解液製造拠点

先端材料及びバッテリー開発を行う Anthro Energy (アンソロ・エナジー) は 12 月 12 日、ケンタッキー州レイビルに 4,200 万ドル (約 66 億円) 規模の投資を行い、新たな電解質の製造拠点を開設すると発表した。同工場は、ケンタッキー州におけるアンソロ・エナジー初の事業拠点で

ある一方、米国初の大型米国資本・米国運営による先進電解液製造拠点となる。

アンソロ・エナジーはスタンフォード大学発のスタートアップ企業で、特にリチウムイオン電池の安全性と性能を向上させるため、柔軟性の高い注入型相変化電解質（IPCE）を独自に開発。IPCE は従来の液体電解質に比べて発火リスクが低く、エネルギー密度を高められる可能性があるため、同社の技術は電気自動車（EV）や各種電子機器の性能を左右するものと期待されている。

新工場では年間 12000 トン以上の IPCE 生産を見込んでおり、今後 110 人規模の雇用を創出するほか、開発期間中に約 390 の建設関連雇用を生み出す計画だという。

米国はインフレ抑制法（IRA）などを通じて、EV やバッテリー関連産業の国内生産を推進。製品の部材調達から最終組立まで、サプライチェーン全体を国内及び同盟国で完結させ、特定国への依存度を低減させる動きが加速しており、今回の工場新設もこうした国内サプライチェーン強化の一環と考えられる。

### ○アメリカ船級協会や ENEOS ら日米 4 社、船舶向けメタノール燃料の米国内サプライチェーン構築への取り組みを開始

米 American Bureau of Shipping（アメリカ船級協会、以下 ABS）、ENEOS、日本郵船、米国及び国外で海上輸送サービスを行う米 SEACOR Holdings（シーコア）の 4 社は 12 月 12 日、ヒューストン近郊において船舶向け低炭素メタノール燃料を船舶へ供給するための生産・調達・貯蔵・輸送・供給を行うバンカリング・サプライチェーン構築に向けた取り組みを開始したと発表した。

4 社は商業規模としては米国初となる Ship to Ship（船同士が海上で横付けして燃料を移し替える方式）による船舶向けメタノール燃料の供給網構築を目指す。海運業界では国際海事機関（IMO）が掲げる 2050 年温室効果ガス排出実質ゼロ目標に向けた対策が求められており、再生可能エネルギー由来やバイオ由来の低炭素メタノールは、常温常圧で液体のため利便性が高いことから、温室効果ガス削減に資する次世代船用燃料として注目されている。

今回の取り組みにおいて、ENEOS は出資先のグリーンメタノールの製造を行うデンマーク企業の C2X がルイジアナ州で進めているプロジェクトによる低炭素メタノールの調達及び海運会社への供給を目指す。日本郵船は船舶向け LNG バンカリング（液化天然ガスを燃料とする船舶に対し、専用のバンカー船や陸上施設から液化天然ガスを燃料として給油するサービス）の供給網構築実績を活かし、メタノール燃料供給船の整備に向けて知見を提供する。シーコアはメタノール燃料供給船の保有・運航に関するノウハウを共有し、ABS は米国におけるメタノールバンカリング事業を行う上での安全面及び規制面の支援を行う。

### ○米 16 州、EV 充電施設の助成金停止で連邦政府を提訴

米国の 16 州と首都ワシントン DC は 12 月 16 日、トランプ政権が EV 充電インフラを支援するための助成金プログラム 2 件を停止し、これらのプログラム向け資金 20 億ドル（約 3,129 億円）超を違法に保留しているとして連邦政府を提訴した。

この提訴はカリフォルニア州、ワシントン州、コロラド州などが主導するもので、米運輸省を対象としており、カリフォルニア州のボンタ司法長官は、2022 年のインフラ投資法で議会が制定した助成金プログラムについて、運輸省は新規の資金承認を拒否していると指摘。プログラムの一つは EV 充電設備や水素燃料供給インフラの整備にむけ、州や自治体へ 25 億ドル（約 3,902 億円）の助成金を交付する計画だったが、ボンタ氏は助成金の停止は「大気汚染と気候変動対策の妨げとなり、イノベーションを遅らせ、地域社会が清潔で手頃な交通手段を利用できなくなる無謀な試みに過ぎない」と批判している。

トランプ政権はよりクリーンな自動車やトラックに友好的なバイデン前政権の政策を複数撤廃し、石油・ガス産業の政策方針に沿った施策を推進しており、2025年2月には前政権下で成立した超党派インフラ法に基づき配分された電気自動車充電設備への支出を停止するよう命じていた。

### ○米内務省、洋上風力発電リース契約を即時停止 国家安全保障上の懸念に対応と

米内務省（DOI）は12月22日、米国内で建設中の大規模洋上風力発電プロジェクトのリース契約をすべて即時停止すると発表した。国防総省による最新の機密報告書により国家安全保障上の懸念が指摘されたことが理由であるとしている。

今回の停止により、DOIは国防関連機関やその他の政府機関、リース保有者、州政府と連携し、リスク低減の可能性を評価する時間を確保する。Vineyard Wind 1、Revolution Wind、CVOW（商業）、Sunrise Wind、Empire Wind 1の5案件が停止の対象となる。

DOIによると、大規模な洋上風力発電では巨大なタービンブレードの回転や高反射性のタワーが「クラッター」と呼ばれるレーダー干渉を引き起こすことが以前より指摘されており、これにより正規の移動目標が隠蔽され、風力発電プロジェクトにおいて虚偽の目標が生成される恐れがある。米エネルギー省の報告では、誤警報を減らすため検知閾値を上げることは可能だが、実際の目標を見逃す危険があるとされている。DOIは今回の対応により、洋上風力発電がもたらす国家安全保障リスクを適切に扱い、国民を防衛する能力を維持するとしている。

### ○フォード、EV戦略を抜本的見直しへ 大型EV開発中止

米Ford Motor（フォード）は12月15日、同社の成長戦略「Ford+」を再構築し、収益化に苦しむ電気自動車（EV）事業の抜本的な見直しを行うと発表した。

戦略転換の一環として、予定していたピックアップトラック「Fシリーズ」の新たなEV開発を中止。主力の電動ピックアップトラック「F-150 ライトニング」は、電動バッテリーだけでなくガソリン発電機も搭載することで航続距離を伸ばしたハイブリッド車へと転換するなど、需要が堅調なトラックや商用車とハイブリッド車への経営資源を再配分し、EV電池工場の用途を変更する。

また新たな成長分野として、電池エネルギー貯蔵システム（BESS）事業へ新規参入する。ケンタッキー州などの既存電池工場を活用し、データセンターや電力インフラ向けにBESSを供給する。2027年までに年間20ギガワット時規模の供給体制を構築する計画で、今後2年間に約20億ドル（約3,129億円）を投資する。これらの戦略転換に伴い、フォードはEV関連資産の整理などで約195億ドル（約3兆534円）の特別損失を計上する見通しだという。

2025年9月に7,500ドル（約117万円）のEV税額控除が中止されてからEVの需要は大きく落ち込んでおり、各自動車メーカーはEVへの投資を縮小してハイブリッド車の生産に力を入れる方針に転換している。

## ●最近の米国経済について

○EV インフラ資金を巡り全米 16 州がトランプ政権を提訴

カリフォルニア州やニューヨーク州をはじめとする全米 16 州(注)とコロンビア特別区(以下、16 州など)は 12 月 16 日、連邦議会で承認された電気自動車 (EV) の充電インフラに対する助成をトランプ政権が違法に停止したとして連邦政府を提訴した。

訴状によると、米国運輸省 (DOT) と連邦高速道路局 (FHWA) は、2021 年にバイデン政権下で成立したインフラ投資・雇用法 (IIJA) に基づき、議会の承認を経て 5 年間の予算枠として成立した EV 充電インフラ向けの 2 つの助成プログラム「EV 充電インフラ助成金 (CFI)」(総額 25 億ドル) と「EV 充電器の信頼性・アクセシビリティ促進プログラム助成金」(総額 5 億ドル) について、2025 年初頭から執行を停止している。CFI では 18 億ドル分の付与がすでに採択されたものの、その大部分が利用できない状態で、促進プログラムに関しても一部採択が頓挫しているという。

両助成金は、いずれも州・地方自治体が EV 充電ネットワークを全国規模で構築・改善するための重要な支援策として位置づけられ、気候変動対策や交通インフラの現代化、関連産業の雇用創出が想定されていた。16 州などは、今回の資金執行の停止は連邦議会に付与された予算歳出の権限 (power of the purse) を侵害し、政府機関が法令に基づく執行義務を放棄しているとして違法性を主張している。

訴状提出にあたり、ニューヨーク州のレティシア・ジェイム司法長官は「現政権は、本来差し止める権利のない数十億ドルもの資金を凍結することで、議会をないがしろにしようとしている」と批判した。同州では、約 1,000 基の充電器設置や関連する人材育成プログラムに充てられる予定だった約 1,500 万ドルの CFI 助成金が停止されており、すでに連邦要件を満たして工事準備が進んでいたプロジェクトでさえ、頓挫していると指摘した。また、オレゴン州のダン・レイフィールド司法長官も「プロジェクトの遅延は、充電ステーションだけでなく、雇用、サプライチェーン、州内の事業コストにも影響を及ぼす。連邦政府が州経済と労働者コミュニティを支える投資を停止することで、オレゴン州が不利益を被るべきではない」としている。訴状によれば、原告は裁判所に対し、(1) 助成金停止措置は、憲法、IIJA 及び米国行政手続き法 (APA) に違反すると宣言すること、(2) 同様の予算執行妨害を恒久的に禁じること、(3) 助成金凍結の速やかな停止と 2026 年度の未払い 7 億ドルを含め、該当する歳出予算が失効する前に全額の支出義務を強制する命令状を発行すること、などを要求している。

充電インフラに関しては、これまで IIJA に基づき、総額 50 億ドルの「国家電気自動車 (EV) インフラプログラム (NEVI フォーマラプログラム)」による急速充電設備の整備も進められてきた。同プログラムも一時的に政府によって停止されたが、裁判を経て 2025 年 8 月に再開した経緯がある。今回の訴訟の行方にも注目が集まっている。

(注) アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、デラウェア、イリノイ、メリーランド、マサチューセッツ、ミシガン、ニュージャージー、ニューヨーク、オレゴン、ロードアイランド、バーモント、ワシントン、ウィスコンシン各州及びコロンビア特別区 (ワシントン DC) の司法長官、さらにペンシルベニア州知事が加わっている。

○米 USTR、USMCA 延長は欠陥が解決可能な場合のみとする方針を表明

米国通商代表部 (USTR) のジェミソン・グリア代表は 12 月 16~17 日、連邦議会で通商を所管する下院歳入委員会及び上院財政委員会に対して、米国・メキシコ・カナダ協定 (USMCA)

の見直し方針を報告した。報告は非公開で実施されたが、USTR は 17 日にグリア代表の冒頭陳述を公開した。

USMCA は協定本文において、発効 6 年目（2026 年 7 月）に協定に参加する 3 カ国で共同見直しを行うことを定めている（注 1）。これを受け、米国の USMCA 実施法は USTR に対して、見直しで政権が提案する措置及び協定延長に関する立場などを、見直しの 180 日前までに議会へ報告するよう義務付けている（注 2）。USTR が公開した冒頭陳述によれば、グリア代表は「見直しに対する政権の見解を書面で公表することへの要望は理解している」としながらも（注 3）、「法令上、書面での報告は義務付けられていない」とし、議会報告を口頭で行うことで法令上の義務を果たしたとの見解を示した。続けて、冒頭陳述を公開することで政権の現在の方針は理解できると説明した。

冒頭陳述では、公聴会やパブリックコメントで寄せられた意見を紹介し、「多くが USMCA への支持を表明し、明示的に協定延長を要請した」としながら、「同時に、ほぼ全ての関係者が何らかの改善を求めている」と総括した。その上で、「USMCA の運用に関する評価」として、米国からカナダ、メキシコへの財・サービス輸出が 2020 年に比べ 56% 増加していること、メキシコの労働者の賃金が「事業所特定の迅速な労働問題対応メカニズム (RRM)」などによりほぼ倍増し、米国の労働者がメキシコと競争しやすくなったことなどを例に、「USMCA は一定程度成功している」との見解を示した。ただし、「米国の製造業の能力強化と良質な雇用創出に関する目標の全てを達成できていない」として、USMCA が抱える欠陥は解決する必要があると説いた。また USMCA は、非市場経済国からの投資や過剰生産品の輸入に対処するよう設計されていないとも指摘した。

これらを踏まえ、「見直しで政権が提案する措置及び協定延長に関する立場」として、「USMCA が米国や北米全体にとってどれほどの価値があるとしても、その欠陥はあまりにも甚だしく、同協定を無批判に承認することは国益にかなわない」とし、欠陥が「解決可能な場合にのみ更新を勧告する」との見解を示した。交渉では、「2 国間で対応可能な課題と 3 カ国間での解決を要する課題を特定する」とした。メキシコとは労働法の執行など、カナダとは米国の乳製品の市場アクセスなど、複数の課題を列挙した。3 カ国での協議が必要な課題には、原産地規則（注 4）、重要鉱物、経済安全保障政策の整合性を挙げた。経済安保については、メキシコとカナダも関心を示しているとし、メキシコの一般関税率の引き上げを、非市場経済国からの過剰生産品の輸入に対応する措置として評価した。

米国が USMCA の大幅な改定を主張しているのと裏腹に、メキシコとカナダは協定の大部分を維持しつつ限定的で的を絞った変更を求める可能性が高いと見られており（米通商専門誌「インサイド US トレード」12 月 17 日）、見直しで 3 カ国が合意できるかは依然として不透明だ（注 5）。

（注 1） USMCA は、協定発効 16 年目（2036 年 7 月）に失効すると定められているが、発効 6 年目の見直しで 3 カ国が延長に合意した場合、その 16 年後（2042 年 7 月）まで延長される。3 カ国が合意できなければ、以降 2036 年まで毎年見直しを実施し、延長を検討することになっている。

（注 2） USMCA 実施法が USTR に義務付けている措置は次のとおり。(1) 2026 年 7 月 1 日の見直し実施 270 日前（2025 年 10 月 3 日）までに連邦官報を公示し、パブリックコメントなどを募集、(2) 官報公示後、速やかに公聴会を開催、(3) 見直し実施 180 日前（2026 年 1 月 2 日）までに、USMCA の運用に関する評価、見直しで政権が提案する措置及び協定延長に関する立場、懸念を解決するために既に講じた取り組み、貿易諮問委員会の見解、について議会へ報告。

（注 3） 口頭での議会報告に対して、一部の民主党議員などが批判していた。

(注4) 米国は、かねて協定非参加国による「フリーライド」を問題視しており、グリア代表は、原産地規則を強化して「第三国がこの協定の恩恵を受けないようにする」ことが重要との認識を示している。

(注5) 首都ワシントンでは、3カ国の合意は難しいとの見方が多い。なお、仮に見直しを経て、米国とメキシコ、米国とカナダの2国間 FTA（自由貿易協定）として交渉する場合、米国では発効する際に議会承認が必要となる。従って、2026年11月に予定されている連邦議会の間接選挙の行方も、USMCAの見直しに影響する可能性がある。

### ○米税関、鉄鋼・アルミ 232 条関税率の計算方法に関する非公式見解を輸入者に通知

米国では12月以降、1962年通商拡大法 232 条に基づく鉄鋼・アルミニウムに対する追加関税措置に関して、税関・国境警備局（CBP）が輸入者に対し、鉄鋼・アルミの価額の計算方法について情報提供を呼びかけているほか、非公式ながら計算方法に関する CBP の一部門の見解を通知している。

トランプ政権は 232 条に基づき、鉄鋼・アルミ製品だけでなく、これらを利用して生産される「派生品」の輸入にも 50%の追加関税を課している。派生品については原則、製品に含まれる鉄鋼やアルミの価額に対してのみ追加関税を課しているが、CBP は価額の計算方法に関する詳細なガイダンスを発表しておらず、不透明な通関実態が続いている。こうした中、自社が合理的に判断した鉄鋼・アルミの価額を基に輸入申告するケースと、関税の過少申告リスクを避けるために輸入申告価格全体を鉄鋼・アルミの価額として申告するケースなどが混在している。

通商に詳しい法律事務所によると、CBP は12月に入って、Customs Form (CF) 28（情報提供要請書）や CF29（措置提案・通知書）を輸入者に送付している。CF28 は通常、関税分類、原価評価、原産国などを税関が確認する際に送付され、これを基に正しい通関実務を要請するために CF29 が送られる。政治専門紙「ポリティコ」（12月23日）などによれば、12月上旬に、CBP のセンターズ・オブ・エクセレンスアンドエキスパートイズ（Centers of Excellence and Expertise）の1つであるベースメタル・センター（Base Metals Center、注）が、CF29 に基づき鉄鋼・アルミの価額の計算方法に関する解釈を通知した。ポリティコなどが報じている同センターの通知によれば、例えば輸入品が 100%鉄鋼・アルミで生産されている場合、分離すべき非鉄鋼・非アルミが存在しないことから、輸入品の申告価格全額に対して 232 条関税が課される。また、鉄鋼・アルミとそれ以外の部材が混在している場合、鉄鋼・アルミの価額の計算方法は、「輸入申告価格全体から非鉄鋼・非アルミの価額を差し引いた残りが、232 条関税の対象」との見解を示している。

なお、この解釈は CBP による公式な見解ではなく、新たなガイダンスも公開されていない。ポリティコによれば、CBP はメディアへの公式な回答を控えている。前出の法律事務所は、今回の状況について「より具体的なガイダンスを提供する前に、輸入業界の実態を把握しようとしているものと推測される」との見解をジェトロに示す一方で、「ホワイトハウスで、執行への関心が高まっている」とも指摘する。司法省は 2025 年8月に、関税の不当な回避や輸入禁止物品の密輸の取り締まりを強化するためのタスクフォースを設立している。

現時点では、どういった計算方法が正式なガイダンスとして今後出されるか不明で、不透明な状況は続く。輸入者は引き続き、自社の判断を合理的に示せるよう、通関書類の適切な保存が求められる。

(注) センターズ・オブ・エクセレンスアンドエキスパートイズは、CBP を代表して貿易コンプライアンスの解決など、通関後の実務を補佐する役割を担い、10の産業分野ごとに配置されている組織。

## 米国際貿易裁判所、IEEPA 関税の還付を求める訴訟で新規の処理を停止

米国国際貿易裁判所（CIT）は 2025 年 12 月 23 日、国際緊急経済権限法（IEEPA）に基づく関税に関連する救済を求める新規の訴訟の処理を停止すると発表した。

CIT は事務手続き命令で、「(同命令の) 発令日以降に提起された、IEEPA 関税に関連する救済を求める全ての未割当の訴訟及び新規の訴訟は、開始の時点で裁判所の追加措置を要することなく停止される」とした。停止の解除を求める場合は、当該案件が早期の審理に付されるべき正当な理由を示す必要がある。また、連邦最高裁の IEEPA 関税の合法性の裁定後に「適切な次の措置」を発表すると説明している。

IEEPA 関税を巡っては、現在その合法性を巡る裁判が最高裁で審理されている。仮に最高裁が IEEPA 関税を違法と判断したとしても、これまでに徴収された関税が還付されない可能性などが懸念されており、こうした不安から多くの企業が還付などの救済を求めて訴訟を起こしている。こうした事態に対し、CIT は 12 月 15 日に、仮に最高裁で IEEPA 関税が違法と判断された場合には、トランプ政権がこれまでに徴収した IEEPA 関税を還付する意向を示していることなどを理由に、IEEPA 関税の清算の停止を求める企業の訴訟を棄却していた。

しかし、「還付を受けられるのは訴訟を起こした企業に限られる」可能性への懸念も根強く、CIT の 12 月 15 日の裁定以降も新規の訴訟の申し立てが続いていた。米国通商専門誌「インサイド US トレード」（2025 年 12 月 23 日）によれば、12 月 22 日だけで CIT に 49 件の新規の訴訟が起こされ、そのほぼ全てが IEEPA 関税の返還を求めたものだった。

今回の CIT の発表では、訴訟を起こしていない企業への還付に関する具体的な説明はなかった。今後、IEEPA 関税を巡る最高裁の裁定が下される中で、IEEPA 合法性に加え、違法と判断された場合の還付の仕組みも引き続き注視する必要がある。

## ○米税関、関税還付を 2 月 6 日から原則として全面電子化へ

米国税関・国境警備局（CBP）は 1 月 6 日、税関の電子申請システム（ACE）の改修が終わり、関税還付の全面電子化が 2 月 6 日から始まると発表した。これにより、還付が迅速化する見込みだ。

ドナルド・トランプ大統領は 2025 年 3 月 25 日、連邦政府による支払いや給付金の支給、税の還付などについて紙の小切手の発行を停止し、電子決済へ切り替えるよう指示する大統領令を発表していた（注 1）。大統領令では、電子決済への移行を同年 9 月 30 日までに行うよう指示していたが、CBP は ACE 改修の必要性などを理由に、全面的な切り替え時期を延期していた。CBP によれば、現在、関税還付の大部分は紙による小切手の郵送で行われている。だが、今般 ACE の改修が完了したことにより、関税の還付は 2026 年 2 月 6 日から原則として全て電子的に行われることになる。

CBP は 1 月 6 日付の「貨物システムメッセージサービス」（CSMS）で、関税の還付を受ける予定がある輸入者などに対して、電子還付登録シートを確認し必要な手続きを取るよう呼びかけている。CBP の 1 月 2 日付の官報によれば、既に電子での還付プログラム（ACH Refund program）に登録済みの輸入者などは、引き続き電子で還付を受けられるが、プログラムに未登録の場合は申請する必要がある。なお CBP は、1 月 14 日、1 月 28 日、2 月 11 日の午後 2～3 時（米国東部時間）にマイクロソフト Teams を通じて説明会を行う。

トランプ政権 2 期目が 2025 年 1 月に発足して以降、相互関税や 1962 年通商拡大法 232 条に基づく分野別の追加関税など、複数の関税措置が並行して発動されたことから、通関実務が混乱し、関税還付に通常よりも時間がかかっているといった声が日系企業から複数聞かれている。今回の

電子化により、還付が迅速化されれば、状況の改善が期待される。

また、相互関税をはじめとする国際緊急経済権限法（IEEPA）に基づく追加関税措置は、その合法性を巡って現在、連邦最高裁で審理されており、仮に違法となった場合、企業にとっては関税還付の有無が焦点の1つとなっている。今後、還付を受ける可能性がある企業は、CBPが発表している必要な手続きを遅滞なく行うことが重要となる。

（注1）大統領令を受け、財務省は2025年8月14日に声明を発表している。

### ○12月の米雇用統計、労働市場の弱さは続くも、極端な悪化は回避

米国労働省は1月9日、2025年12月の雇用統計を発表した。失業率を含む指標（注1）が年次改定に伴い遡及改定されている。

就業者数（前月差23万2,000人増）、失業者数（同27万8,000人減）、労働参加率（62.4%、前月から0.1ポイント低下）を踏まえた失業率は4.4%（注2）と、前月（4.5%）から低下した。また、広義の失業率（注3）も8.4%（前月8.7%）と低下した。労働参加率の低下と失業者の減少がほぼ同程度に失業率の低下に寄与している点は、ポジティブな要素といえる。しかし、失業率が改善を見せる一方、27週以上の失業者の増加や、労働参加率の減少に伴う14週以下の失業者の減少により、平均失業期間は24.4週（前月23.1週）と再び長期化している。再就職の難しさもうかがえる内容となっており、労働市場全体の脆弱性は依然として続いていると評価できる。

非農業部門の新規雇用者数は5万人増と市場予想（6万6,000人増）を下回った。11月は6万4,000人増から5万6,000人増に、10月は10万5,000人減から17万3,000人減にそれぞれ下方修正された。これに伴い、3カ月移動平均では12月の伸びは2万2,000人減と3カ月連続のマイナスになっている。もっとも、これには政府閉鎖に伴い、10月に連邦政府の雇用が大幅に落ち込んだことも影響しており、民間部門だけでみると12月は3カ月移動平均で2万9,000人増となっている。12月単月では3万7,000人増で、業種別では、娯楽・接客業や教育・医療サービスが伸びを示す一方で、製造業や建設業、小売業など複数の業種では弱さも見られた。

雇用者数の伸びがやや弱めに推移する一方、平均時給は37.0ドル（前月36.9ドル）で、前月比0.3%増（前月0.2%増）、前年同月比3.7%増（前月3.6%増）とわずかに伸びが加速した。

12月の雇用統計では、全体的には失業期間の長期化や雇用者数の伸びの弱さなど、労働市場の脆弱性が継続していることが確認できる一方、失業率や賃金の伸びといった要素が悪化していないことも示された。労働市場が極端に悪化していないことを踏まえれば、12月の連邦公開市場委員会（FOMC）でジェローム・パウエル連邦準備制度理事会（FRB）議長が示唆した路線に沿って、FRBはしばらくの間、積極的な利下げを行わずに物価と労働市場のリスクバランスを見極める時間的余裕があるようにみえる。

（注1）雇用統計は、失業率などを含む家計調査と、非農業部門新規雇用者数や平均賃金などを含む事業所調査の2種類の統計から成り立っている。

（注2）小数点第2位までの数値で比較すると、12月は4.38%と前月（4.54%）から0.16ポイント低下。

（注3）失業者に加え、「現在は仕事を探していないが、過去12カ月の間に求職活動を行った者」と「フルタイムを希望しているものの、非自発的にパートタイムを選択している者」を合わせて算定した数値。

### ○12月の米消費者物価指数、引き続き注視は必要だがインフレ加速に一服感も

米国労働省が1月13日に発表した2025年12月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比2.7%上昇（前月2.7%上昇）、前月比0.3%上昇となった。変動の大きいエネルギーと食料品を除いた

コア指数は前年同月比 2.6%上昇（前月 2.6%上昇）、前月比 0.2%上昇だった。コア指数は市場予想（注）をわずかながら下回る伸びとなっている。

品目別に前年同月比の伸びを見ると、牛肉（16.4%上昇）やコーヒー（19.8%上昇）などの上昇が影響し、食料品価格は 3.1%上昇（前月 2.6%上昇）と伸びが加速した。エネルギー価格については、電気（6.7%上昇）やガス（10.8%上昇）などのエネルギーサービスの価格が上昇する一方で、ガソリン価格が 3.4%下落したこともあり、2.3%上昇（前月 4.2%上昇）と伸びはやや鈍化した。これらを除いたコア指数では、財部門（1.4%上昇）、サービス部門（3.0%上昇）ともに前月と変わらなかった。

一方、前月比で見ると、財部門は横ばい、サービス部門は 0.3%上昇だった。財部門では、衣類（0.6%上昇）などでは引き続き高めの伸びが続いているものの、家具・家電など輸入依存度の高い品目の中には低下に転じているものも見られる。12月は年末商戦に伴う値引きの影響なども考えられることから、依然として予断を許すものではなく、今しばらく動向を注視する必要があるが、一部のエコノミストからは関税引き上げに伴うインフレへの影響はピークに達したとの指摘もある（ウォールストリート・ジャーナル 2026年1月13日）。

今回は数カ月ぶりに政府閉鎖の影響を受けないインフレ指標の発表となり、9月の数値と比べて伸びが加速していないことが確認され、物価上昇基調に一服感を感じさせるものとなっている。今後数カ月間、こうした傾向の継続が確認できれば、2026年後半における利下げ再開につながり得る。とはいえ、住居費や食料品、エネルギーといったアフォーダビリティ（購入しやすい価格かどうか）が問われる品目については依然として高い伸びを示している。その水準の高さも重なり、依然として消費者の不満が解消に向かっているとは言い難い状況だ。

（注）ブルームバーグの市場予想では、CPI、コア指数ともに前年同月比 2.7%上昇、前月比 0.3%上昇だった。

## ○トランプ米大統領、232条に基づき一部の半導体へ追加関税賦課を決定

米国のドナルド・トランプ大統領は1月14日、1962年通商拡大法 232条に基づき、特定の半導体に 25%の追加関税を課す大統領布告を発表した。ホワイトハウスは同日、ファクトシートも発表した。米国税関・国境警備局（CBP）も同日、ガイダンスを発表した。

商務省産業安全保障局（BIS）は 2025年4月1日、232条に基づき、半導体などの輸入に対して調査を開始し、商務長官は同年12月22日に大統領に報告書を提出した（注1）。報告書では、米国における半導体や先進リソグラフィ・エッチング装置などの特定の半導体製造装置などの生産能力は、米国内の需要を満たすには不十分で外国に依存せざるを得ないこと、米国は世界の半導体の約4分の1を消費しているにもかかわらず必要な半導体の約10%しか米国内で生産できていないことなどを指摘し、現在の半導体、半導体製造装置、それら派生品の輸入量は米国の安全保障を損なう恐れがあると結論付けた。これを受けトランプ氏は、安全保障上の脅威に対抗するため次の措置を取ると決めた。

商務長官と米国通商代表部（USTR）代表は、半導体などの輸入に伴う安全保障の脅威に対処するため諸外国との交渉を実施・継続し（注2）、90日以内に大統領に交渉状況を報告する。大統領は報告を受け、半導体に関連する広範な輸入に対する関税賦課や米国内での製造を促進するためのプログラムを検討する（注3）。

米国関税分類番号（HTSコード）8471.50、8471.80、8473.30に分類され、特定の仕様（注4）を満たす半導体の輸入に対して、米国東部時間 2026年1月15日午前0時1分以降、25%の追加関税を課す。

ただし、輸入される半導体が米国内のデータセンターでの使用、修理または交換、研究開発用

途、スタートアップ企業による使用、非データセンター向け民生用途、公共セクターでの使用を目的とする場合のほか、商務長官が米国の技術サプライチェーンもしくは半導体派生製品の国内製造能力の強化に寄与すると判断する場合は、追加関税の対象外となる。

追加関税の対象となる半導体が他の 232 条関税の対象となっている場合、半導体への追加関税が優先され、それ以外の 232 条関税は課さない。また、国際緊急経済権限法 (IEEPA) に基づく相互関税、フェンタニルなどの流入防止のためのメキシコとカナダへの追加関税も課さない (注 5)。

今回、追加関税の対象となった品目は限定的だが、大統領布告やファクトシートなどでは今後、広範な半導体関連品目に追加関税を課す可能性が示唆されている。一方で、今回の大統領布告などでは、鉄鋼・アルミニウムと自動車部品に対して設けられた対象品目拡大プロセスに関する言及はなかった。米国の業界団体からは、半導体に対しても同様の追加プロセスが設けられることを懸念する声が上がっていた (注 6)。

なお現時点では、対象外となるデータセンター向け用途などの細かい定義は明らかでない。また米国の関税措置に関する日米合意では、半導体に 232 条関税が課される場合は日本を他国に劣後するかたちで扱わないと規定されているが、この扱いも現時点では不透明だ。関連する品目を米国に輸出している企業は、状況を注視することが重要だ。

(注 1) 232 条は、特定製品の輸入が米国の国家安全保障に脅威を及ぼすと商務長官が判断した場合に、追加関税などの措置を発動する権限を大統領に認めている。

(注 2) 大統領布告では、交渉相手国は明記されていない。相互関税発表後に各国・地域と行っている交渉を指すと見られる。

(注 3) 関税相殺プログラムが創設される可能性がある。関税相殺プログラムは、232 条に基づく自動車部品への追加関税措置に対する緩和措置として導入されている。

(注 4) ファクトシートによれば、エヌビディアの「H200」やアドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD) の「MI325X」などが該当する。帯域幅などによって細かく条件が指定されており、詳細は大統領布告の付属書及び CBP のガイダンス参照。

(注 5) 関税払い戻し (ドローバック) の対象にはならない。

(注 6) ジェトロによる 2025 年 6 月 25 日のインタビュー。

## ○トランプ米大統領、232 条に基づき重要鉱物の協定交渉を指示、将来的な関税賦課の可能性残る

米国のドナルド・トランプ大統領は 1 月 14 日、商務長官と米国通商代表部 (USTR) 代表らに対して、重要鉱物の輸入量調整に向け、各国・地域との交渉を指示する大統領布告を発表した。1962 年通商拡大法 232 条に基づく措置となる。ホワイトハウスは、布告の概要のファクトシートも公表した。トランプ政権 2 期目で開始された 232 条調査の内、追加関税の賦課が定められなかったのは初めて。いったん関税の適用は回避されたが、各国・地域との交渉結果や状況によっては、将来的に追加関税などの輸入制限措置が講じられる可能性は残されている。

商務省はトランプ氏の指示を受けて、2025 年 4 月に重要鉱物に関する 232 条調査を開始し、商務長官は 10 月 24 日に報告書で大統領に提出した。報告書では、重要鉱物・派生品が米国の防衛・商業サプライチェーン全体に深く組み込まれており、先端兵器からエネルギーインフラ、日常消費財に至るまで広範な分野で重要な役割を果たしていると指摘した。同時に、米国が重要鉱物の供給を外国に過度に依存しており、国内生産能力が弱体化しているほか、重要鉱物の市場価格の変動の大きさに直面していることなどを指摘し、現在の輸入量及び輸入状況が米国の国家安全保障を損なう恐れがあると判断した。報告書を踏まえてトランプ氏は、商務長官及び USTR 代表ら

に次の措置を指示した。

- 輸入量調整に向けた貿易相手国との協定の交渉を推進する。交渉を通じて、重要鉱物の取引の最低価格設定や貿易制限措置の導入を検討する。
- 交渉の結果と状況を布告発表から 180 日以内に大統領に報告する。大統領は報告の内容に応じて、関税など輸入調整措置を講じる可能性がある。

トランプ政権はこれまでに、オーストラリア、マレーシア、タイ、日本、サウジアラビアとそれぞれ重要鉱物やレアアースの供給確保で協力する覚書や枠組みを発表している。背景にあるのは、中国による重要鉱物やレアアースの輸出管理強化による供給途絶への懸念で、今回の布告の発表は、有志国との協定や枠組みをさらに拡大することを意図していると思われる。

### ○米国国務省が新たな戦略計画を発表、公正かつ相互利益に基づく通商協定を追求

米国国務省は 1 月 15 日、2026～2030 年度の戦略計画を発表した。過去の政権の外交方針を否定し、あらためて米国第一を主張する内容となっている。

マルコ・ルビオ国務長官は戦略計画の序文で、米国は過去の政策の失敗により、製造業の衰退に直面し、サプライチェーンの海外依存度を高めていることを課題として指摘した。その上で、超党派の合意の下で約 35 年間進めてきた多国間主義、グローバル化といった外交アジェンダは、「米国を文明的・地政学的な自殺へと導く危険性をはらんでいる」と批判した。これを是正するため、米国の国益と国民の利益を追求する「米国第一の外交政策」が重要だと説いた。友好国との間では、公正な貿易の拡大、民間セクター投資、対象を絞った対外援助、主要なサプライチェーンのニアショアリングを推進するとし、この方針が米国の国際的関与の指針にもなると記載した（注 1）。また、現在の国際通商システムによる不当な搾取などをこれ以上容認しないとするドナルド・トランプ大統領の方針を受け、「新たな通商協定を締結し、公正かつ相互利益に基づく貿易・経済パートナーシップを実現する」とした。

戦略では、「米国の国家主権」「西半球とドンロー主義の確立」「インド太平洋地域の平和と安定」「欧州諸国との文明的な同盟の再構築」「米国の経済的・技術的優位性」「米国の国益を最優先とする対象を絞った対外援助」の 6 つの目標を掲げ、それを達成するための各方針を記載した。このうち経済や通商を記した「米国の経済的・技術的優位性」では、「米国の再工業化」を最初の方針に掲げた。とりわけエネルギー、重要鉱物、造船、半導体、人工知能 (AI)、バイオテクノロジー、量子など「経済発展の最先端分野を中心に再工業化を推進し、サプライチェーンを敵対国への依存から保護する」と記載した。また、親米諸国による経済ブロックを形成し、基幹インフラプロジェクトなどを通じて商業関係を深めるとともに、これら諸国と新たな経済安全保障の合意を確立するとともに記載した。2 つ目の方針には「外国の行為体の国際貿易システム乱用阻止」を掲げ、第三国を経由して輸出を迂回させることで関税を回避する「積み替え」について、各国と協力して取り締まると記した（注 2）。また「米国の技術的優位性と産業支配力の強化」では、商務省などと連携し、AI などの先端技術が同盟・パートナー国以外に輸出されないようにするとして、信頼できる市場へは可能な限り積極的に輸出し米国主導のエコシステムを構築する方針を示した（注 3）。

今回の戦略は、トランプ氏が 2025 年 12 月に発表した「国家安全保障戦略 (NSS)」と共通する内容が多い。例えば、親米諸国による経済ブロックを形成し新たな経済安全保障を確立する方針は、NSS で掲げた「米国と輸出管理を整合する国々を経済上有利に扱う、対象を絞ったパートナーシップ」と重なる。また通商専門誌インサイド US トレード (1 月 16 日) は、ベネズエラのニコラス・マドゥーロ大統領夫妻の拘束を引き合いに、西半球における経済・安全保障の優位性を掲げていることなどから、「政権がドンロー主義と呼ぶ方針を公式政策として明文化した」と指

摘している。

(注1) トランプ氏は1月7日、66の国際機関からの脱退または資金拠出の停止を指示する大統領覚書を発表している(2026年1月9日記事参照)。なお、対象となる国際機関を、さらに拡大する可能性を示唆している。

(注2) トランプ政権は、各種貿易協定において、「積み替え品(transshipment)」を規制する条項を設けている。ただし、既存のルールにおいても、第三国で単に製品を積み替えただけでは製品の原産国は変わらず関税の回避はできない。従来の「迂回貿易」との違いは、いまだ明確ではない。2026年1月14日付地域・分析レポートも参照。

(注3) 商務省は2025年10月から米国AI輸出プログラムを開始している(2025年10月23日記事参照)。

### ○11月の米小売売上高は前月比0.6%増で予想上回るも、消費格差は継続的に拡大

米国商務省の速報(1月14日付)によると、2025年11月の小売売上高(季節調整値)は前月比0.6%増の7,359億ドルとなり、ブルームバーグの市場予想(0.5%増)をやや上回った。なお、10月は同横ばい(速報値)から0.1%減に下方修正された。同統計は、政府閉鎖の影響で当初予定されていた12月17日から発表が遅延していた。

#### **自動車・同部品、ガソリンスタンドなどが押し上げ要因に**

業種別に見ると、13業種のうち10業種で増加するなど幅広い分野で拡大した。特に自動車・同部品は、前月比1.0%増(プラス0.19ポイント)の1,387億ドルで、最大の押し上げ要因だった。電気自動車(EV)向け連邦税制優遇措置の期限切れに伴う10月の販売落ち込みからの反動や価格上昇が寄与した。また、ガソリン価格が上昇したことで、ガソリンスタンドの売上高が伸びた。その他、スポーツ・娯楽品・書籍(1.9%増)や、衣料(0.9%増)、無店舗小売り(0.4%増)など裁量品分野への支出はいずれも増加し、年末商戦の大型セール期間中に消費者がお買い得商品を求める動きが顕著に表れた。小売り統計で唯一のサービス項目のフードサービスは前月の0.1%減から0.6%増に回復し、堅調な伸びを示した。一方、家具(0.1%減)や家電(0.0%)などの耐久財は伸びていないが、これが商品の需要減速を示すものなのか、それともサイバーマンデーが12月に後ろ倒しになっていることによる買い控えが影響しているのかはもう少し様子を見る必要があるだろう。

小売り全体としては堅調さを感じさせる数値となっているが、米国の消費支出は富裕層に偏っており、バンク・オブ・アメリカ・セキュリティーズは、独自の消費者動向調査に基づき、高所得層と低所得層間の消費支出の伸びの差が、2025年第4四半期を通じて大幅かつ継続的に拡大したと報告した。2024年後半から顕著となったこの二極化は、2025年を通じてさらに拡大した。特に生活必需品よりも嗜好品などの裁量的支出において、二極化を象徴する「K字型」の傾向がより顕著に表れていると指摘した。全米小売業協会(NRF)は、こうした富裕層による消費の下支えによって、2025年の年末商戦期間(11~12月)の小売売上高は前年同期比4.1%増と底堅く推移し、NRFが予想(3.7~4.2%増)したレンジの上限に近いカタチとなった。

他方で、消費者マインドは前月より悪化しており、民間調査会社コンファレンスボードが12月23日に発表した12月の消費者信頼感指数は89.1(11月:92.9)に減少し、5カ月連続の低下となった。内訳では、現在の雇用環境や経済状況を示す現況指数が116.8(11月:126.3)と大幅に減少した。また、6カ月先の景況見通しを示す期待指数は70.7と前月と同水準となり、11カ月連続で景気後退の指標とされる80を下回った。

同社チーフエコノミストのダナ・ピーターソン氏は、「消費者の自由回答において、依然として物価上昇、関税、貿易政策、政治に対する懸念が継続している」と指摘した。ただし、「12月に

は移民問題、戦争、そして金利、税金と所得、銀行、保険といった個人の家計関連の話題に関する言及が増加した」とも付け加えた。

### ○米主要港、11月の小売業者向け輸入コンテナ量は前月比2.3%減、2026年春まで貨物量の減少続く見通し

全米小売業協会（NRF）と物流コンサルタント会社のハケット・アソシエイツが1月9日に発表した「グローバル・ポート・トラッカー報告」によると、11月の米国小売業者向けの主要輸入港（注1）の輸入コンテナ量は、前月比2.3%減、前年同月比6.5%減の202万TEU（1TEUは20フィートコンテナ換算）となった（注2）。

今後の見通しでは、12月は前年同月比6.6%減の199万TEUと予想されている。11～12月は伝統的に需要が鈍化する時期だが、前年同月比での大幅な減少率は、2024年後半に米東海岸とメキシコ海岸の港湾ストの懸念から輸入が急増したことが背景にある。加えて、多くの小売業者が関税回避のため、2025年は例年よりも前倒しで貨物を輸入したことも影響している。

こうした特殊要因を除いても、2026年前半のコンテナ量は低調に推移する見通しだ。1月は貨物量の予想値が211万TEUと、小売業者が2月のアジアの旧正月を前に商品を仕入れるため、2025年7月以来初めて前月比増加が見込まれるものの、前年同月比では依然として5.3%減だ。その後も、2月は194万TEUと同4.6%減、3月は188万TEUの同12.4%減、4月は203万TEUで同8.1%減と見込んでいる。輸入量が回復するのは、新学期商戦用の貨物量がピークシーズンを迎える春先で、5月に207万TEUと前年同月比6.2%増と2025年8月以来初めて前年同月比増加となる見通しだ。

ハケット・アソシエイツ創設者のベン・ハケット氏は、2026年の貨物輸入も依然として貿易政策の影響を受ける可能性が高いと述べ、「2026年が始まるにあたり、世界は自国産業の保護や、貿易不均衡への対応にますます焦点を当てている」と述べた。

米国政府は一部の食品に対する関税を引き下げたものの、通商政策は依然として不確実性が残ったままだ。ハケット氏は、「関税の影響が2025年第4四半期から貨物需要の低下というかたちで現れはじめており、この傾向は2026年前半まで続くと見ている」「アジアと欧州の双方からの貨物スペースの必要性が減少しているため、コンテナ輸送運賃はすでに東西両海岸で下落している」と指摘し、依然として不安定な情勢が続く。

（注1）主要輸入港は、米国西海岸のロサンゼルス／ロングビーチ、オークランド、シアトル及びタコマ、東海岸のニューヨーク／ニュージャージー、バージニア、チャールストン、サバンナ、エバーグレーズ、マイアミ及びジャクソンビル、メキシコ湾岸のヒューストンの各港を指す。

（注2）発表されている貨物量のTEUと前年同月比の数値は端数処理の関係で一致しない場合がある。

●化学プラント情報

○米国の化学プラント建設コスト指数

| 米国の化学プラント建設コスト指数 |                   |                  |                  |
|------------------|-------------------|------------------|------------------|
| (1957-59 = 100)  | 2025年10月<br>(速報値) | 2025年09月<br>(実績) | 2024年10月<br>(実績) |
| <b>指数</b>        | 819.9             | 818.1            | 793.1            |
| 機器               | 1,030.4           | 1,028.0          | 993.0            |
| 熱交換器及びタンク        | 800.2             | 797.3            | 785.8            |
| 加工機械             | 1,048.4           | 1,043.6          | 1,019.9          |
| 管、バルブ及びフィッティング   | 1,399.2           | 1,406.5          | 1,336.5          |
| プロセス計器           | 602.4             | 604.5            | 577.8            |
| ポンプ及びコンプレッサー     | 1,663.9           | 1,663.9          | 1,565.9          |
| 電気機器             | 895.6             | 879.7            | 833.7            |
| 構造支持体及びその他のもの    | 1,127.3           | 1,122.3          | 1,091.5          |
| 建設労務             | 388.3             | 387.1            | 385.4            |
| 建物               | 831.7             | 832.1            | 797.7            |
| エンジニアリング及び管理     | 313.4             | 313.9            | 314.6            |

**年間指数**

2017 = 567.5

2018 = 603.1

2019 = 607.5

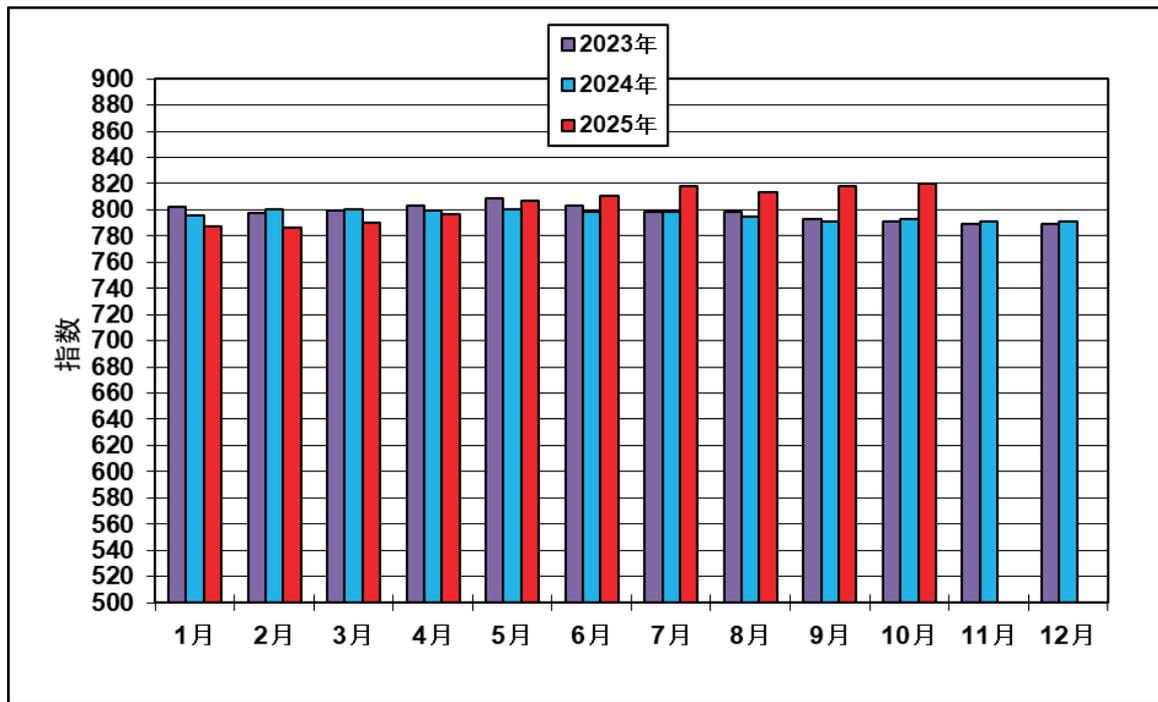
2020 = 596.2

2021 = 708.8

2022 = 816.0

2023 = 797.9

2024 = 796.2



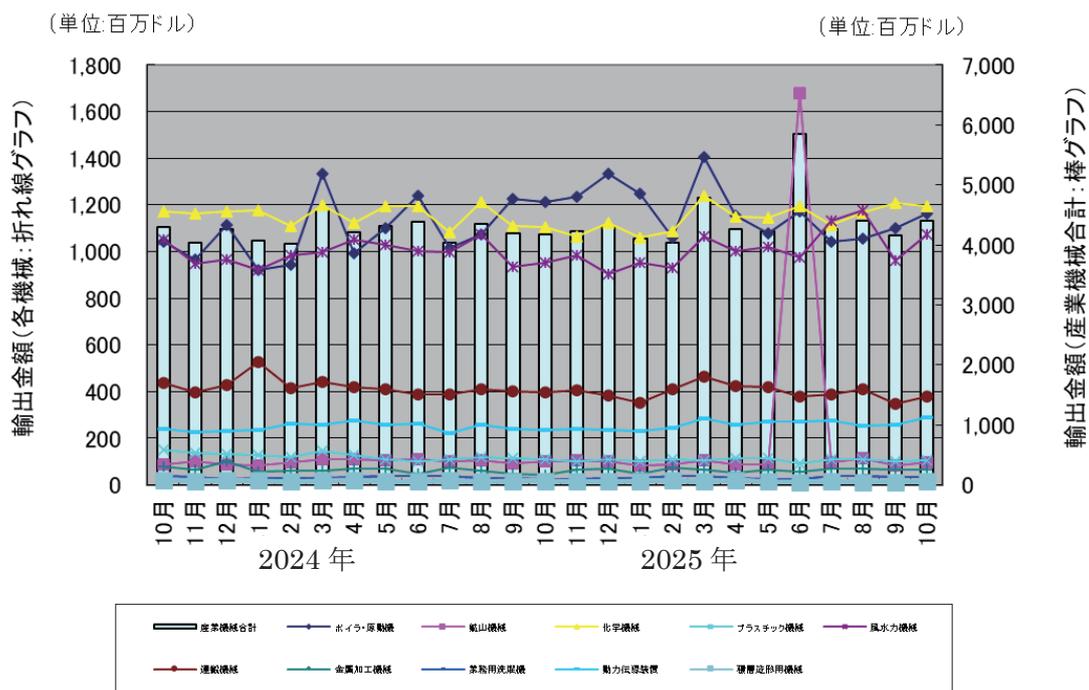
(出所:「ケミカル・エンジニアリング」2026年1月号より作成)

## ●米国産業機械の輸出入統計（2025年10月）

米国商務省センサス局の輸出入統計に基づく、2025年10月の米国における産業機械の輸出入の概要は、次のとおりである。

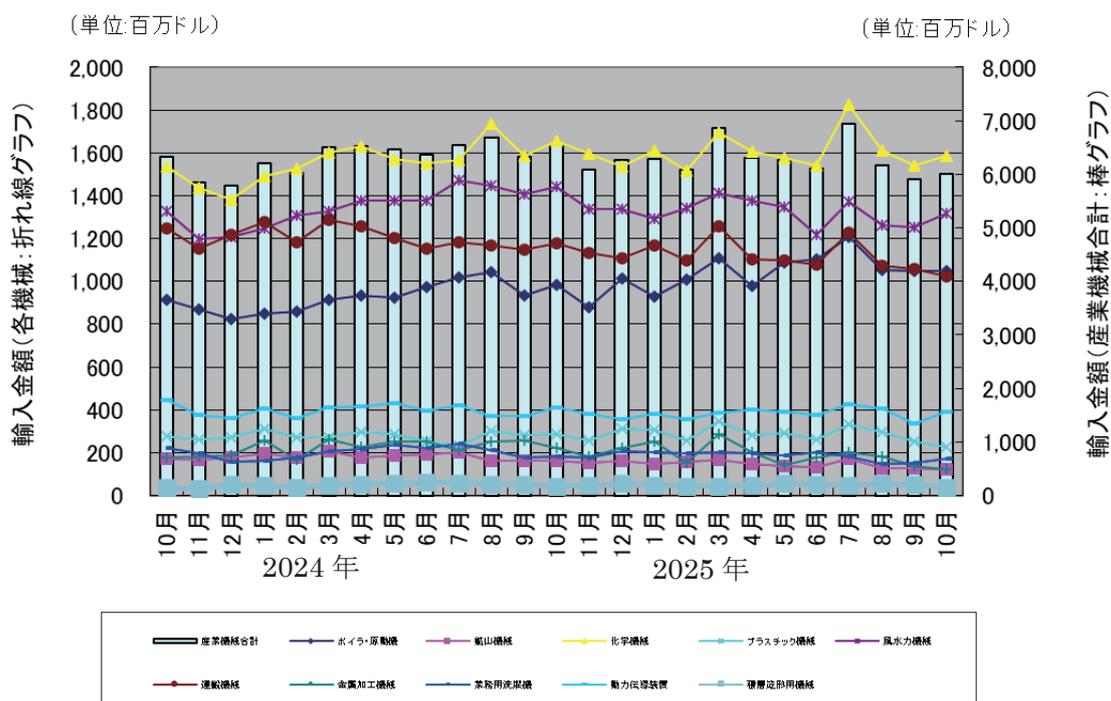
- (1) 産業機械の輸出は、44億417万ドル（対前年同月比0.8%増）となった。化学機械、風水力機械、金属加工機械、業務用洗濯機、動力伝導装置は対前年同月比がプラスとなったが、ボイラ・原動機、鉱山機械、プラスチック機械、運搬機械、積層造形用機械は対前年同月比がマイナスとなった。
- (2) 産業機械の輸入は、60億395万ドル（対前年同月比7.9%減）となった。ボイラ・原動機は対前年同月比がプラスとなったが、鉱山機械、化学機械、プラスチック機械、風水力機械、運搬機械、金属加工機械、業務用洗濯機、動力伝導装置、積層造形用機械は対前年同月比がマイナスとなった。
- (3) 産業機械の純輸入は、15億9,978万ドルとなり、118ヵ月連続で輸入が輸出を上回った。ボイラ・原動機以外の全ての機械で輸入超過となった。
- (4) 各機械の輸出入の概要は、次の通りである。
  - ① ボイラ・原動機は、輸出が11億6,380万ドル（対前年同月比5.4%減）となり、部品（ガスタービン用）や部品（その他）などの減少により、3ヵ月連続で前年同月比がマイナスとなった。輸入は10億4,716万ドル（対前年同月比6.7%増）となり、部品（ガスタービン用）や部品（その他）などの増加により、19ヵ月連続で対前年同月比がプラスとなった。
  - ② 鉱山機械は、輸出が9,637万ドル（対前年同月比12.9%減）となり、部品や破碎機などの減少により、2ヵ月連続で前年同月比がマイナスとなった。輸入は1億2,061万ドル（対前年同月比26.3%減）となり、部品や破碎機などの減少により、18ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。
  - ③ 化学機械は、輸出が11億9,646万ドル（対前年同月比3.1%増）となり、分離ろ過機（液体ろ過機）や紙パ製造機械（その他）などの増加により、2ヵ月連続で対前年同月比がプラスとなった。輸入は15億8,517万ドル（対前年同月比3.9%減）となり、分離ろ過機（気体ろ過機・その他）や分離ろ過機（気体ろ過機・内燃機関）などの減少により、3ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。
  - ④ プラスチック機械は、輸出が1億374万ドル（対前年同月比11.7%減）となり、押出成形機や部品などの減少により、5ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。輸入は2億2,436万ドル（対前年同月比21.4%減）となり、押出成形機や部品などの減少により、3ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。
  - ⑤ 風水力機械は、輸出が10億7,268万ドル（対前年同月比6.4%増）となり、圧縮機（その他）や部品（ポンプ用その他）などの増加により、4ヵ月連続で対前年同月比がプラスとなった。輸入は13億1,878万ドル（対前年同月比8.4%減）となり、ポンプ（ピストンエンジン用）や圧縮機（その他圧縮機>746KW）などの減少により、7ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。

- ⑥ 運搬機械は、輸出が3億8,048万ドル（対前年同月比10.1%減）となり、その他連続式エレベータ・コンベヤ（その他のもの）や巻上機（その他の機械装置）などの減少により、5ヶ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。輸入は10億2,140万ドル（対前年同月比13.5%減）となり、巻上機（その他の機械装置）やその他連続式エレベータ・コンベヤ（その他のもの）などの減少により、3ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。
- ⑦ 金属加工機械は、輸出が6,478万ドル（対前年同月比46.9%増）となり、熱間鍛造機（その他）やスリッター機等（その他）などの増加により、3ヵ月連続で対前年同月比がプラスとなった。輸入は1億2,425万ドル（対前年同月比44.3%減）となり、部品（圧延機用）や冷間金属加工（サーボプレス）などの減少により、7ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。
- ⑧ 業務用洗濯機は、輸出が3,500万ドル（対前年同月比16.5%増）となり、洗濯機（10kg超）や乾燥機（10kg超・品物用）などの増加により、3ヵ月連続で対前年同月比がプラスとなった。輸入は1億7,137万ドル（対前年同月比5.8%減）となり、乾燥機（10kg超・品物用）や洗濯機（10kg超）などの減少により、8ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。
- ⑨ 動力伝導装置は、輸出が2億9,086万ドル（対前年同月比17.9%増）となり、ギヤボックス等変速機（固定比）や歯車及び歯車伝導機などの増加により、2ヵ月連続で対前年同月比がプラスとなった。輸入は3億9,085万ドル（対前年同月比5.2%減）となり、部品（ギヤボックス等変速機用）や歯車及び歯車伝導機などの減少により、2ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。
- ⑩ 積層造形用機械は、輸出が1,417万ドル（対前年同月比23.0%減）となり、積層造形用機械（プラスチック）や部品（積層造形用機械）などの減少により、5ヵ月連続で対前年同月比がマイナスとなった。輸入は3,904万ドル（対前年同月比10.2%減）となり、積層造形用機械（メタル）や積層造形用機械（その他）などの減少により、3ヵ月振りに対前年同月比がマイナスとなった。



出典：米国商務省センサス局の輸出入統計より作成

図1 米国における産業機械の輸出金額の推移



出典：米国商務省センサス局の輸出入統計より作成

図2 米国における産業機械の輸入金額の推移

表1 米国における産業機械の輸出入統計(総括表)

(単位:百万ドル・億円:\$1=100円)

| 番号     | 産業機械名    | 区分        | 輸出        |           |           |       | 純輸出            |                       |                       |
|--------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|----------------|-----------------------|-----------------------|
|        |          |           | 2025年10月  |           | 2024年10月  |       | 対前年比<br>伸び率(%) | 2025年10月<br>金額(E)=A-C | 2024年10月<br>金額(F)=B-D |
|        |          |           | 金額(A)     | 構成比       | 金額(B)     | 構成比   |                |                       |                       |
| 1      | ボイラ・原動機  | 機械類       | 489.324   | 42.0      | 461.320   | 37.5  | 6.1            | 142.314               | 125.749               |
|        |          | 部品        | 674.477   | 58.0      | 769.446   | 62.5  | -12.3          | -25.676               | 123.706               |
|        |          | 小計        | 1,163.801 | 100.0     | 1,230.766 | 100.0 | -5.4           | 116.638               | 249.456               |
| 2      | 鉱山機械     | 機械類       | 43.465    | 45.1      | 43.291    | 39.1  | 0.4            | -24.911               | -34.595               |
|        |          | 部品        | 52.904    | 54.9      | 67.373    | 60.9  | -21.5          | 0.670                 | -18.467               |
|        |          | 小計        | 96.369    | 100.0     | 110.663   | 100.0 | -12.9          | -24.241               | -53.062               |
| 3      | 化学機械     | 機械類       | 937.198   | 78.3      | 893.262   | 77.0  | 4.9            | -393.798              | -444.551              |
|        |          | 部品        | 259.265   | 21.7      | 266.680   | 23.0  | -2.8           | 5.095                 | -44.611               |
|        |          | 小計        | 1,196.463 | 100.0     | 1,159.942 | 100.0 | 3.1            | -388.702              | -489.163              |
| 4      | プラスチック機械 | 機械類       | 44.262    | 42.7      | 52.042    | 44.3  | -14.9          | -84.680               | -122.162              |
|        |          | 部品        | 59.479    | 57.3      | 65.500    | 55.7  | -9.2           | -35.942               | -45.836               |
|        |          | 小計        | 103.741   | 100.0     | 117.542   | 100.0 | -11.7          | -120.622              | -167.998              |
| 5      | 風水力機械    | 機械類       | 794.139   | 74.0      | 740.968   | 73.5  | 7.2            | -166.251              | -348.163              |
|        |          | 部品        | 278.545   | 26.0      | 267.585   | 26.5  | 4.1            | -79.843               | -82.528               |
|        |          | 小計        | 1,072.684 | 100.0     | 1,008.553 | 100.0 | 6.4            | -246.094              | -430.691              |
| 6      | 運搬機械     | 機械類       | 239.234   | 62.9      | 275.649   | 65.2  | -13.2          | -483.604              | -594.482              |
|        |          | 部品        | 141.246   | 37.1      | 147.370   | 34.8  | -4.2           | -157.318              | -163.881              |
|        |          | 小計        | 380.479   | 100.0     | 423.019   | 100.0 | -10.1          | -640.922              | -758.363              |
| 7      | 金属加工機械   | 機械類       | 56.331    | 87.0      | 37.694    | 85.5  | 49.4           | -55.752               | -126.138              |
|        |          | 部品        | 8.445     | 13.0      | 6.403     | 14.5  | 31.9           | -3.723                | -53.029               |
|        |          | 小計        | 64.776    | 100.0     | 44.097    | 100.0 | 46.9           | -59.475               | -179.168              |
| 8      | 業務用洗濯機   | 機械類       | 32.043    | 91.6      | 27.295    | 90.9  | 17.4           | -116.683              | -130.961              |
|        |          | 部品        | 2.955     | 8.4       | 2.743     | 9.1   | 7.7            | -19.685               | -20.872               |
|        |          | 小計        | 34.998    | 100.0     | 30.038    | 100.0 | 16.5           | -136.369              | -151.833              |
| 9      | 動力伝導装置   | 機械類       | 211.287   | 72.6      | 171.740   | 69.6  | 23.0           | -76.834               | -109.253              |
|        |          | 部品        | 79.572    | 27.4      | 74.895    | 30.4  | 6.2            | -23.161               | -56.254               |
|        |          | 小計        | 290.859   | 100.0     | 246.635   | 100.0 | 17.9           | -99.995               | -165.507              |
| 10     | 積層造形用機械  | 機械類       | 8.285     | 58.5      | 11.745    | 63.8  | -29.5          | -17.087               | -17.466               |
|        |          | 部品        | 5.882     | 41.5      | 6.650     | 36.2  | -11.6          | -7.789                | -7.621                |
|        |          | 小計        | 14.167    | 100.0     | 18.395    | 100.0 | -23.0          | -24.875               | -25.087               |
| 産業機械合計 | 機械類      | 2,847.282 | 64.6      | 2,703.260 | 61.8      | 5.3   | -1,260.199     | -1,784.556            |                       |
|        | 部品       | 1,556.888 | 35.4      | 1,667.995 | 38.2      | -6.7  | -339.583       | -361.771              |                       |
|        | 合計       | 4,404.170 | 100.0     | 4,371.255 | 100.0     | 0.8   | -1,599.782     | -2,146.328            |                       |

| 番号     | 産業機械名    | 区分        | 輸入        |           |           |       | 純輸出            |                       |                     |
|--------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|----------------|-----------------------|---------------------|
|        |          |           | 2025年10月  |           | 2024年10月  |       | 対前年比<br>伸び率(%) | 増減率(%)<br>(G)=(E-F)/F | 対輸出割合(%)<br>(H)=E/A |
|        |          |           | 金額(C)     | 構成比       | 金額(D)     | 構成比   |                |                       |                     |
| 1      | ボイラ・原動機  | 機械類       | 347.010   | 33.1      | 335.570   | 34.2  | 3.4            | 29.08                 |                     |
|        |          | 部品        | 700.153   | 66.9      | 645.740   | 65.8  | 8.4            | -120.8                |                     |
|        |          | 小計        | 1,047.163 | 100.0     | 981.310   | 100.0 | 6.7            | -53.2                 |                     |
| 2      | 鉱山機械     | 機械類       | 68.376    | 56.7      | 77.886    | 47.6  | -12.2          | 28.0                  |                     |
|        |          | 部品        | 52.234    | 43.3      | 85.840    | 52.4  | -39.1          | 103.6                 |                     |
|        |          | 小計        | 120.610   | 100.0     | 163.725   | 100.0 | -26.3          | 54.3                  |                     |
| 3      | 化学機械     | 機械類       | 1,330.996 | 84.0      | 1,337.813 | 81.1  | -0.5           | 11.4                  |                     |
|        |          | 部品        | 254.169   | 16.0      | 311.292   | 18.9  | -18.4          | 111.4                 |                     |
|        |          | 小計        | 1,585.165 | 100.0     | 1,649.105 | 100.0 | -3.9           | 20.5                  |                     |
| 4      | プラスチック機械 | 機械類       | 128.942   | 57.5      | 174.204   | 61.0  | -26.0          | 30.7                  |                     |
|        |          | 部品        | 95.421    | 42.5      | 111.336   | 39.0  | -14.3          | 21.6                  |                     |
|        |          | 小計        | 224.363   | 100.0     | 285.540   | 100.0 | -21.4          | 28.2                  |                     |
| 5      | 風水力機械    | 機械類       | 960.389   | 72.8      | 1,089.131 | 75.7  | -11.8          | 52.2                  |                     |
|        |          | 部品        | 358.388   | 27.2      | 350.113   | 24.3  | 2.4            | 3.3                   |                     |
|        |          | 小計        | 1,318.778 | 100.0     | 1,439.244 | 100.0 | -8.4           | 42.9                  |                     |
| 6      | 運搬機械     | 機械類       | 722.838   | 70.8      | 870.131   | 73.7  | -16.9          | 18.7                  |                     |
|        |          | 部品        | 298.564   | 29.2      | 311.251   | 26.3  | -4.1           | 4.0                   |                     |
|        |          | 小計        | 1,021.401 | 100.0     | 1,181.382 | 100.0 | -13.5          | 15.5                  |                     |
| 7      | 金属加工機械   | 機械類       | 112.083   | 90.2      | 163.833   | 73.4  | -31.6          | 55.8                  |                     |
|        |          | 部品        | 12.168    | 9.8       | 59.432    | 26.6  | -79.5          | 93.0                  |                     |
|        |          | 小計        | 124.251   | 100.0     | 223.265   | 100.0 | -44.3          | 66.8                  |                     |
| 8      | 業務用洗濯機   | 機械類       | 148.726   | 86.8      | 158.255   | 87.0  | -6.0           | 10.9                  |                     |
|        |          | 部品        | 22.640    | 13.2      | 23.615    | 13.0  | -4.1           | 5.7                   |                     |
|        |          | 小計        | 171.367   | 100.0     | 181.870   | 100.0 | -5.8           | 10.2                  |                     |
| 9      | 動力伝導装置   | 機械類       | 288.121   | 73.7      | 280.993   | 68.2  | 2.5            | 29.7                  |                     |
|        |          | 部品        | 102.733   | 26.3      | 131.148   | 31.8  | -21.7          | 58.8                  |                     |
|        |          | 小計        | 390.854   | 100.0     | 412.141   | 100.0 | -5.2           | 39.6                  |                     |
| 10     | 積層造形用機械  | 機械類       | 25.372    | 65.0      | 29.211    | 67.2  | -13.1          | 2.2                   |                     |
|        |          | 部品        | 13.670    | 35.0      | 14.271    | 32.8  | -4.2           | -2.2                  |                     |
|        |          | 小計        | 39.042    | 100.0     | 43.482    | 100.0 | -10.2          | 0.8                   |                     |
| 産業機械合計 | 機械類      | 4,107.481 | 68.4      | 4,487.817 | 68.9      | -8.5  | 29.4           |                       |                     |
|        | 部品       | 1,896.471 | 31.6      | 2,029.766 | 31.1      | -6.6  | 6.1            |                       |                     |
|        | 合計       | 6,003.952 | 100.0     | 6,517.583 | 100.0     | -7.9  | 25.5           |                       |                     |

出典: 米国商務省センサス局の輸出入統計

表2 米国における産業機械の輸出統計(詳細)

(1) ボイラ・原動機 (輸出)

(単位:百万ドル・億円: \$1=100円)

| HSコード            | 品名            | 2025年10月 |         | 2024年10月  |         | Ch.(%)    |        |
|------------------|---------------|----------|---------|-----------|---------|-----------|--------|
|                  |               | 数量       | 金額      | 数量        | 金額      |           |        |
| 8402 - 11        | 水管ボイラ(>45t/h) | *        | 5       | 0.083     | 344     | 3.446     | -97.6  |
| 12               | 水管ボイラ(<45t/h) | *        | 36      | 0.258     | 34      | 0.233     | 10.9   |
| 19               | その他蒸気発生ボイラ    | *        | 379     | 2.515     | 297     | 1.794     | 40.2   |
| 20               | 過熱水ボイラ        | *        | 30      | 0.430     | 38      | 0.585     | -26.5  |
| 90 - 0010        | 部分品(熱交換器)     | *        | 31      | 0.742     | 50      | 0.698     | 6.3    |
| 8404 - 10 - 0010 | 補助機器(エコノマイザ)  | *        | 9       | 0.148     | 56      | 1.013     | -85.4  |
| 0050             | 補助機器(その他)     | *        | 29      | 0.519     | 45      | 0.717     | -27.6  |
| 20               | 蒸気原動機用復水器     | *        | 52      | 0.352     | 52      | 0.219     | 60.5   |
| 8406 - 10        | 蒸気タービン(船用)    |          | 3       | 0.013     | 0       | 0.000     | -      |
| 81               | 蒸気タービン(>40MW) |          | 0       | 0.000     | 1       | 0.087     | -100.0 |
| 82               | 蒸気タービン(≤40MW) |          | 275     | 8.691     | 34      | 0.822     | 957.7  |
| 8410 - 11        | 液体タービン(≤1MW)  |          | 100     | 0.139     | 159     | 0.158     | -12.0  |
| 12               | 液体タービン(≤10MW) |          | 1       | 0.022     | 5       | 0.093     | -76.7  |
| 13               | 液体タービン(>10MW) |          | 3,215   | 8.712     | 0       | 0.000     | -      |
| 8411 - 81        | ガスタービン(≤5MW)  |          | 63      | 28.390    | 53      | 26.188    | 8.4    |
| 82               | ガスタービン(>5MW)  |          | 79      | 173.151   | 81      | 169.139   | 2.4    |
| 8412 - 21        | 液体原動機(シリンダ)   |          | 81,609  | 129.361   | 86,415  | 128.509   | 0.7    |
| 29               | 液体原動機(その他)    |          | 43,379  | 57.330    | 47,382  | 53.239    | 7.7    |
| 31               | 気体原動機(シリンダ)   |          | 151,254 | 20.870    | 178,330 | 21.482    | -2.9   |
| 39               | 気体原動機(その他)    |          | 24,069  | 41.554    | 26,286  | 29.063    | 43.0   |
| 80               | その他原動機        |          | 155,895 | 16.044    | 347,619 | 23.836    | -32.7  |
| 機械類合計            |               |          | -       | 489.324   | -       | 461.320   | 6.1    |
| 8402 - 90 - 0090 | 部品(ボイラ用)      |          | X       | 5.218     | X       | 9.010     | -42.1  |
| 8404 - 90        | 部品(補助機器用)     |          | X       | 2.628     | X       | 9.900     | -73.5  |
| 8406 - 90        | 部品(蒸気タービン用)   |          | X       | 24.559    | X       | 33.931    | -27.6  |
| 8410 - 90        | 部品(液体タービン用)   |          | X       | 5.877     | X       | 0.766     | 667.1  |
| 8411 - 99        | 部品(ガスタービン用)   |          | X       | 546.247   | X       | 593.967   | -8.0   |
| 8412 - 90        | 部品(その他)       |          | X       | 89.948    | X       | 121.873   | -26.2  |
| 部品合計             |               |          | -       | 674.477   | -       | 769.446   | -12.3  |
| 総合計              |               |          | -       | 1,163.801 | -       | 1,230.766 | -5.4   |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)  
・「\*」の数量単位は「t」である。

・「X」は、数量不明である。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

(2) 鉱山機械 (輸出)

(単位:百万ドル・億円: \$1=100円)

| HSコード            | 品名         | 2025年10月 |       | 2024年10月 |        | Ch.(%)  |       |
|------------------|------------|----------|-------|----------|--------|---------|-------|
|                  |            | 数量       | 金額    | 数量       | 金額     |         |       |
| 8430 - 49        | せん孔機       |          | 950   | 10.361   | 5,963  | 10.099  | 2.6   |
| 8467 - 19 - 5060 | さく岩機(手持工具) |          | 3,382 | 0.637    | 13,230 | 2.947   | -78.4 |
| 8474 - 10        | 選別機        |          | 418   | 22.872   | 556    | 16.123  | 41.9  |
| 20               | 破碎機        |          | 248   | 9.209    | 291    | 11.769  | -21.8 |
| 39               | 混合機        |          | 28    | 0.387    | 214    | 2.353   | -83.6 |
| 機械類合計            |            |          | -     | 43.465   | -      | 43.291  | 0.4   |
| 8474 - 90        | 部品         |          | X     | 52.904   | X      | 67.373  | -21.5 |
| 部品合計             |            |          | -     | 52.904   | -      | 67.373  | -21.5 |
| 総合計              |            |          | -     | 96.369   | -      | 110.663 | -12.9 |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

(3) 化学機械（輸出）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HSコード            | 品名            | 2025年10月  |           | 2024年10月  |           | Ch.(%) |
|------------------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
|                  |               | 数量        | 金額        | 数量        | 金額        |        |
| 7309 - 00        | タンク           | 303,645   | 26,253    | 77,989    | 36,814    | -28.7  |
| 8419 - 19        | 温度処理機械(湯沸器)   | 29,520    | 13,199    | 37,286    | 19,692    | -33.0  |
| 20               | "(滅菌器)        | 1,339     | 6,181     | 1,937     | 10,661    | -42.0  |
| 35               | "(乾燥機・紙バ用)    | 2         | 0,035     | 7         | 0,162     | -78.3  |
| 39               | "(乾燥機・その他)    | 5,210     | 7,561     | 5,272     | 8,181     | -7.6   |
| 40               | "(蒸留機)        | 180       | 2,080     | 2,075     | 16,743    | -87.6  |
| 50               | "(熱交換装置)      | 212,963   | 145,299   | 255,541   | 139,385   | 4.2    |
| 60               | "(気体液化装置)     | 877       | 8,209     | 1,972     | 5,958     | 37.8   |
| 89               | "(その他)        | 16,764    | 72,942    | 17,603    | 71,210    | 2.4    |
| 8405 - 10        | 発生炉ガス発生機      | 114,055   | 2,473     | 21,999    | 5,959     | -58.5  |
| 8479 - 82        | 混合機           | 15,148    | 36,363    | 18,617    | 32,345    | 12.4   |
| 8401 - 20        | 分離ろ過機(同位体用) * | 45        | 0,184     | 9         | 0,057     | 220.8  |
| 8421 - 19        | "(遠心分離機)      | 1,944     | 15,155    | 1,398     | 11,697    | 29.6   |
| 29               | "(液体ろ過機)      | 9,052,013 | 284,479   | 6,987,010 | 225,294   | 26.3   |
| 32 注1            | "(気体ろ過機・内燃機関) | 258,509   | 96,012    | 276,289   | 95,071    | 1.0    |
| 39               | "(気体ろ過機・その他)  | 3,148,397 | 196,363   | 3,096,059 | 202,051   | -2.8   |
| 8439 - 10        | 紙バ製造機械(パルプ用)  | 59        | 0,650     | 31        | 0,482     | 34.8   |
| 20               | "(製紙用)        | 111       | 0,707     | 46        | 0,767     | -7.8   |
| 30               | "(仕上用)        | 8         | 0,155     | 4         | 0,275     | -43.5  |
| 8441 - 10        | "(切断機)        | 568       | 10,266    | 287       | 5,817     | 76.5   |
| 40               | "(成形用)        | 2         | 0,155     | 0         | 0,000     | -      |
| 80               | "(その他)        | 286       | 12,477    | 148       | 4,640     | 168.9  |
| 機械類合計            |               | -         | 937,198   | -         | 893,262   | 4.9    |
| 8405 - 90        | 部品(ガス発生機械用)   | X         | 0,721     | X         | 3,380     | -78.7  |
| 8419 - 90 - 2000 | 部品(紙バ用)       | X         | 2,625     | X         | 1,276     | 105.7  |
| 8421 - 91        | 部品(遠心分離機用)    | X         | 10,564    | X         | 10,183    | 3.7    |
| 99               | 部品(ろ過機用)      | X         | 204,487   | X         | 210,928   | -3.1   |
| 8439 - 91        | 部品(パルプ製造機用)   | X         | 9,448     | X         | 9,710     | -2.7   |
| 99               | 部品(製紙・仕上用)    | X         | 9,681     | X         | 9,889     | -2.1   |
| 8441 - 90        | 部品(その他紙バ製造機用) | X         | 21,739    | X         | 21,315    | 2.0    |
| 部品合計             |               | -         | 259,265   | -         | 266,680   | -2.8   |
| 総合計              |               | -         | 1,196,463 | -         | 1,159,942 | 3.1    |

注1: HS2022改正に伴う新規品目

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)  
 ・「X」は、数量不明である。  
 ・「\*」の数量単位は「t」である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

(4) プラスチック機械（輸出）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HSコード     | 品名          | 2025年10月 |         | 2024年10月 |         | Ch.(%) |
|-----------|-------------|----------|---------|----------|---------|--------|
|           |             | 数量       | 金額      | 数量       | 金額      |        |
| 8477 - 10 | 射出成形機       | 91       | 9,768   | 110      | 11,959  | -18.3  |
| 20        | 押出成形機       | 79       | 8,075   | 169      | 15,483  | -47.8  |
| 30        | 吹込み成形機      | 137      | 4,860   | 62       | 2,490   | 95.2   |
| 40        | 真空成形機       | 330      | 3,962   | 104      | 2,012   | 96.9   |
| 51        | その他の機械(成形用) | 192      | 0,875   | 46       | 0,302   | 189.7  |
| 59        | その他のもの(成形用) | 134      | 5,306   | 170      | 8,378   | -36.7  |
| 80        | その他の機械      | 782      | 11,415  | 723      | 11,419  | 0.0    |
| 機械類合計     |             | 1,745    | 44,262  | 1,384    | 52,042  | -14.9  |
| 8477 - 90 | 部品          | X        | 59,479  | X        | 65,500  | -9.2   |
| 部品合計      |             | -        | 59,479  | -        | 65,500  | -9.2   |
| 総合計       |             | -        | 103,741 | -        | 117,542 | -11.7  |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

## (5) 風水力機械 (輸出)

(単位:百万ドル・億円: \$1=100円)

| HSコード            | 品名                               | 2025年10月  |           | 2024年10月  |           | Ch.(%) |
|------------------|----------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
|                  |                                  | 数量        | 金額        | 数量        | 金額        |        |
| 8413 - 19        | ポンプ(その他計器付設型)                    | 37,634    | 25,498    | 37,710    | 25,770    | -1.1   |
| 30               | " (ピストンエンジン用)                    | 1,096,910 | 115,556   | 1,281,004 | 115,005   | 0.5    |
| 50 - 0010        | " (油井用往復容積式)                     | 1,198     | 10,966    | 1,501     | 8,118     | 35.1   |
| 0050             | " (ダイヤフラム式)                      | 46,176    | 25,109    | 46,093    | 23,695    | 6.0    |
| 0090             | " (その他往復容積式)                     | 10,768    | 31,686    | 12,075    | 35,649    | -11.1  |
| 60 - 0050        | " (油井用回転容積式)                     | 45        | 0,425     | 78        | 0,930     | -54.3  |
| 0070             | " (ローラポンプ)                       | 2,849     | 2,487     | 2,034     | 1,478     | 68.3   |
| 0090             | " (その他回転容積式)                     | 15,316    | 50,156    | 21,173    | 64,801    | -22.6  |
| 70               | " (紙パ用等遠心式)                      | 169,918   | 122,332   | 179,351   | 109,161   | 12.1   |
| 81               | " (タービンポンプその他)                   | 78,919    | 47,567    | 79,143    | 48,154    | -1.2   |
| 82               | 液体エレベータ                          | 366       | 0,230     | 683       | 0,311     | -26.1  |
| 8414 - 80 - 1618 | 圧縮機(定置往復式≤11.19KW)               | 8,386     | 5,264     | 6,700     | 4,116     | 27.9   |
| 1642             | " ( " 11.19KW < ≤74.6KW)         | 65        | 1,863     | 142       | 0,830     | 124.4  |
| 1655             | " ( " >74.6KW)                   | 493       | 2,776     | 379       | 2,780     | -0.1   |
| 1660             | " (定置回転式≤11.19KW)                | 190       | 0,678     | 351       | 0,530     | 27.8   |
| 1667             | " ( " 11.19KW < ≤74.6KW)         | 113       | 1,925     | 162       | 2,977     | -35.3  |
| 1675             | " ( " >74.6KW)                   | 488       | 8,928     | 401       | 7,595     | 17.6   |
| 1680             | " (定置式その他)                       | 5,472     | 19,162    | 10,921    | 7,860     | 143.8  |
| 1685             | " (携帯式<0.57m <sup>3</sup> /min.) | 169       | 0,994     | 240       | 1,526     | -34.9  |
| 1690             | " (携帯式その他)                       | 46,732    | 5,127     | 42,099    | 5,050     | 1.5    |
| 2015             | " (遠心式及び軸流式)                     | 3,937     | 40,070    | 549       | 32,951    | 21.6   |
| 2055             | " (その他圧縮機≤186.5KW)               | 1,640     | 7,804     | 1,453     | 8,663     | -9.9   |
| 2065             | " ( " 186.5KW < ≤746KW)          | 24        | 1,133     | 42        | 2,364     | -52.1  |
| 2075             | " ( " >746KW)                    | 21        | 5,650     | 11        | 6,541     | -13.6  |
| 9000             | " (その他)                          | 100,584   | 89,991    | 125,352   | 45,985    | 95.7   |
| 59 - 9080        | 送風機(その他)                         | 2,073,138 | 129,254   | 1,941,104 | 135,321   | -4.5   |
| 10               | 真空ポンプ                            | 122,193   | 41,511    | 144,719   | 42,808    | -3.0   |
| 機械類合計            |                                  | 3,823,744 | 794,139   | 3,935,470 | 740,968   | 7.2    |
| 8413 - 91 - 1000 | 部品(圧縮点火機関用ポンプ)                   | X         | 18,219    | X         | 19,727    | -7.6   |
| 9010             | " (その他エンジン用ポンプ)                  | X         | 10,560    | X         | 10,179    | 3.7    |
| 9520             | " (ポンプ用その他)                      | X         | 139,204   | X         | 123,553   | 12.7   |
| 92               | " (液体エレベータ)                      | X         | 0,972     | X         | 2,296     | -57.6  |
| 8414 - 90 - 1080 | " (その他送風機)                       | X         | 23,992    | X         | 28,368    | -15.4  |
| 2095             | " (その他圧縮機その他)                    | X         | 49,993    | X         | 45,370    | 10.2   |
| 9100             | " (真空ポンプ)                        | X         | 35,606    | X         | 38,092    | -6.5   |
| 部品合計             |                                  | -         | 278,545   | -         | 267,585   | 4.1    |
| 総合計              |                                  | -         | 1,072,684 | -         | 1,008,553 | 6.4    |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典: 米国商務省センサス局の輸出入統計

(6) 運搬機械（輸出）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HSコード            | 品名                          | 2025年10月 |         | 2024年10月 |         | Ch.(%) |
|------------------|-----------------------------|----------|---------|----------|---------|--------|
|                  |                             | 数量       | 金額      | 数量       | 金額      |        |
| 8426 - 11        | クレーン<br>（固定支持式天井クレーン）       | 54       | 2,450   | 79       | 5,448   | -55.0  |
| 12               | 〃（移動リフト・ストラドル）              | 21       | 0,456   | 692      | 7,113   | -93.6  |
| 19               | 〃（非固定天井・ガントリ等）              | 194      | 3,362   | 145      | 3,116   | 7.9    |
| 20               | 〃（タワークレーン）                  | 7        | 1,241   | 15       | 0,378   | 227.8  |
| 30               | 〃（門形ジブクレーン）                 | 725      | 4,000   | 227      | 1,366   | 192.8  |
| 91               | 〃（道路走行車両装備用）                | 491      | 8,656   | 662      | 10,595  | -18.3  |
| 99               | 〃（その他のもの）                   | 212      | 1,899   | 98       | 0,871   | 118.1  |
| 8425 - 39        | 巻上機<br>（ウィン・キャブ：その他）        | 6,042    | 6,619   | 3,945    | 8,068   | -18.0  |
| 11               | 〃（プーリタ・ホイス：電動）              | 4,908    | 14,809  | 4,552    | 17,073  | -13.3  |
| 19               | 〃（〃：その他）                    | 9,804    | 5,914   | 16,696   | 6,285   | -5.9   |
| 31               | 〃（ウィンチ・キャブ：電動）              | 5,387    | 6,363   | 8,060    | 6,841   | -7.0   |
| 8428 - 60        | 〃（ケーブルカー等けん引装置）             | 14       | 0,080   | 10       | 0,090   | -11.1  |
| 70               | 〃（産業用ロボット）                  | 477      | 12,260  | 637      | 16,485  | -25.6  |
| 90 - 0310        | 〃（森林での丸太取扱装置）               | 502      | 6,623   | 228      | 3,140   | 110.9  |
| 0390             | 〃（その他の機械装置）                 | 105,340  | 66,293  | 87,712   | 74,519  | -11.0  |
| 8425 - 41        | ジャッキ・ホイスト<br>（据付け式）         | 174      | 0,880   | 174      | 0,883   | -0.3   |
| 42               | 〃（液圧式その他）                   | 8,477    | 5,661   | 10,408   | 6,993   | -19.1  |
| 49               | 〃（その他のもの）                   | 109,140  | 7,597   | 131,501  | 7,494   | 1.4    |
| 8428 - 20 - 0010 | エスカレータ・エレベータ<br>（空圧式コンベヤ）   | 140      | 2,136   | 104      | 0,948   | 125.2  |
| 0050             | 〃（空圧式エレベータ）                 | 988      | 8,913   | 620      | 4,983   | 78.9   |
| 10               | 〃（非連続エレ・スキップホ）              | 1,614    | 24,522  | 1,934    | 30,816  | -20.4  |
| 40               | 〃（エスカレータ・移動歩道）              | 18       | 0,278   | 16       | 0,312   | -10.9  |
| 31               | その他連続式エレベータ・コンベヤ<br>（地下使用形） | 51       | 1,070   | 5        | 0,157   | 581.4  |
| 32               | 〃（その他バケット型）                 | 63       | 1,346   | 24       | 0,902   | 49.2   |
| 33               | 〃（その他ベルト型）                  | 1,237    | 14,157  | 1,444    | 18,508  | -23.5  |
| 39               | 〃（その他のもの）                   | 18,396   | 31,651  | 21,169   | 42,265  | -25.1  |
| 機械類合計            |                             | 274,476  | 239,234 | 291,157  | 275,649 | -13.2  |
| 8431 - 10 - 0010 | 部品<br>（プーリタック・ホイス用）         | X        | 3,842   | X        | 3,444   | 11.6   |
| 0090             | 〃（その他巻上機等用）                 | X        | 10,862  | X        | 12,050  | -9.9   |
| 31 - 0020        | 〃（スキップホイスト用）                | X        | 0,190   | X        | 0,643   | -70.4  |
| 0040             | 〃（エスカレータ用）                  | X        | 8,531   | X        | 7,235   | 17.9   |
| 0060             | 〃（非連続作動エレベータ用）              | X        | 3,386   | X        | 6,412   | -47.2  |
| 39 - 0010        | 〃（空圧式エレベータ・コンベヤ用）           | X        | 46,169  | X        | 43,864  | 5.3    |
| 0050             | 〃（石油・ガス田機械装置用）              | X        | 8,551   | X        | 11,206  | -23.7  |
| 0090             | 〃（その他の運搬機械用）                | X        | 39,088  | X        | 43,433  | -10.0  |
| 49 - 1010        | 〃（天井・ガント・門形等用）              | X        | 8,521   | X        | 7,552   | 12.8   |
| 1060             | 〃（移動リ・ストラドル等用）              | X        | 1,611   | X        | 3,271   | -50.7  |
| 1090             | 〃（その他クレーン用）                 | X        | 10,495  | X        | 8,261   | 27.0   |
| 部品合計             |                             | -        | 141,246 | -        | 147,370 | -4.2   |
| 総合計              |                             | -        | 380,479 | -        | 423,019 | -10.1  |

(注) 「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

## (7) 金属加工機械（輸出）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HSコード        | 品名                  | 2025年10月 |        | 2024年10月 |        | Ch.(%) |
|--------------|---------------------|----------|--------|----------|--------|--------|
|              |                     | 数量       | 金額     | 数量       | 金額     |        |
| 8455 - 10    | 圧延機(管圧延機)           | 5        | 0.036  | 0        | 0.000  | -      |
| 21           | “(熱間及び熱・冷組合せ)       | 1        | 0.015  | 43       | 0.756  | -98.0  |
| 22           | “(冷間圧延用)            | 141      | 2.055  | 84       | 1.489  | 38.0   |
| 8462 - 11 注1 | 熱間鍛造機(密閉型)          | 63       | 1.626  | 18       | 0.667  | 143.7  |
| 19 注1        | “(その他)              | 33       | 3.407  | 8        | 0.494  | 590.0  |
| 22 注1        | “(形状成型機)            | 17       | 0.441  | 24       | 0.440  | 0.2    |
| 23 注1        | “(数値制御式プレスブレーキ)     | 50       | 2.189  | 61       | 2.361  | -7.3   |
| 24 注1        | “(数値制御式パネルベンダー)     | 1        | 0.012  | 0        | 0.000  | -      |
| 25 注1        | “(数値制御式ロール成形機)      | 7        | 0.632  | 965      | 0.647  | -2.4   |
| 26 注1        | “(その他の数値制御式)        | 135      | 0.553  | 956      | 3.107  | -82.2  |
| 29           | “(その他)              | 2,961    | 20.090 | 1,661    | 8.835  | 127.4  |
| 32 注1        | スリッター機等(スリッター機・切断機) | 15       | 0.449  | 18       | 1.150  | -60.9  |
| 33 注1        | “(数値制御式剪断機)         | 5        | 0.157  | 2        | 0.086  | 81.8   |
| 39           | “(その他)              | 385      | 1.304  | 111      | 1.389  | -6.1   |
| 42 注1        | “(数値制御式)            | 213      | 4.684  | 49       | 2.355  | 98.9   |
| 49           | “(その他)              | 1,880    | 7.697  | 426      | 3.043  | 152.9  |
| 51 注1        | 炉心管(数値制御式)          | 14       | 1.507  | 4        | 0.922  | 63.5   |
| 59 注1        | “(その他)              | 95       | 1.454  | 184      | 2.509  | -42.0  |
| 61 注1        | 冷間金属加工(液圧プレス)       | 140      | 3.960  | 45       | 1.150  | 244.5  |
| 62 注1        | “(機械プレス)            | 97       | 1.960  | 143      | 2.801  | -30.0  |
| 63 注1        | “(サーボプレス)           | 35       | 0.211  | 152      | 1.981  | -89.3  |
| 69 注1        | “(その他)              | 24       | 0.337  | 5        | 0.153  | 120.8  |
| 90 注1        | その他                 | 295      | 1.554  | 260      | 1.361  | 14.2   |
| 機械類合計        |                     | 6,612    | 56.331 | 5,219    | 37.694 | 49.4   |
| 8455 - 90    | 部品(圧延機用) *          | X        | 8.445  | X        | 6.403  | 31.9   |
| 部品合計         |                     | -        | 8.445  | -        | 6.403  | 31.9   |
| 総合計          |                     | -        | 64.776 | -        | 44.097 | 46.9   |

注1: HS2022改正に伴う新規品目

(注)・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「\*」の数量単位は「kg」である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

## (8) 業務用洗濯機（輸出）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HSコード     | 品名              | 2025年10月 |        | 2024年10月 |        | Ch.(%) |
|-----------|-----------------|----------|--------|----------|--------|--------|
|           |                 | 数量       | 金額     | 数量       | 金額     |        |
| 8450 - 12 | 洗濯機(10kg以下遠心脱水) | 52       | 0.031  | 165      | 0.251  | -87.6  |
| 19        | “(その他)          | 352      | 0.167  | 779      | 0.343  | -51.3  |
| 20        | “(10kg超)        | 55,900   | 24.411 | 44,555   | 21.512 | 13.5   |
| 8451 - 10 | ドライクリーニング機      | 14       | 0.110  | 56       | 0.575  | -80.9  |
| 29 - 0010 | 乾燥機(10kg超・品物用)  | 20,802   | 7.324  | 10,344   | 4.614  | 58.7   |
| 機械類合計     |                 | 77,120   | 32.043 | 55,899   | 27.295 | 17.4   |
| 8450 - 90 | 部品(洗濯機用)        | X        | 2.955  | X        | 2.743  | 7.7    |
| 部品合計      |                 | -        | 2.955  | -        | 2.743  | 7.7    |
| 総合計       |                 | -        | 34.998 | -        | 30.038 | 16.5   |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

(9) 動力伝導装置 (輸出)

(単位:百万ドル・億円: \$1=100円)

| HSコード            | 品名              | 2025年10月   |         | 2024年10月   |         | Ch.(%) |
|------------------|-----------------|------------|---------|------------|---------|--------|
|                  |                 | 数量         | 金額      | 数量         | 金額      |        |
| 8483 - 40 - 1000 | トルクコンバータ        | 15,290     | 11,696  | 16,602     | 14,776  | -20.8  |
| 4010             | ギヤボックス等変速機(固定比) | 12,579     | 48,051  | 10,212     | 32,359  | 48.5   |
| 4050             | “(手動可変式)”       | 113,995    | 78,087  | 172,434    | 75,181  | 3.9    |
| 7000             | “(その他)”         | 6,030      | 17,194  | 3,796      | 6,332   | 171.5  |
| 9000             | 歯車及び歯車伝導機       | 11,135,716 | 56,258  | 10,039,687 | 43,091  | 30.6   |
| 機械類合計            |                 | -          | 211,287 | -          | 171,740 | 23.0   |
| 8483 - 90 - 5000 | 部品(ギヤボックス等変速機用) | X          | 79,572  | X          | 74,895  | 6.2    |
| 部品合計             |                 | -          | 79,572  | -          | 74,895  | 6.2    |
| 総合計              |                 | -          | 290,859 | -          | 246,635 | 17.9   |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

(10) 積層造形用機械 (輸出)

(単位:百万ドル・億円: \$1=100円)

| HSコード        | 品名           | 2025年10月 |        | 2024年10月 |        | Ch.(%) |
|--------------|--------------|----------|--------|----------|--------|--------|
|              |              | 数量       | 金額     | 数量       | 金額     |        |
| 8485 - 10 注1 | 積層造形用機械(メタル) | 128      | 1,536  | 19       | 1,188  | 29.3   |
| 20 注1        | “(プラスチック)”   | 257      | 4,817  | 550      | 9,283  | -48.1  |
| 30 注1        | “(プラスター)”    | 15       | 0,032  | 12       | 0,040  | -21.1  |
| 80 注1        | “(その他)”      | 101      | 1,900  | 109      | 1,234  | 54.0   |
| 機械類合計        |              | -        | 8,285  | -        | 11,745 | -29.5  |
| 8485 - 90 注1 | 部品(積層造形用機械)  | X        | 5,882  | X        | 6,650  | -11.6  |
| 部品合計         |              | -        | 5,882  | -        | 6,650  | -11.6  |
| 総合計          |              | -        | 14,167 | -        | 18,395 | -23.0  |

注1:HS2022改正に伴う新規品目

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

表3 米国における産業機械の輸入統計(詳細)

(1) ボイラ・原動機 (輸入)

(単位:百万ドル・億円: \$1=100円)

| HSコード            | 品名            | 2025年10月 |           | 2024年10月  |         | Ch.(%)  |         |
|------------------|---------------|----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
|                  |               | 数量       | 金額        | 数量        | 金額      |         |         |
| 8402 - 11        | 水管ボイラ(>45t/h) | *        | 2         | 0.022     | 3       | 0.037   | -39.9   |
| 12               | 水管ボイラ(<45t/h) | *        | 44        | 2.482     | 70      | 1.345   | 84.5    |
| 19               | その他蒸気発生ボイラ    | *        | 153       | 1.262     | 141     | 2.213   | -43.0   |
| 20               | 過熱水ボイラ        | *        | 29        | 0.047     | 9       | 0.067   | -30.0   |
| 90 - 0010        | 部分品(熱交換器)     | *        | 136       | 3.549     | 40      | 0.288   | 1,133.3 |
| 8404 - 10 - 0010 | 補助機器(エコノマイザ)  | *        | 8         | 0.056     | 134     | 0.807   | -93.1   |
| 0050             | 補助機器(その他)     | *        | 577       | 4.846     | 375     | 3.553   | 36.4    |
| 20               | 蒸気原動機用復水器     | *        | 76        | 0.212     | 170     | 1.103   | -80.8   |
| 8406 - 10        | 蒸気タービン(船用)    |          | 30        | 0.005     | 0       | 0.000   | -       |
| 81               | 蒸気タービン(>40MW) |          | 3         | 3.609     | 32      | 0.089   | 3953.6  |
| 82               | 蒸気タービン(≤40MW) |          | 37        | 0.140     | 9       | 2.583   | -94.6   |
| 8410 - 11        | 液体タービン(≤1MW)  |          | 14        | 0.025     | 1       | 0.005   | 372.6   |
| 12               | 液体タービン(≤10MW) |          | 0         | 0.000     | 0       | 0.000   | -       |
| 13               | 液体タービン(>10MW) |          | 0         | 0.000     | 0       | 0.000   | -       |
| 8411 - 81        | ガスタービン(≤5MW)  |          | 68        | 25.521    | 79      | 29.572  | -13.7   |
| 82               | ガスタービン(>5MW)  |          | 51        | 35.748    | 22      | 16.687  | 114.2   |
| 8412 - 21        | 液体原動機(シリンダ)   |          | 1,178,676 | 132.492   | 694,416 | 135.176 | -2.0    |
| 29               | 液体原動機(その他)    |          | 139,308   | 70.624    | 111,146 | 83.866  | -15.8   |
| 31               | 気体原動機(シリンダ)   |          | 579,277   | 37.876    | 625,846 | 30.102  | 25.8    |
| 39               | 気体原動機(その他)    |          | 107,582   | 19.509    | 112,671 | 16.134  | 20.9    |
| 80               | その他原動機        |          | 453,654   | 8.986     | 259,240 | 11.941  | -24.7   |
| 機械類合計            |               |          | -         | 347.010   | -       | 335.570 | 3.4     |
| 8402 - 90 - 0090 | 部品(ボイラ用)      |          | X         | 4.616     | X       | 8.573   | -46.2   |
| 8404 - 90        | 部品(補助機器用)     |          | X         | 7.323     | X       | 7.770   | -5.8    |
| 8406 - 90        | 部品(蒸気タービン用)   |          | X         | 26.818    | X       | 19.080  | 40.6    |
| 8410 - 90        | 部品(液体タービン用)   |          | X         | 4.078     | X       | 2.374   | 71.8    |
| 8411 - 99        | 部品(ガスタービン用)   |          | X         | 345.781   | X       | 317.925 | 8.8     |
| 8412 - 90        | 部品(その他)       |          | X         | 311.537   | X       | 290.017 | 7.4     |
| 部品合計             |               |          | -         | 700.153   | -       | 645.740 | 8.4     |
| 総合計              |               |          | -         | 1,047.163 | -       | 981.310 | 6.7     |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%) ・「X」は、数量不明である。  
・「\*」の数量単位は「t」である。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

(2) 鉱山機械 (輸入)

(単位:百万ドル・億円: \$1=100円)

| HSコード            | 品名         | 2025年10月 |        | 2024年10月 |        | Ch.(%)  |       |
|------------------|------------|----------|--------|----------|--------|---------|-------|
|                  |            | 数量       | 金額     | 数量       | 金額     |         |       |
| 8430 - 49        | せん孔機       |          | 2,866  | 6.087    | 0      | 5.510   | 10.5  |
| 8467 - 19 - 5060 | さく岩機(手持工具) |          | 59,851 | 5.012    | 63,224 | 4.738   | 5.8   |
| 8474 - 10        | 選別機        |          | 1,891  | 24.946   | 698    | 25.759  | -3.2  |
| 20               | 破碎機        |          | 622    | 27.760   | 486    | 39.065  | -28.9 |
| 39               | 混合機        |          | 1,225  | 4.572    | 669    | 2.813   | 62.5  |
| 機械類合計            |            |          | -      | 68.376   | -      | 77.886  | -12.2 |
| 8474 - 90        | 部品         |          | X      | 52.234   | X      | 85.840  | -39.1 |
| 部品合計             |            |          | -      | 52.234   | -      | 85.840  | -39.1 |
| 総合計              |            |          | -      | 120.610  | -      | 163.725 | -26.3 |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%) ・「X」は、数量不明である。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

(3) 化学機械（輸入）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HSコード            | 品名            | 2025年10月   |           | 2024年10月   |           | Ch.(%) |
|------------------|---------------|------------|-----------|------------|-----------|--------|
|                  |               | 数量         | 金額        | 数量         | 金額        |        |
| 7309 - 00        | タンク           | 32,998     | 41.756    | 41,282     | 48.604    | -14.1  |
| 8419 - 19        | 温度処理機械(湯沸器)   | 195,588    | 51.338    | 196,610    | 49.198    | 4.3    |
| 20               | "(滅菌器)        | 20,943     | 25.399    | 22,474     | 20.716    | 22.6   |
| 35               | "(乾燥機・紙パ用)    | 67         | 2.731     | 21         | 1.903     | 43.5   |
| 39               | "(乾燥機・その他)    | 12,810     | 11.920    | 21,829     | 20.070    | -40.6  |
| 40               | "(蒸留機)        | 7,445      | 7.731     | 14,761     | 6.612     | 16.9   |
| 50               | "(熱交換装置)      | 1,107,420  | 185.215   | 1,476,851  | 190.438   | -2.7   |
| 60               | "(気体液化装置)     | 207        | 2.358     | 73,093     | 33.617    | -93.0  |
| 89               | "(その他)        | 387,225    | 261.019   | 305,347    | 136.474   | 91.3   |
| 8405 - 10        | 発生炉ガス発生機      | 76,479     | 1.185     | 222,648    | 1.751     | -32.3  |
| 8479 - 82        | 混合機           | 108,420    | 87.953    | 173,597    | 83.362    | 5.5    |
| 8401 - 20        | 分離ろ過機(同位体用) * | 56         | 2.971     | 285        | 1.945     | 52.7   |
| 8421 - 19        | "(遠心分離機)      | 90,996     | 24.509    | 240,654    | 28.208    | -13.1  |
| 29               | "(液体ろ過機)      | 35,152,144 | 128.042   | 21,241,866 | 126.463   | 1.2    |
| 32 注1            | "(気体ろ過機・内燃機関) | 1,407,566  | 245.878   | 1,140,533  | 283.155   | -13.2  |
| 39               | "(気体ろ過機・その他)  | 10,546,242 | 203.608   | 12,014,738 | 250.527   | -18.7  |
| 8439 - 10        | 紙パ製造機械(パルプ用)  | 9          | 0.279     | 14         | 7.138     | -96.1  |
| 20               | "(製紙用)        | 21         | 0.797     | 51         | 0.945     | -15.6  |
| 30               | "(仕上用)        | 280        | 3.839     | 43         | 1.652     | 132.4  |
| 8441 - 10        | "(切断機)        | 204,566    | 22.836    | 231,366    | 20.011    | 14.1   |
| 40               | "(成形用)        | 21         | 0.719     | 74         | 2.552     | -71.8  |
| 80               | "(その他)        | 802        | 18.912    | 969        | 22.472    | -15.8  |
| 機械類合計            |               | -          | 1,330.996 | -          | 1,337.813 | -0.5   |
| 8405 - 90        | 部品(ガス発生機械用)   | X          | 0.173     | X          | 4.239     | -95.9  |
| 8419 - 90 - 2000 | 部品(紙パ用)       | X          | 4.168     | X          | 5.299     | -21.3  |
| 8421 - 91        | 部品(遠心分離機用)    | X          | 16.983    | X          | 20.906    | -18.8  |
| 99               | 部品(ろ過機用)      | X          | 176.546   | X          | 187.731   | -6.0   |
| 8439 - 91        | 部品(パルプ製造機用)   | X          | 6.895     | X          | 9.848     | -30.0  |
| 99               | 部品(製紙・仕上用)    | X          | 17.659    | X          | 48.273    | -63.4  |
| 8441 - 90        | 部品(その他紙パ製造機用) | X          | 31.746    | X          | 34.997    | -9.3   |
| 部品合計             |               | -          | 254.169   | -          | 311.292   | -18.4  |
| 総合計              |               | -          | 1,585.165 | -          | 1,649.105 | -3.9   |

注1: HS2022改正に伴う新規品目

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「\*」の数量単位は「t」である。

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

(4) プラスチック機械（輸入）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HSコード     | 品名          | 2025年10月 |         | 2024年10月 |         | Ch.(%) |
|-----------|-------------|----------|---------|----------|---------|--------|
|           |             | 数量       | 金額      | 数量       | 金額      |        |
| 8477 - 10 | 射出成形機       | 670      | 56.666  | 413      | 57.796  | -2.0   |
| 20        | 押出成形機       | 46       | 10.648  | 65       | 29.038  | -63.3  |
| 30        | 吹込み成形機      | 22       | 5.657   | 80       | 14.935  | -62.1  |
| 40        | 真空成形機       | 97       | 1.330   | 152      | 6.149   | -78.4  |
| 51        | その他の機械(成形用) | 191      | 10.777  | 106      | 11.028  | -2.3   |
| 59        | その他のもの(成形用) | 164      | 10.130  | 77       | 7.955   | 27.3   |
| 80        | その他の機械      | 34,488   | 33.734  | 30,694   | 47.303  | -28.7  |
| 機械類合計     |             | 35,678   | 128.942 | 31,587   | 174.204 | -26.0  |
| 8477 - 90 | 部品          | X        | 95.421  | X        | 111.336 | -14.3  |
| 部品合計      |             | -        | 95.421  | -        | 111.336 | -14.3  |
| 総合計       |             | -        | 224.363 | -        | 285.540 | -21.4  |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

(5) 風水力機械（輸入）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HSコード            | 品名                      | 2025年10月   |           | 2024年10月   |           | Ch.(%) |
|------------------|-------------------------|------------|-----------|------------|-----------|--------|
|                  |                         | 数量         | 金額        | 数量         | 金額        |        |
| 8413 - 19        | ポンプ(その他計器付設置)           | 328,169    | 23,673    | 424,831    | 27,756    | -14.7  |
| 30               | 〃 (ピストンエンジン用)           | 5,247,683  | 234,209   | 6,635,363  | 274,596   | -14.7  |
| 50 - 0010        | 〃 (油井用往復容積式)            | 539        | 10,769    | 1,445      | 19,540    | -44.9  |
| 0050             | 〃 (ダイアフラム式)             | 185,236    | 13,769    | 254,433    | 13,573    | 1.4    |
| 0090             | 〃 (その他往復容積式)            | 248,946    | 22,202    | 262,251    | 25,546    | -13.1  |
| 60 - 0050        | 〃 (油井用回転容積式)            | 4,762      | 0,814     | 676        | 0,630     | 29.2   |
| 0070             | 〃 (ローラポンプ)              | 15,130     | 2,028     | 13,438     | 1,928     | 5.2    |
| 0090             | 〃 (その他回転容積式)            | 720,214    | 42,748    | 711,643    | 45,499    | -6.0   |
| 70               | 〃 (紙バ用等遠心式)             | 3,583,759  | 156,025   | 3,382,747  | 162,883   | -4.2   |
| 81               | 〃 (タービンポンプその他)          | 990,178    | 36,454    | 748,315    | 39,291    | -7.2   |
| 82               | 液体エレベータ                 | 9,068      | 0,271     | 19,165     | 0,388     | -30.2  |
| 8414 - 80 - 1605 | 圧縮機(定置往復式≤746W)         | 157,133    | 11,219    | 96,866     | 13,389    | -16.2  |
| 1615             | 〃 (〃 746W< ≤4.48KW)     | 20,178     | 3,068     | 13,904     | 2,554     | 20.2   |
| 1625             | 〃 (〃 4.48KW< ≤8.21KW)   | 2,942      | 1,955     | 3,076      | 1,588     | 23.1   |
| 1635             | 〃 (〃 8.21KW< ≤11.19KW)  | 2,457      | 0,820     | 2,552      | 2,916     | -71.9  |
| 1640             | 〃 (〃 11.19KW< ≤19.4KW)  | 155        | 0,407     | 490        | 0,492     | -17.4  |
| 1645             | 〃 (〃 19.4KW< ≤74.6KW)   | 257        | 1,069     | 445        | 1,079     | -1.0   |
| 1655             | 〃 (〃 >74.6KW)           | 160        | 0,679     | 158        | 1,598     | -57.5  |
| 1660             | 〃 (定置回転式≤11.19KW)       | 6,411      | 6,102     | 4,250      | 5,481     | 11.3   |
| 1665             | 〃 (〃 11.19KW< <22.38KW) | 3,524      | 5,798     | 3,871      | 6,719     | -13.7  |
| 1670             | 〃 (〃 22.38KW≤ ≤74.6KW)  | 3,575      | 8,788     | 619        | 5,618     | 56.4   |
| 1675             | 〃 (〃 >74.6KW)           | 1,613      | 14,668    | 505        | 21,226    | -30.9  |
| 1680             | 〃 (定置式その他)              | 41,469     | 4,802     | 29,747     | 6,856     | -30.0  |
| 1685             | 〃 (携帯式<0.57m3/min.)     | 1,710,186  | 35,044    | 1,056,352  | 34,360    | 2.0    |
| 1690             | 〃 (携帯式その他)              | 122,608    | 3,918     | 261,671    | 15,008    | -73.9  |
| 2015             | 〃 (遠心式及び軸流式)            | 5,459      | 25,670    | 6,730      | 14,499    | 77.0   |
| 2055             | 〃 (その他圧縮機≤186.5KW)      | 49,112     | 10,056    | 34,499     | 8,334     | 20.7   |
| 2065             | 〃 (〃 186.5KW< ≤746KW)   | 327        | 7,266     | 39         | 3,473     | 109.2  |
| 2075             | 〃 (〃 >746KW)            | 21         | 4,504     | 311        | 35,644    | -87.4  |
| 9000             | 〃 (その他)                 | 416,044    | 18,358    | 363,573    | 25,642    | -28.4  |
| 8414 - 59 - 6560 | 送風機(その他遠心式)             | 1,430,679  | 66,246    | 1,158,897  | 51,508    | 28.6   |
| 6590             | 〃 (その他軸流式)              | 2,240,609  | 75,126    | 2,000,721  | 74,473    | 0.9    |
| 6595             | 〃 (その他)                 | 1,463,963  | 51,044    | 1,484,009  | 59,573    | -14.3  |
| 10               | 真空ポンプ                   | 630,689    | 60,820    | 964,625    | 85,470    | -28.8  |
| 機械類合計            |                         | 19,643,255 | 960,389   | 19,942,217 | 1,089,131 | -11.8  |
| 8413 - 91 - 1000 | 部品(圧縮点火機関用ポンプ)          | X          | 9,775     | X          | 11,970    | -18.3  |
| 2000             | 〃 (紙バ用ストックポンプ)          | X          | 0,560     | X          | 0,986     | -43.2  |
| 9010             | 〃 (その他エンジン用ポンプ)         | X          | 26,028    | X          | 28,458    | -8.5   |
| 9096             | 〃 (ポンプ用その他)             | X          | 137,159   | X          | 151,625   | -9.5   |
| 92               | 〃 (液体エレベータ)             | X          | 1,648     | X          | 3,143     | -47.6  |
| 8414 - 90 - 1080 | 〃 (その他送風機)              | X          | 37,482    | X          | 31,931    | 17.4   |
| 4165             | 〃 (その他圧縮機ハウジング)         | X          | 23,287    | X          | 22,113    | 5.3    |
| 4175             | 〃 (その他圧縮機その他)           | X          | 85,974    | X          | 61,496    | 39.8   |
| 9140             | 〃 (真空ポンプ)               | X          | 10,474    | X          | 10,117    | 3.5    |
| 9180             | 〃 (その他)                 | X          | 26,001    | X          | 28,275    | -8.0   |
| 部品合計             |                         | -          | 358,388   | -          | 350,113   | 2.4    |
| 総合計              |                         | -          | 1,318,778 | -          | 1,439,244 | -8.4   |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

(6) 運搬機械（輸入）

（単位：百万ドル・億円：\$1=100円）

| HS コード           | 品名                          | 2025年10月  |           | 2024年10月  |           | Ch.(%) |
|------------------|-----------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
|                  |                             | 数量        | 金額        | 数量        | 金額        |        |
| 8426 - 11        | クレーン<br>(固定支持式天井クレーン)       | 182       | 8.725     | 114       | 4.140     | 110.7  |
| 12               | 〃 (移動リフト・ストラドル)             | 1,044     | 14.485    | 70        | 6.058     | 139.1  |
| 19               | 〃 (非固定天井・ガントリ等)             | 1,748     | 2.650     | 6,781     | 17.602    | -84.9  |
| 20               | 〃 (タワークレーン)                 | 61        | 0.301     | 181       | 10.332    | -97.1  |
| 30               | 〃 (門形ジブクレーン)                | 86        | 0.758     | 33        | 1.050     | -27.8  |
| 91               | 〃 (道路走行車両装備用)               | 371       | 18.196    | 291       | 10.427    | 74.5   |
| 99               | 〃 (その他のもの)                  | 1,443     | 4.806     | 441       | 2.474     | 94.3   |
| 8425 - 39        | 巻上機<br>(ウィン・キャブ:その他)        | 1,194,692 | 17.625    | 817,201   | 15.419    | 14.3   |
| 11               | 〃 (プーリタ・ホイスト:電動)            | 10,766    | 9.701     | 13,763    | 11.945    | -18.8  |
| 19               | 〃 (〃:その他)                   | 3,874,540 | 15.738    | 4,352,199 | 18.172    | -13.4  |
| 31               | 〃 (ウィンチ・キャブ:電動)             | 70,959    | 13.569    | 68,779    | 14.369    | -5.6   |
| 8428 - 60        | 〃 (ケーブルカー等けん引装置)            | 77        | 0.240     | 218       | 1.080     | -77.8  |
| 70               | 〃 (産業用ロボット)                 | 9,786     | 63.397    | 2,290     | 59.775    | 6.1    |
| 90 - 0310        | 〃 (森林での丸太取扱装置)              | 2,591     | 18.546    | 639       | 8.027     | 131.1  |
| 0390             | 〃 (その他の機械装置)                | 1,136,562 | 287.198   | 908,130   | 369.113   | -22.2  |
| 8425 - 41        | ジャッキ・ホイスト<br>(据付け式)         | 16,065    | 2.130     | 13,033    | 1.933     | 10.2   |
| 42               | 〃 (液圧式その他)                  | 841,767   | 28.891    | 603,501   | 33.980    | -15.0  |
| 49               | 〃 (その他のもの)                  | 1,362,622 | 22.071    | 1,276,197 | 21.962    | 0.5    |
| 8428 - 20 - 0010 | エスカレータ・エレベータ<br>(空圧式コンベヤ)   | 1,654     | 7.065     | 939       | 12.660    | -44.2  |
| 0050             | 〃 (空圧式エレベータ)                | 257       | 2.306     | 418       | 5.098     | -54.8  |
| 10               | 〃 (非連続エレ・スキップホイスト)          | 16,507    | 25.598    | 11,833    | 22.193    | 15.3   |
| 40               | 〃 (エスカレータ・移動歩道)             | 80        | 2.988     | 42        | 2.004     | 49.1   |
| 31               | その他連続式エレベータ・コンベヤ<br>(地下使用形) | 46        | 0.544     | 50        | 1.081     | -49.7  |
| 32               | 〃 (その他バケット型)                | 520       | 0.703     | 1,079     | 1.367     | -48.6  |
| 33               | 〃 (その他ベルト型)                 | 22,909    | 37.847    | 7,205     | 61.659    | -38.6  |
| 39               | 〃 (その他のもの)                  | 346,603   | 116.758   | 81,973    | 156.211   | -25.3  |
| 機械類合計            |                             | 8,913,938 | 722.838   | 8,167,400 | 870.131   | -16.9  |
| 8431 - 10 - 0010 | 部品<br>(プーリタタック・ホイスト用)       | X         | 9.187     | X         | 9.649     | -4.8   |
| 0090             | 〃 (その他巻上機等用)                | X         | 16.509    | X         | 15.517    | 6.4    |
| 31 - 0020        | 〃 (スキップホイスト用)               | X         | 4.910     | X         | 0.267     | 1739.4 |
| 0040             | 〃 (エスカレータ用)                 | X         | 1.484     | X         | 1.554     | -4.5   |
| 0060             | 〃 (非連続作動エレベータ用)             | X         | 28.544    | X         | 43.079    | -33.7  |
| 39 - 0010        | 〃 (空圧式エレベータ・コンベヤ用)          | X         | 119.968   | X         | 104.605   | 14.7   |
| 0050             | 〃 (石油・ガス田機械装置用)             | X         | 4.020     | X         | 5.436     | -26.0  |
| 0070             | 〃 (森林での丸太取扱装置用)             | X         | 0.824     | X         | 0.992     | -16.9  |
| 0080             | 〃 (その他巻上機用)                 | X         | 87.290    | X         | 100.020   | -12.7  |
| 49 - 1010        | 〃 (天井・ガント・門形等用)             | X         | 7.917     | X         | 13.798    | -42.6  |
| 1060             | 〃 (移動リ・ストラドル等用)             | X         | 1.510     | X         | 3.763     | -59.9  |
| 1090             | 〃 (その他クレーン用)                | X         | 16.400    | X         | 12.572    | 30.4   |
| 部品合計             |                             | -         | 298.564   | -         | 311.251   | -4.1   |
| 総合計              |                             | -         | 1,021.401 | -         | 1,181.382 | -13.5  |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

(7) 金属加工機械（輸入）

（単位：百万ドル・億円；\$1=100円）

| HSコード        | 品名                  | 2025年10月 |         | 2024年10月 |         | Ch.(%) |
|--------------|---------------------|----------|---------|----------|---------|--------|
|              |                     | 数量       | 金額      | 数量       | 金額      |        |
| 8455 - 10    | 圧延機(管圧延機)           | 159      | 4.669   | 31       | 2.958   | 57.8   |
| 21           | 〃(熱間及び熱・冷組合せ)       | 680      | 4.128   | 113      | 3.074   | 34.3   |
| 22           | 〃(冷間圧延用)            | 572      | 3.317   | 923      | 14.011  | -76.3  |
| 8462 - 11 注1 | 熱間鍛造機(密閉型)          | 471      | 7.518   | 140      | 4.246   | 77.1   |
| 19 注1        | 〃(その他)              | 19       | 2.340   | 204      | 7.249   | -67.7  |
| 22 注1        | 〃(形状成型機)            | 29       | 3.654   | 51       | 5.747   | -36.4  |
| 23 注1        | 〃(数値制御式プレスブレーキ)     | 69       | 6.490   | 46       | 5.983   | 8.5    |
| 24 注1        | 〃(数値制御式パネルベンダー)     | 9        | 0.608   | 18       | 3.704   | -83.6  |
| 25 注1        | 〃(数値制御式ロール成形機)      | 30       | 2.086   | 10       | 1.525   | 36.8   |
| 26 注1        | 〃(その他の数値制御式)        | 162      | 8.284   | 63       | 7.699   | 7.6    |
| 29           | 〃(その他)              | 8,599    | 17.419  | 11,502   | 23.147  | -24.7  |
| 32 注1        | スリッター機等(スリッター機・切断機) | 11       | 2.855   | 1,790    | 8.273   | -65.5  |
| 33 注1        | 〃(数値制御式剪断機)         | 28       | 1.086   | 21       | 0.971   | 11.8   |
| 39           | 〃(その他)              | 468      | 2.458   | 578      | 2.104   | 16.8   |
| 42 注1        | 〃(数値制御式)            | 65       | 11.667  | 34       | 10.088  | 15.7   |
| 49           | 〃(その他)              | 585      | 2.549   | 464      | 0.987   | 158.3  |
| 51 注1        | 炉心管(数値制御式)          | 44       | 4.638   | 24       | 2.588   | 79.2   |
| 59 注1        | 〃(その他)              | 22       | 0.561   | 19       | 2.920   | -80.8  |
| 61 注1        | 冷間金属加工(液圧プレス)       | 711      | 10.312  | 923      | 12.023  | -14.2  |
| 62 注1        | 〃(機械プレス)            | 33       | 2.267   | 168      | 14.302  | -84.2  |
| 63 注1        | 〃(サーボプレス)           | 63       | 2.718   | 152      | 24.499  | -88.9  |
| 69 注1        | 〃(その他)              | 97       | 1.304   | 4        | 0.530   | 146.2  |
| 90 注1        | その他                 | 2,043    | 9.156   | 984      | 5.205   | 75.9   |
| 機械類合計        |                     | 14,969   | 112.083 | 18,262   | 163.833 | -31.6  |
| 8455 - 90    | 部品(圧延機用) *          | X        | 12.168  | X        | 59.432  | -79.5  |
| 部品合計         |                     | -        | 12.168  | -        | 59.432  | -79.5  |
| 総合計          |                     | -        | 124.251 | -        | 223.265 | -44.3  |

注1: HS2022改正に伴う新規品目

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)  
 ・「\*」の数量単位は「kg」である。

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

(8) 業務用洗濯機（輸入）

（単位：百万ドル・億円；\$1=100円）

| HSコード     | 品名              | 2025年10月 |         | 2024年10月 |         | Ch.(%) |
|-----------|-----------------|----------|---------|----------|---------|--------|
|           |                 | 数量       | 金額      | 数量       | 金額      |        |
| 8450 - 12 | 洗濯機(10kg以下遠心脱水) | 5,667    | 0.227   | 5,983    | 0.752   | -69.8  |
| 19        | 〃(〃・その他)        | 43,886   | 0.851   | 37,312   | 0.954   | -10.7  |
| 20        | 〃(10kg超)        | 318,897  | 102.841 | 269,385  | 105.643 | -2.7   |
| 8451 - 10 | ドライクリーニング機      | 17       | 0.883   | 5        | 0.252   | 250.7  |
| 29 - 0010 | 乾燥機(10kg超・品物用)  | 169,851  | 43.924  | 129,446  | 50.655  | -13.3  |
| 機械類合計     |                 | 538,318  | 148.726 | 442,131  | 158.255 | -6.0   |
| 8450 - 90 | 部品(洗濯機用)        | X        | 22.640  | X        | 23.615  | -4.1   |
| 部品合計      |                 | -        | 22.640  | -        | 23.615  | -4.1   |
| 総合計       |                 | -        | 171.367 | -        | 181.870 | -5.8   |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典：米国商務省センサス局の輸出入統計

(9) 動力伝導装置 (輸入)

(単位:百万ドル・億円:\$1=100円)

| HSコード            | 品名                    | 2025年10月  |         | 2024年10月  |         | Ch.(%) |
|------------------|-----------------------|-----------|---------|-----------|---------|--------|
|                  |                       | 数量        | 金額      | 数量        | 金額      |        |
| 8483 - 40 - 1000 | トルクコンバータ              | 158,241   | 6,266   | 339,672   | 11,849  | -47.1  |
| 3040             | ギヤボックス等変速機(固定比・紙/機械用) | 6,327     | 1,319   | 16,589    | 1,514   | -12.9  |
| 3080             | // (手動可変式・紙/機械用)      | 29,802    | 3,351   | 38,338    | 2,075   | 61.4   |
| 5010             | // (固定比・その他)          | 632,702   | 120,209 | 668,254   | 119,807 | 0.3    |
| 5050             | // (手動可変式・その他)        | 569,111   | 60,668  | 1,006,941 | 34,724  | 74.7   |
| 7000             | // (その他)              | 345,353   | 43,393  | 1,103,950 | 41,552  | 4.4    |
| 9000             | 歯車及び歯車伝導機             | 5,860,813 | 52,915  | 5,919,781 | 69,472  | -23.8  |
| 機械類合計            |                       | -         | 288,121 | -         | 280,993 | 2.5    |
| 8483 - 90 - 5000 | 部品(ギヤボックス等変速機用)       | X         | 102,733 | X         | 131,148 | -21.7  |
| 部品合計             |                       | -         | 102,733 | -         | 131,148 | -21.7  |
| 総合計              |                       | -         | 390,854 | -         | 412,141 | -5.2   |

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

・「X」は、数量不明である。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

(10) 積層造形用機械 (輸入)

(単位:百万ドル・億円:\$1=100円)

| HSコード        | 品名           | 2025年10月 |        | 2024年10月 |        | Ch.(%) |
|--------------|--------------|----------|--------|----------|--------|--------|
|              |              | 数量       | 金額     | 数量       | 金額     |        |
| 8485 - 10 注1 | 積層造形用機械(メタル) | 87       | 9,433  | 525      | 13,817 | -31.7  |
| 20 注1        | // (プラスチック)  | 41,427   | 13,954 | 41,020   | 12,649 | 10.3   |
| 30 注1        | // (プaster)  | 4        | 1,326  | 3        | 0,280  | 373.2  |
| 80 注1        | // (その他)     | 893      | 0,658  | 432      | 2,465  | -73.3  |
| 機械類合計        |              | -        | 25,372 | -        | 29,211 | -13.1  |
| 8485 - 90 注1 | 部品(積層造形用機械)  | X        | 13,670 | X        | 14,271 | -4.2   |
| 部品合計         |              | -        | 13,670 | -        | 14,271 | -4.2   |
| 総合計          |              | -        | 39,042 | -        | 43,482 | -10.2  |

注1:HS2022改正に伴う新規品目

(注) ・「Ch.」は、金額対前年比伸び率(%)

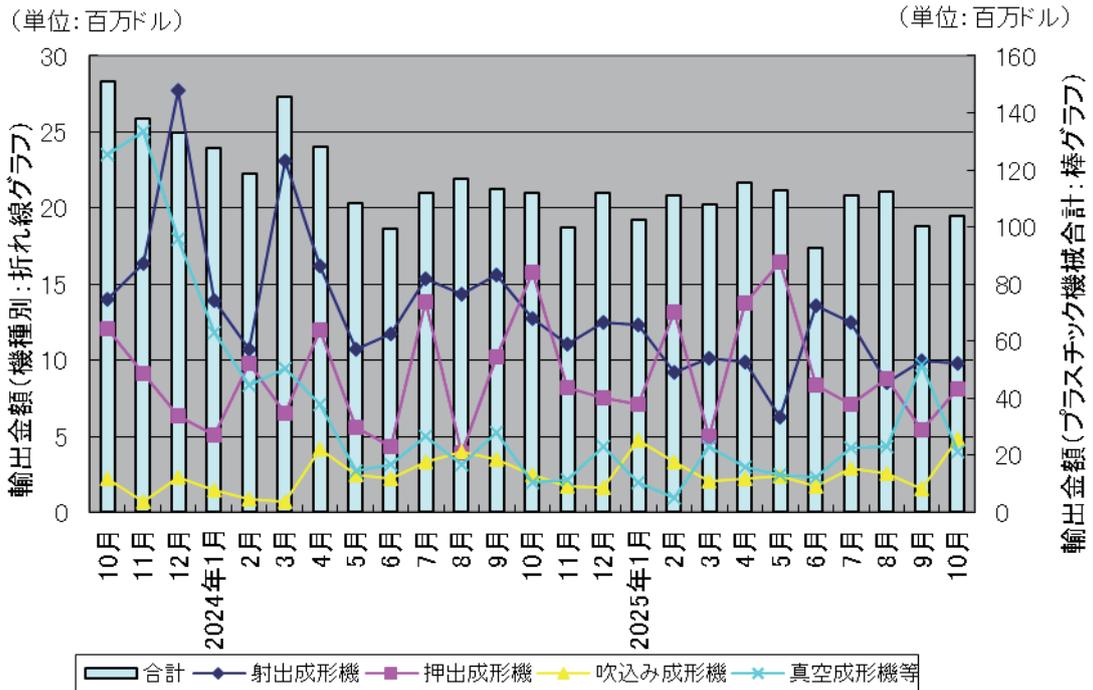
・「X」は、数量不明である。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

## ●米国プラスチック機械の輸出入統計（2025年10月）

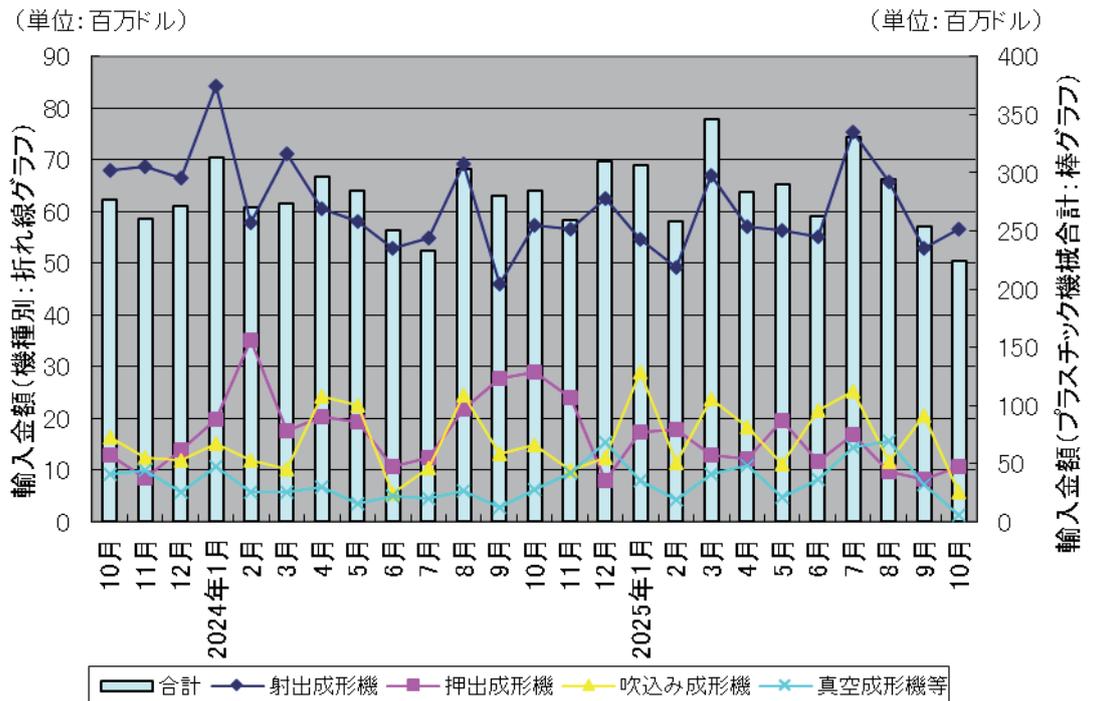
米国商務省センサス局の輸出入統計に基づく、2025年10月の米国におけるプラスチック機械の輸出入の概要は、次のとおりである。

- (1) プラスチック機械の輸出は、全体で1億374万ドル（対前年同月比11.7%減）となった。輸出先は、カナダが2,995万ドル（同5.8%減）で最も大きく、次いでメキシコが2,310万ドル（同33.8%減）、ドイツが523万ドル（同21.1%減）、ブラジルが334万ドル（同29.6%増）と続く。機種別の輸出金額は、射出成形機は977万ドル（同18.3%減）、押出成形機は808万ドル（同47.8%減）、吹込み成形機は486万ドル（同95.2%増）、真空成形機及びその他の熱成形機（以下「真空成形機等」という。）は396万ドル（同96.9%増）となり、部分品は5,948万ドル（同9.2%減）となった。
- (2) プラスチック機械の輸入は、全体で2億2,436万ドル（同19.4%増）となった。輸入元は、ドイツが5,932万ドル（同28.0%減）で最も大きく、次いで日本が2,378万ドル（同47.5%増）、オーストリアが2,364万ドル（同43.3%減）、カナダが1,902万ドル（同43.5%減）と続く。機種別の輸入金額は、射出成形機は5,667万ドル（同2.0%減）、押出成形機は1,065万ドル（同63.3%減）、吹込み成形機は5,657万ドル（同62.1%減）、真空成形機等は1,330万ドル（同78.4%減）となり、部分品は9,542万ドル（同14.3%減）となった。
- (3) プラスチック機械の対日輸出は、全体で979万ドル（同25.0%減）となり、全輸出金額に占める割合は0.9%となった。
- (4) プラスチック機械の対日輸入は、全体で2,378万ドル（同47.5%増）となり、全輸入金額に占める割合は10.6%となった。主要機種のうち、射出成形機の対日輸入金額が最も大きく、1,179万ドル（同42.6%増）となった。
- (5) プラスチック機械輸出の単純平均単価は、射出成形機が107.3千ドル、押出成形機が102.2千ドル、吹込み成形機が35.5千ドル、真空成形機等が12.0千ドルとなった。また、全機種目の単純平均単価は、25.4千ドルとなった。
- (6) プラスチック機械輸入の単純平均単価は、射出成形機が84.6千ドル、押出成形機が231.5千ドル、吹込み成形機が257.2千ドル、真空成形機等が13.7千ドルとなった。また、全機種目の単純平均単価は、3.6千ドルとなった。なお、対日輸入の射出成形機の単純平均単価は93.6千ドルとなった。



出典：米国商務省センサス局の輸出入統計より作成

図1 米国におけるプラスチック機械の輸出金額の推移



出典：米国商務省センサス局の輸出入統計より作成

図2 米国におけるプラスチック機械の輸入金額の推移

表1 米国プラスチック機械の国別輸出統計(2025年10月)

(単位:台、ドル・百円:\$1=100円)

| 輸出先<br>国名 | プラスチック機械合計 |             |          |             |             |                | 射出成形機    |           |          |            |                |
|-----------|------------|-------------|----------|-------------|-------------|----------------|----------|-----------|----------|------------|----------------|
|           | 2025年10月   |             | 2024年10月 |             | 輸出金額<br>増減  | 輸出金額<br>伸び率(%) | 2025年10月 |           | 2024年10月 |            | 輸出金額<br>伸び率(%) |
|           | 数量         | 金額          | 数量       | 金額          |             |                | 数量       | 金額        | 数量       | 金額         |                |
| アイルランド    | 30         | 1,743,553   | 16       | 1,717,829   | 25,724      | 1.5            | 5        | 535,980   | 0        | 0          | -              |
| イギリス      | 8          | 1,785,433   | 8        | 1,383,414   | 402,019     | 29.1           | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| フランス      | 3          | 1,133,025   | 9        | 1,307,625   | -174,600    | -13.4          | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| ドイツ       | 25         | 5,227,017   | 54       | 6,628,538   | -1,401,521  | -21.1          | 2        | 93,105    | 21       | 2,716,609  | -96.6          |
| イタリア      | 57         | 1,200,737   | 17       | 1,196,170   | 4,567       | 0.4            | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| トルコ       | 0          | 0           | 0        | 0           | 0           | -              | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| 小計        | 123        | 11,089,765  | 104      | 12,233,576  | -1,143,811  | -9.3           | 7        | 629,085   | 21       | 2,716,609  | -76.8          |
| カナダ       | 331        | 29,945,398  | 176      | 31,796,920  | -1,851,522  | -5.8           | 19       | 2,215,932 | 21       | 2,790,554  | -20.6          |
| メキシコ      | 534        | 23,104,080  | 654      | 34,902,039  | -11,797,959 | -33.8          | 51       | 5,399,699 | 64       | 5,925,639  | -8.9           |
| コスタリカ     | 39         | 2,562,473   | 16       | 2,667,276   | -104,803    | -3.9           | 10       | 833,795   | 0        | 0          | -              |
| コロンビア     | 0          | 1,041,785   | 0        | 706,750     | 335,035     | 47.4           | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| ベネズエラ     | 0          | 0           | 1        | 12,358      | -12,358     | -100.0         | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| ブラジル      | 230        | 3,341,504   | 13       | 2,577,770   | 763,734     | 29.6           | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| チリ        | 1          | 322,768     | 2        | 744,899     | -422,131    | -56.7          | 1        | 82,500    | 0        | 0          | -              |
| 小計        | 1,134      | 59,995,240  | 860      | 72,663,113  | -12,667,873 | -17.4          | 80       | 8,449,426 | 85       | 8,716,193  | -3.1           |
| 日本        | 15         | 978,709     | 18       | 1,304,288   | -325,579    | -25.0          | 1        | 281,635   | 0        | 0          | -              |
| 韓国        | 8          | 1,040,091   | 6        | 962,961     | 77,130      | 8.0            | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| 中国        | 43         | 3,118,012   | 72       | 4,593,998   | -1,475,986  | -32.1          | 0        | 0         | 3        | 425,000    | -100.0         |
| 台湾        | 7          | 581,111     | 18       | 774,454     | -193,343    | -25.0          | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| シンガポール    | 25         | 718,455     | 1        | 402,433     | 316,022     | 78.5           | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| タイ        | 30         | 2,256,189   | 61       | 2,649,018   | -392,829    | -14.8          | 0        | 0         | 0        | 0          | -              |
| インド       | 44         | 3,029,040   | 14       | 2,725,888   | 303,152     | 11.1           | 0        | 0         | 1        | 100,800    | -100.0         |
| 小計        | 172        | 11,721,607  | 190      | 13,413,040  | -1,691,433  | -12.6          | 1        | 281,635   | 4        | 525,800    | -46.4          |
| その他       | 316        | 20,934,782  | 230      | 19,232,171  | 1,702,611   | 8.9            | 3        | 408,348   | 0        | 0          | -              |
| 合計        | 1,745      | 103,741,394 | 1,384    | 117,541,900 | -13,800,506 | -11.7          | 91       | 9,768,494 | 110      | 11,958,602 | -18.3          |

| 輸出先<br>国名 | 押出成形機    |           |                | 吹込み成形機   |           |                | 真空成形機等   |           |                | 部分品        |                |
|-----------|----------|-----------|----------------|----------|-----------|----------------|----------|-----------|----------------|------------|----------------|
|           | 2025年10月 |           | 輸出金額<br>伸び率(%) | 2025年10月 |           | 輸出金額<br>伸び率(%) | 2025年10月 |           | 輸出金額<br>伸び率(%) | 25年10月     | 輸出金額<br>伸び率(%) |
|           | 数量       | 金額        |                | 数量       | 金額        |                | 数量       | 金額        |                | 金額         |                |
| アイルランド    | 0        | 0         | -100.0         | 5        | 164,543   | 177.6          | 16       | 189,928   | -              | 818,935    | -13.2          |
| イギリス      | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 2        | 26,820    | -89.3          | 1,700,515  | 101.1          |
| フランス      | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 2        | 12,830    | -              | 998,420    | 3.1            |
| ドイツ       | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -100.0         | 1        | 12,937    | -73.2          | 3,826,659  | 65.5           |
| イタリア      | 0        | 0         | -              | 1        | 24,500    | -              | 0        | 0         | -100.0         | 420,213    | -27.8          |
| トルコ       | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 0          | -              |
| 小計        | 0        | 0         | -100.0         | 6        | 189,043   | -25.2          | 21       | 242,515   | -27.6          | 7,764,742  | 37.4           |
| カナダ       | 23       | 2,093,733 | -33.0          | 82       | 2,588,290 | 1,473.0        | 5        | 68,405    | 597.6          | 21,162,935 | -11.3          |
| メキシコ      | 17       | 1,325,636 | -88.4          | 7        | 518,423   | -              | 184      | 2,205,100 | 38.5           | 9,795,148  | 6.1            |
| コスタリカ     | 1        | 73,600    | -20.4          | 11       | 426,592   | 258.4          | 0        | 0         | -              | 807,401    | -64.3          |
| コロンビア     | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 1,041,785  | 47.4           |
| ベネズエラ     | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 0          | -100.0         |
| ブラジル      | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 1        | 7,974     | -45.1          | 389,502    | -82.8          |
| チリ        | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 240,268    | -67.3          |
| 小計        | 41       | 3,492,969 | -76.2          | 100      | 3,533,305 | 1,146.1        | 190      | 2,281,479 | 41.1           | 33,196,771 | -13.4          |
| 日本        | 0        | 0         | -              | 1        | 4,488     | -63.4          | 6        | 77,438    | 219.7          | 505,915    | -28.6          |
| 韓国        | 0        | 0         | -100.0         | 0        | 0         | -              | 1        | 10,455    | -              | 761,086    | 39.4           |
| 中国        | 5        | 798,729   | -              | 2        | 50,264    | -              | 0        | 0         | -100.0         | 1,306,499  | -40.9          |
| 台湾        | 0        | 0         | -100.0         | 1        | 50,000    | -              | 2        | 27,286    | -              | 245,815    | -46.7          |
| シンガポール    | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 390,976    | -1.4           |
| タイ        | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 1,227,882  | -32.7          |
| インド       | 8        | 1,103,176 | -              | 18       | 355,645   | -              | 3        | 37,627    | 597.4          | 685,891    | -67.9          |
| 小計        | 13       | 1,901,905 | 1,652.9        | 22       | 460,397   | 3,656.8        | 12       | 152,806   | 174.5          | 5,124,064  | -38.2          |
| その他       | 25       | 2,680,181 | 8,769.5        | 9        | 677,227   | -65.1          | 107      | 1,285,595 | 25,611.9       | 13,393,385 | 1.1            |
| 合計        | 79       | 8,075,055 | -47.8          | 137      | 4,859,972 | 95.2           | 330      | 3,962,395 | 96.9           | 59,478,962 | -9.2           |

(注)プラスチック機械合計(HSコード8477)は、上記の各成形機に分類されないその他の機械を含む。

また、プラスチック機械合計の金額に部分品(HSコード8477-90)を含み、数量には含まない。

出典: 米国商務省センサス局の輸出入統計

表2 米国プラスチック機械の国別輸入統計 (2025年10月)

(単位:台、ドル・百円:\$1=100円)

| 輸入元<br>国名 | プラスチック機械合計 |             |          |             |             |                | 射出成形機    |            |          |            |                |  |
|-----------|------------|-------------|----------|-------------|-------------|----------------|----------|------------|----------|------------|----------------|--|
|           | 2025年10月   |             | 2024年10月 |             | 輸入金額<br>増減  | 輸入金額<br>伸び率(%) | 2025年10月 |            | 2024年10月 |            | 輸入金額<br>伸び率(%) |  |
|           | 数量         | 金額          | 数量       | 金額          |             |                | 数量       | 金額         | 数量       | 金額         |                |  |
| イギリス      | 296        | 1,790,133   | 14       | 3,104,276   | -1,314,143  | -42.3          | 0        | 0          | 0        | 0          | -              |  |
| スペイン      | 15         | 440,576     | 204      | 1,996,325   | -1,555,749  | -77.9          | 0        | 0          | 0        | 0          | -              |  |
| フランス      | 27         | 8,893,663   | 21       | 7,029,406   | 1,864,257   | 26.5           | 0        | 0          | 1        | 54,957     | -100.0         |  |
| オランダ      | 174        | 11,305,468  | 93       | 10,258,808  | 1,046,660   | 10.2           | 0        | 0          | 0        | 0          | -              |  |
| ドイツ       | 1,402      | 59,324,054  | 342      | 82,357,228  | -23,033,174 | -28.0          | 158      | 10,465,737 | 58       | 12,790,742 | -18.2          |  |
| スイス       | 18         | 4,356,899   | 8        | 4,186,337   | 170,562     | 4.1            | 4        | 2,189,100  | 1        | 105,136    | 1,982.2        |  |
| オーストリア    | 246        | 23,635,013  | 159      | 41,702,839  | -18,067,826 | -43.3          | 198      | 19,184,784 | 82       | 19,974,917 | -4.0           |  |
| ハンガリー     | 0          | 41,677      | 3        | 476,150     | -434,473    | -91.2          | 0        | 0          | 3        | 370,378    | -100.0         |  |
| イタリア      | 551        | 17,189,261  | 404      | 24,004,216  | -6,814,955  | -28.4          | 13       | 637,024    | 4        | 906,932    | -29.8          |  |
| ルーマニア     | 0          | 22,001      | 0        | 19,022      | 2,979       | 15.7           | 0        | 0          | 0        | 0          | -              |  |
| チェコ       | 37         | 22,001      | 26       | 19,022      | 2,979       | 15.7           | 0        | 0          | 0        | 0          | -              |  |
| ポーランド     | 3          | 635,943     | 7        | 2,088,971   | -1,453,028  | -69.6          | 0        | 0          | 0        | 0          | -              |  |
| 小計        | 2,769      | 127,656,689 | 1,281    | 177,242,600 | -49,585,911 | -28.0          | 373      | 32,476,645 | 149      | 34,203,062 | -5.0           |  |
| カナダ       | 664        | 19,016,962  | 1,394    | 33,642,472  | -14,625,510 | -43.5          | 23       | 1,631,824  | 34       | 5,017,439  | -67.5          |  |
| ブラジル      | 1          | 647,710     | 3        | 912,443     | -264,733    | -29.0          | 0        | 0          | 0        | 0          | -              |  |
| 小計        | 665        | 19,664,672  | 1,397    | 34,554,915  | -14,890,243 | -43.1          | 23       | 1,631,824  | 34       | 5,017,439  | -67.5          |  |
| 日本        | 162        | 23,782,467  | 64       | 16,118,606  | 7,663,861   | 47.5           | 100      | 11,786,422 | 45       | 8,264,065  | 42.6           |  |
| 韓国        | 261        | 14,204,124  | 49       | 4,412,605   | 9,791,519   | 221.9          | 64       | 4,538,148  | 30       | 2,208,683  | 105.5          |  |
| 中国        | 30,688     | 9,979,392   | 27,441   | 25,865,164  | -15,885,772 | -61.4          | 32       | 777,856    | 116      | 4,907,325  | -84.1          |  |
| 台湾        | 83         | 6,019,240   | 422      | 3,243,781   | 2,775,459   | 85.6           | 49       | 3,130,366  | 0        | 0          | -              |  |
| タイ        | 11         | 1,016,546   | 25       | 2,849,396   | -1,832,850  | -64.3          | 10       | 391,919    | 22       | 2,178,590  | -82.0          |  |
| インド       | 46         | 2,418,065   | 33       | 4,817,179   | -2,399,114  | -49.8          | 5        | 319,008    | 9        | 642,868    | -50.4          |  |
| 小計        | 31,251     | 57,419,834  | 28,034   | 57,306,731  | 113,103     | 0.2            | 260      | 20,943,719 | 222      | 18,201,531 | 15.1           |  |
| その他       | 993        | 19,622,075  | 875      | 16,435,516  | 3,186,559   | 19.4           | 14       | 1,614,065  | 8        | 373,704    | 331.9          |  |
| 合計        | 35,678     | 224,363,270 | 31,587   | 285,539,762 | -61,176,492 | -21.4          | 670      | 56,666,253 | 413      | 57,795,736 | -2.0           |  |

| 輸入元<br>国名 | 押出成形機    |            |                | 吹込み成形機   |           |                | 真空成形機等   |           |                | 部分品        |        |
|-----------|----------|------------|----------------|----------|-----------|----------------|----------|-----------|----------------|------------|--------|
|           | 2025年10月 |            | 輸入金額<br>伸び率(%) | 2025年10月 |           | 輸入金額<br>伸び率(%) | 2025年10月 |           | 輸入金額<br>伸び率(%) | 25年10月     |        |
|           | 数量       | 金額         |                | 数量       | 金額        |                | 数量       | 金額        |                | 金額         | 伸び率(%) |
| イギリス      | 0        | 0          | -              | 0        | 0         | -              | 4        | 54,675    | 28.8           | 1,375,940  | -11.6  |
| スペイン      | 0        | 0          | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 189,127    | -13.6  |
| フランス      | 0        | 0          | -100.0         | 4        | 1,807,709 | -              | 6        | 4,046     | -16.9          | 6,439,271  | -2.4   |
| オランダ      | 0        | 0          | -100.0         | 0        | 0         | -              | 1        | 13,150    | 457.2          | 1,435,998  | -50.7  |
| ドイツ       | 13       | 6,930,013  | -62.9          | 4        | 23,385    | -99.8          | 37       | 80,658    | -97.0          | 31,813,987 | 30.1   |
| スイス       | 0        | 0          | -              | 0        | 0         | -              | 1        | 86,000    | -              | 1,779,892  | -49.7  |
| オーストリア    | 0        | 0          | -100.0         | 1        | 18,523    | -              | 2        | 12,700    | -98.5          | 3,373,900  | -61.2  |
| ハンガリー     | 0        | 0          | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 41,677     | -60.6  |
| イタリア      | 2        | 685,000    | 676.6          | 2        | 9,982     | -99.3          | 8        | 11,800    | -98.2          | 7,317,128  | -34.5  |
| ルーマニア     | 0        | 0          | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 22,001     | 15.7   |
| チェコ       | 0        | 0          | -              | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 22,001     | 15.7   |
| ポーランド     | 0        | 0          | -100.0         | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 630,213    | -32.4  |
| 小計        | 15       | 7,615,013  | -69.2          | 11       | 1,859,599 | -86.4          | 59       | 263,029   | -93.8          | 54,441,135 | -10.2  |
| カナダ       | 11       | 507,673    | -43.0          | 0        | 0         | -100.0         | 0        | 0         | -100.0         | 12,905,512 | -46.3  |
| ブラジル      | 0        | 0          | -100.0         | 0        | 0         | -              | 0        | 0         | -              | 124,707    | -69.2  |
| 小計        | 11       | 507,673    | -46.8          | 0        | 0         | -100.0         | 0        | 0         | -100.0         | 13,030,219 | -46.7  |
| 日本        | 2        | 420,552    | -              | 2        | 2,452,675 | -              | 0        | 0         | -              | 8,614,514  | 60.7   |
| 韓国        | 4        | 575,450    | -              | 0        | 0         | -              | 18       | 285,211   | -              | 2,194,494  | 102.7  |
| 中国        | 10       | 796,655    | -19.8          | 4        | 299,295   | -53.7          | 5        | 29,461    | -98.0          | 5,907,626  | -47.3  |
| 台湾        | 0        | 0          | -              | 0        | 0         | -100.0         | 6        | 260,608   | 9,227.4        | 2,074,018  | -7.5   |
| タイ        | 0        | 0          | -              | 1        | 320,580   | -              | 0        | 0         | -              | 304,047    | -34.2  |
| インド       | 0        | 0          | -100.0         | 3        | 719,010   | -              | 0        | 0         | -              | 1,201,650  | 12.1   |
| 小計        | 16       | 1,792,657  | 25.9           | 10       | 3,791,560 | 264.7          | 29       | 575,280   | -61.2          | 20,296,349 | -5.3   |
| その他       | 4        | 732,678    | -62.9          | 1        | 6,250     | -88.3          | 9        | 491,528   | 384.1          | 7,653,321  | 58.7   |
| 合計        | 46       | 10,648,021 | -63.3          | 22       | 5,657,409 | -62.1          | 97       | 1,329,837 | -78.4          | 95,421,024 | -14.3  |

(注)プラスチック機械合計(HSコード8477)は、上記の各成形機に分類されないその他の機械を含む。

また、プラスチック機械合計の金額に部分品(HSコード8477-90)を含み、数量には含まない。

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

表3 米国プラスチック機械の機種別輸出入統計(2025年10月)

(単位:台、ドル・百円;単価は千ドル・10万円;\$1=100円)

| 項目                  | 輸出金額        |             |        | 対日輸出金額   |           |        | 対日輸出割合(%) |          |
|---------------------|-------------|-------------|--------|----------|-----------|--------|-----------|----------|
|                     | 2025年10月    | 2024年10月    | 伸び率(%) | 2025年10月 | 2024年10月  | 伸び率(%) | 2025年10月  | 2024年10月 |
| 8477-10 射出成形機       | 9,768,494   | 11,958,602  | -18.3  | 281,635  | 0         | -      | 2.9       | 0.0      |
| 8477-20 押出成形機       | 8,075,055   | 15,482,657  | -47.8  | 0        | 0         | -      | 0.0       | 0.0      |
| 8477-30 吹込み成形機      | 4,859,972   | 2,489,880   | 95.2   | 4,488    | 12,255    | -63.4  | 0.1       | 0.5      |
| 8477-40 真空成形機等      | 3,962,395   | 2,012,122   | 96.9   | 77,438   | 24,221    | 219.7  | 2.0       | 1.2      |
| 8477-51 その他の機械(成形用) | 875,235     | 302,067     | 189.7  | 0        | 0         | -      | 0.0       | 0.0      |
| 8477-59 その他のもの(成形用) | 5,306,449   | 8,377,955   | -36.7  | 75,013   | 385,111   | -80.5  | 1.4       | 4.6      |
| 8477-80 その他の機械      | 11,414,832  | 11,418,667  | 0.0    | 34,220   | 173,835   | -80.3  | 0.3       | 1.5      |
| 機械類小計               | 44,262,432  | 52,041,950  | -14.9  | 472,794  | 595,422   | -20.6  | 1.1       | 1.1      |
| 8477-90 部分品         | 59,478,962  | 65,499,950  | -9.2   | 505,915  | 708,866   | -28.6  | 0.9       | 1.1      |
| 合計                  | 103,741,394 | 117,541,900 | -11.7  | 978,709  | 1,304,288 | -25.0  | 0.9       | 1.1      |

| 項目                  | 輸入金額        |             |        | 対日輸入金額     |            |         | 対日輸入割合(%) |          |
|---------------------|-------------|-------------|--------|------------|------------|---------|-----------|----------|
|                     | 2025年10月    | 2024年10月    | 伸び率(%) | 2025年10月   | 2024年10月   | 伸び率(%)  | 2025年10月  | 2024年10月 |
| 8477-10 射出成形機       | 56,666,253  | 57,795,736  | -2.0   | 11,786,422 | 8,264,065  | 42.6    | 20.8      | 14.3     |
| 8477-20 押出成形機       | 10,648,021  | 29,037,585  | -63.3  | 420,552    | 0          | -       | 3.9       | 0.0      |
| 8477-30 吹込み成形機      | 5,657,409   | 14,935,289  | -62.1  | 2,452,675  | 0          | -       | 43.4      | 0.0      |
| 8477-40 真空成形機等      | 1,329,837   | 6,149,186   | -78.4  | 0          | 0          | -       | 0.0       | 0.0      |
| 8477-51 その他の機械(成形用) | 10,776,895  | 11,027,813  | -2.3   | 0          | 0          | -       | 0.0       | 0.0      |
| 8477-59 その他のもの(成形用) | 10,130,093  | 7,954,955   | 27.3   | 183,639    | 2,081      | 8,724.6 | 1.8       | 0.0      |
| 8477-80 その他の機械      | 33,733,738  | 47,303,264  | -28.7  | 324,665    | 2,490,867  | -87.0   | 1.0       | 5.3      |
| 機械類小計               | 128,942,246 | 174,203,828 | -26.0  | 15,167,953 | 10,757,013 | 41.0    | 11.8      | 6.2      |
| 8477-90 部分品         | 95,421,024  | 111,335,934 | -14.3  | 8,614,514  | 5,361,593  | 60.7    | 9.0       | 4.8      |
| 合計                  | 224,363,270 | 285,539,762 | -21.4  | 23,782,467 | 16,118,606 | 47.5    | 10.6      | 5.6      |

| 項目                  | 輸出単純平均単価 |       | 対日輸出単純平均単価 |       | 輸入単純平均単価 |       | 対日輸入単純平均単価 |         |
|---------------------|----------|-------|------------|-------|----------|-------|------------|---------|
|                     | 輸出数量     |       | 対日輸出数量     |       | 輸入数量     |       | 対日輸入数量     |         |
| 8477-10 射出成形機       | 91       | 107.3 | 1          | 281.6 | 670      | 84.6  | 100        | 117.9   |
| 8477-20 押出成形機       | 79       | 102.2 | 0          | -     | 46       | 231.5 | 2          | 210.3   |
| 8477-30 吹込み成形機      | 137      | 35.5  | 1          | 4.5   | 22       | 257.2 | 2          | 1,226.3 |
| 8477-40 真空成形機等      | 330      | 12.0  | 6          | 12.9  | 97       | 13.7  | 0          | -       |
| 8477-51 その他の機械(成形用) | 192      | 4.6   | 0          | -     | 191      | 56.4  | 0          | -       |
| 8477-59 その他のもの(成形用) | 134      | 39.6  | 5          | 15.0  | 164      | 61.8  | 42         | 4.4     |
| 8477-80 その他の機械      | 782      | 14.6  | 2          | 17.1  | 34,488   | 1.0   | 16         | 20.3    |
| 機械類小計               | 1,745    | 25.4  | 15         | 31.5  | 35,678   | 3.6   | 162        | 93.6    |
| 8477-90 部分品         | X        | -     | X          | -     | X        | -     | X          | -       |
| 合計                  | -        | -     | -          | -     | -        | -     | -          | -       |

出典:米国商務省センサス局の輸出入統計

## ●米国の鉄鋼生産と設備稼働率（2025年10月）

米国鉄鋼協会（American Iron and Steel Institute）の月次統計に基づく、米国における2025年10月の鉄鋼生産と設備稼働率の概要は、以下のとおりである。

- ① 粗鋼生産量は762.4万ネット・トンで、前月の760.9万ネット・トンから増加（0.2%）となり、対前年同月比は増加（+8.4%）となった。

鉄鋼生産量は769.2万ネット・トンで、前月の803.3万ネット・トンから減少（△4.2%）となり、対前年同月比は増加（+10.1%）となった。鋼種別では、前年同月比で炭素鋼（+10.5%）、合金鋼（+7.6%）、ステンレス鋼（△4.2%）となっている。

- ② 主要分野別の出荷状況をみると、自動車関連120.0万ネット・トン（対前年同月比+2.6%）、建設関連227.8万ネット・トン（同+22.2%）、中間販売業者198.1万ネット・トン（同+10.9%）、機械産業（農業関係を除く）8.2万ネット・トン（同△7.7%）となっている。

需要分野別にみると、鉄鋼中間材（同+30.2%）、産業用ねじ（同+33.6%）、中間販売業者（同+10.9%）、建設関連（同+22.2%）、自動車（同+2.6%）、船舶・船用機械（同+9.1%）、航空・宇宙（同+23.5%）、石油・ガス・石油化学（同+23.2%）、農業（農業機械等）（同+138.7%）、家電・食卓用金物（同+9.0%）が対前年比で増加となり、鉄道輸送（同△1.3%）、鉱山・採石・製材（同△54.2%）、機械装置・工具（同△6.4%）、電気機器（同△10.3%）、コンテナ等出荷機材（同△8.3%）が対前年比で減少となっている。また、外需は減少（同△10.8%）となっている。

- ③ 鉄鋼輸出は、63.4万ネット・トンで、前月の56.6万ネット・トンから増加（+12.0%）となり、対前年同月比は減少（△10.8%）となった。

- ④ 鉄鋼輸入は、173.0万ネット・トンで、前月の155.8万ネット・トンから増加（+11.0%）となり、対前年同月比は減少（△27.8%）となっている。鋼種別にみると対前年同月比で、炭素鋼（△23.7%）、合金鋼（△42.2%）、ステンレス鋼（△18.1%）となっている。

主要な輸入元としては、カナダが31.1万ネット・トン、メキシコが15.4万ネット・トン、メキシコ・カナダを除く南北アメリカが30.3万ネット・トン、EUが24.1万ネット・トン、欧州のEU非加盟国（ロシアを含む）が9.4万ネット・トン、アジアが60.2万ネット・トンとなっている。

主な荷受地は、大西洋岸で24.3万ネット・トン（構成比14.1%）、メキシコ湾岸部で81.6万ネット・トン（構成比47.2%）、太平洋岸で21.8万ネット・トン（構成比12.6%）、五大湖沿岸部で44.2万ネット・トン（構成比25.6%）となっている。

また、米国内消費に占める輸入（半製品を除く）の割合は 19.7%と、前月の 17.3%から 2.4 ポイント増となり、前年同月の 27.6%から 7.9 ポイント減となった。

- ⑤ 設備稼働率は 75.1%で、前月の 78.4%から 3.3 ポイント減となり、前年同月の 71.6%から 3.5 ポイント増となった。また、内需は 878.8 万ネット・トンとなり、対前年同月比で増加（+1.3%）となっている。

表1 米国における鉄鋼生産、設備稼働率、輸出入等（2025年10月）

|                                | 2025年 |        | 2024年 |        | 対前年比伸率(%) |        |
|--------------------------------|-------|--------|-------|--------|-----------|--------|
|                                | 10月   | 年累計    | 10月   | 年累計    | 10月       | 年累計    |
| 1.粗鋼生産（千ネット・トン）                |       |        |       |        |           |        |
| (1)Pig Iron                    | N/A   | N/A    | N/A   | N/A    | N/A       | N/A    |
| (2)Raw Steel（合計）               | 7,624 | 75,292 | 7,039 | 73,304 | 8.3%      | 2.7%   |
| Basic Oxygen Process(*1)       | N/A   | N/A    | N/A   | N/A    | N/A       | N/A    |
| Electric(*2)                   | N/A   | N/A    | N/A   | N/A    | N/A       | N/A    |
| Continuous Cast(*1及び*2の一部を含む。) | 7,600 | 75,049 | 7,013 | 76,060 | 8.4%      | -1.3%  |
| 2.設備稼働率（%）                     | 75.1  | 77.0   | 71.6  | 75.8   |           |        |
| 3.鉄鋼生産（千ネット・トン）(A)             | 7,692 | 76,425 | 6,987 | 72,283 | 10.1%     | 5.7%   |
| (1)Carbon                      | 7,352 | 72,723 | 6,652 | 68,925 | 10.5%     | 5.5%   |
| (2)Alloy                       | 183   | 2,015  | 170   | 1,724  | 7.6%      | 16.9%  |
| (3)Stainless                   | 158   | 1,687  | 165   | 1,634  | -4.2%     | 3.3%   |
| 4.輸出（千ネット・トン）(B)               | 634   | 6,261  | 710   | 7,604  | -10.8%    | -17.7% |
| 5.輸入（千ネット・トン）(C)               | 1,730 | 22,025 | 2,396 | 24,668 | -27.8%    | -10.7% |
| (1)Carbon                      | 1,331 | 16,448 | 1,745 | 18,745 | -23.7%    | -12.3% |
| (2)Alloy                       | 322   | 4,654  | 557   | 4,984  | -42.2%    | -6.6%  |
| (3)Stainless                   | 77    | 923    | 94    | 939    | -18.1%    | -1.7%  |
| 6.内需（千ネット・トン）                  | 8,788 | 92,189 | 8,672 | 89,347 | 1.3%      | 3.2%   |
| (D)=A+C-B                      |       |        |       |        |           |        |
| 7.内需に占める輸入の割合                  | 19.7  | 23.9   | 27.6  | 27.6   |           |        |
| (E)=C/D*100(%)                 |       |        |       |        |           |        |

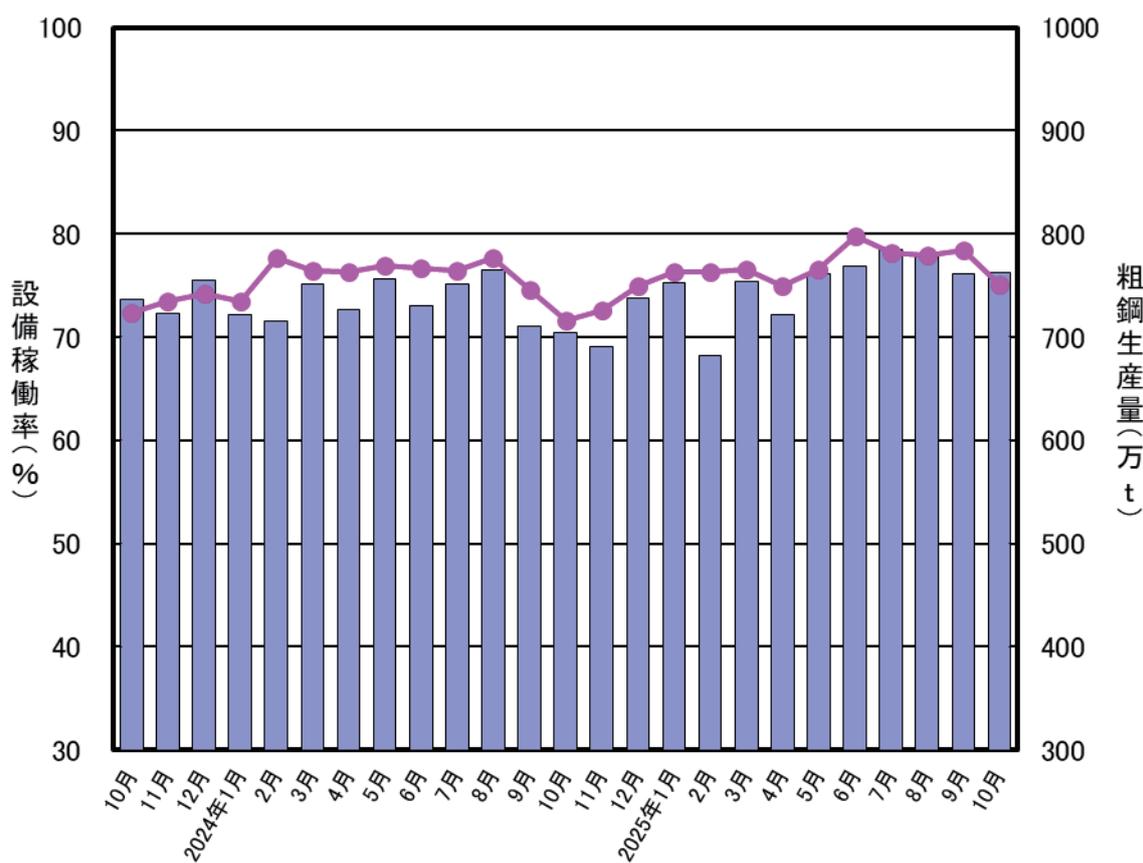
(注) ①出所：AISI(American Iron and Steel Institute)

②端数調整のため、合計の合わない場合もある。

表2 米国鉄鋼業の設備稼働率の推移

(単位：%)

| 月     | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 平均稼働 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2024年 | 73.4 | 77.7 | 76.4 | 76.3 | 76.9 | 76.7 | 76.4 | 77.7 | 74.6 | 71.6 | 72.6 | 75.0 | 75.4 |
| 2025年 | 76.3 | 76.3 | 76.5 | 75.0 | 76.6 | 79.8 | 78.2 | 77.9 | 78.4 | 75.1 |      |      | 77.0 |



折れ線グラフ：設備稼働率（左軸）  
棒グラフ：粗鋼生産量（右軸）

図1 米国における粗鋼生産量と設備稼働率の推移

別表1 米国の鉄鋼業データ(1)

|   | 2025  |          | 2024  |          | 2025-2024<br>% Change |         |
|---|-------|----------|-------|----------|-----------------------|---------|
|   | Oct.  | 10 Mos.  | Oct.  | 10 Mos.  | Oct.                  | 10 Mos. |
| <b>PRODUCTION:(Millions N.T.)</b>   |       |          |       |          |                       |         |
| Pig Iron  | N/A   | N/A      | N/A   | N/A      | N/A                   | N/A     |
| Raw Steel (total)   | 7.624 | 75.292   | 7.039 | 73.304   | 8.3%                  | 2.7%    |
| Basic Oxygen process  | N/A   | N/A      | N/A   | N/A      | N/A                   | N/A     |
| Electric  | N/A   | N/A      | N/A   | N/A      | N/A                   | N/A     |
| Continuous cast (incl. above)   | 7.600 | 75.049   | 7.013 | 76.060   | 8.4%                  | -1.3%   |
| Rate of Capability Utilization  | 75.1  | 77.0     | 71.6  | 75.8     |                       |         |
| <b>MILL SHIPMENTS: (000 N.T.)</b>   |       |          |       |          |                       |         |
| Total steel mill products   | 7,692 | 76,425   | 6,987 | 72,283   | 10.1%                 | 5.7%    |
| Carbon  | 7,352 | 72,723   | 6,652 | 68,925   | 10.5%                 | 5.5%    |
| Alloy   | 183   | 2,015    | 170   | 1,724    | 7.6%                  | 16.9%   |
| Stainless   | 158   | 1,687    | 165   | 1,634    | -4.2%                 | 3.3%    |
| <b>FOREIGN TRADE-STEEL MILL PRODUCTS:</b>                                   |       |          |       |          |                       |         |
| Exports (000 N.T.)  | 634   | 6,261    | 710   | 7,604    | -10.8%                | -17.7%  |
| Imports (000 N.T.)  | 1,730 | 22,025   | 2,396 | 24,668   | -27.8%                | -10.7%  |
| Carbon  | 1,331 | 16,448   | 1,745 | 18,745   | -23.7%                | -12.3%  |
| Alloy   | 322   | 4,654    | 557   | 4,984    | -42.2%                | -6.6%   |
| Stainless   | 77    | 923      | 94    | 939      | -18.1%                | -1.7%   |
| Imports excluding semi-finished   | 1,335 | 16,420   | 1,842 | 19,088   | -27.5%                | -14.0%  |
| <b>APPARENT STEEL SUPPLY EXCLUDING SEMI-FINISHED IMPORTS (000 NET TONS)</b> |       |          |       |          |                       |         |
| SEMI-FINISHED IMPORTS (000 NET TONS)  | 8,393 | 86,584   | 8,119 | 83,767   | 3.4%                  | 3.4%    |
| Imports excluding semi-finished as % apparent supply                        | 15.9  | 19.0     | 22.7  | 22.8     |                       |         |
| <b>MILL SHIPMENTS:SELECTED MARKETS</b>                                      |       |          |       |          |                       |         |
| Automotive  | 1,200 | 11,738   | 1,169 | 13,079   | 2.6%                  | -10.3%  |
| Construction & contractors' products  | 2,278 | 21,876   | 1,864 | 18,679   | 22.2%                 | 17.1%   |
| Service centers & distributors  | 1,981 | 20,003   | 1,786 | 18,078   | 10.9%                 | 10.6%   |
| Machinery,excl. agricultural  | 82    | 922      | 89    | 979      | -7.7%                 | -5.8%   |
| <b>EMPLOYMENT DATA:</b>   |       |          |       |          |                       |         |
| 12 mo. 2024 vs. 12 mo. 2023   |       |          |       |          |                       |         |
| Total Net Number of Employees<br>(000) Source: BLS                          |       | 145      |       | 144      |                       | 0.7%    |
| <b>FINANCIAL DATA:(Millions of Dollars) * Preliminary</b>                   |       |          |       |          |                       |         |
| 12 mo. 2024 vs. 12 mo. 2023   |       |          |       |          |                       |         |
| Steel Segment   |       |          |       |          |                       |         |
| Total Sales   |       | \$63,914 |       | \$71,562 |                       | -10.7%  |
| Operating Income  |       | \$4,253  |       | \$8,275  |                       |         |

別表2 米国の鉄鋼業データ(2)

|   | 2025  |         | 2024  |         | 2025-2024<br>% Change |         |
|---|-------|---------|-------|---------|-----------------------|---------|
|   | Oct.  | 10 Mos. | Oct.  | 10 Mos. | Oct.                  | 10 Mos. |
| <b>FOREIGN TRADE - STEEL MILL PRODUCTS:</b> |       |         |       |         |                       |         |
| Imports - Country of Origin (000 N.T.)      | 1,730 | 22,025  | 2,396 | 24,668  | -27.8%                | -10.7%  |
| Canada                                      | 311   | 4,033   | 545   | 5,562   | -42.8%                | -27.5%  |
| Mexico                                      | 154   | 2,521   | 360   | 2,909   | -57.2%                | -13.3%  |
| Other Western Hemisphere                    | 303   | 3,839   | 369   | 4,266   | -18.0%                | -10.0%  |
| EU  | 241   | 3,396   | 442   | 3,564   | -45.5%                | -4.7%   |
| Other Europe*                               | 94    | 754     | 49    | 754     | 91.3%                 | 0.0%    |
| Asia  | 602   | 6,745   | 566   | 6,815   | 6.2%                  | -1.0%   |
| Oceania                                     | 19    | 196     | 26    | 258     | -27.0%                | -23.9%  |
| Africa                                      | 6     | 540     | 38    | 541     | -84.3%                | -0.2%   |
| * Includes Russia                           |       |         |       |         |                       |         |
| Imports - By Customs District (000 N.T.)    | 1,730 | 22,025  | 2,396 | 24,668  | -27.8%                | -10.7%  |
| Atlantic Coast                              | 243   | 3,772   | 357   | 3,833   | -31.8%                | -1.6%   |
| Gulf Coast - Mexican Border                 | 816   | 10,418  | 1,037 | 11,236  | -21.3%                | -7.3%   |
| Pacific Coast                               | 218   | 2,500   | 228   | 2,675   | -4.4%                 | -6.5%   |
| Great Lakes - Canadian Border               | 442   | 5,159   | 742   | 6,726   | -40.4%                | -23.3%  |
| Off Shore                                   | 11    | 175     | 32    | 197     | -66.7%                | -10.8%  |

別表3 米国における需要分野別の鉄鋼出荷量

| MARKET CLASSIFICATIONS                            | CURRENT MONTH |         | YEAR TO DATE+ |         | CHANGE FROM 2024 |              |         |
|---|---------------|---------|---------------|---------|------------------|--------------|---------|
|   | NET TONS      | PERCENT | NET TONS      | PERCENT | SAME             |              | PERCENT |
|   |               |         |               |         | MONTH            | YEAR TO DATE |         |
|   |               |         |               |         | NET TONS         | PERCENT      |         |
| 1. Steel for Converting and Processing            |               |         |               |         |                  |              |         |
| Wire and wire products                            | 70,283        | 0.9%    | 727,429       | 1.0%    | -6.3%            | -70,252      | -8.8%   |
| Sheets and strip                                  | 128,674       | 1.7%    | 1,273,037     | 1.7%    | 53.7%            | 111,231      | 9.6%    |
| Pipe and tube                                     | 645,816       | 8.4%    | 6,581,881     | 8.6%    | 32.9%            | 1,719,484    | 35.4%   |
| Cold finishing                                    | 211           | 0.0%    | 2,967         | 0.0%    | 27.9%            | 665          | 28.9%   |
| Other   | 15,472        | 0.2%    | 157,460       | 0.2%    | -4.9%            | -7,057       | -4.3%   |
| Total   | 860,456       | 11.2%   | 8,742,774     | 11.4%   | 30.2%            | 1,754,071    | 25.1%   |
| 2. Independent Forgers (not elsewhere classified) | 7,733         | 0.1%    | 76,999        | 0.1%    | 46.8%            | 21,986       | 40.0%   |
| 3. Industrial Fasteners                           | 1,197         | 0.0%    | 12,290        | 0.0%    | 33.6%            | 3,090        | 33.6%   |
| 4. Steel Service Centers and Distributors         | 1,980,646     | 25.7%   | 20,003,490    | 26.2%   | 10.9%            | 1,925,006    | 10.6%   |
| 5. Construction, Including Maintenance            |               |         |               |         |                  |              |         |
| Metal Building Systems                            | 111,380       | 1.4%    | 955,875       | 1.3%    | -7.7%            | -66,832      | -6.5%   |
| Bridge and Highway Construction                   | 8,028         | 0.1%    | 78,628        | 0.1%    | 61.3%            | 19,690       | 33.4%   |
| General Construction                              | 1,871,007     | 24.3%   | 18,197,980    | 23.8%   | 24.2%            | 3,139,051    | 20.8%   |
| Culverts and Concrete Pipe                        | 0             | 0.0%    | 0             | 0.0%    | 0.0%             | 0            | 0.0%    |
| All Other Construction & Contractors' Products    | 287,538       | 3.7%    | 2,663,166     | 3.5%    | 23.9%            | 124,281      | 4.9%    |
| Total   | 2,277,953     | 29.6%   | 21,895,649    | 28.6%   | 22.2%            | 3,216,190    | 17.2%   |
| 7. Automotive                                     |               |         |               |         |                  |              |         |
| Vehicles, parts & accessories-assemblers          | 1,138,445     | 14.8%   | 11,177,774    | 14.6%   | 3.4%             | -1,241,659   | -10.0%  |
| Trailers, all types                               | 2,894         | 0.0%    | 20,739        | 0.0%    | 418.6%           | 2,104        | 11.3%   |
| Parts and accessories-independent suppliers       | 47,196        | 0.6%    | 433,474       | 0.6%    | -17.5%           | -103,200     | -19.2%  |
| Independent forgers                               | 11,423        | 0.1%    | 105,783       | 0.1%    | 11.3%            | 1,446        | 1.4%    |
| Total   | 1,199,958     | 15.6%   | 11,737,770    | 15.4%   | 2.6%             | -1,341,309   | -10.3%  |
| 8. Rail Transportation                            | 90,593        | 1.2%    | 917,190       | 1.2%    | -1.3%            | 28,332       | 3.2%    |
| 9. Shipbuilding and Marine Equipment              | 4,618         | 0.1%    | 48,269        | 0.1%    | 9.1%             | -3,305       | -6.4%   |
| 10. Aircraft and Aerospace                        | 400           | 0.0%    | 4,273         | 0.0%    | 23.5%            | 733          | 20.7%   |
| 11. Oil, Gas & Petrochemical                      |               |         |               |         |                  |              |         |
| Drilling & Transportation                         | 124,396       | 1.6%    | 1,348,217     | 1.8%    | 18.2%            | 270,977      | 25.2%   |
| Storage Tanks                                     | 6,312         | 0.1%    | 24,007        | 0.0%    | 901.9%           | 16,775       | 232.0%  |
| Oil, Gas & Chemical Process Vessels               | 2,013         | 0.0%    | 20,776        | 0.0%    | 8.8%             | 1,523        | 7.9%    |
| Total   | 132,721       | 1.7%    | 1,393,000     | 1.8%    | 23.2%            | 289,275      | 26.2%   |
| 12. Mining, Quarrying and Lumbering               | 27            | 0.0%    | 305           | 0.0%    | -54.2%           | -292         | -48.9%  |
| 13. Agricultural                                  |               |         |               |         |                  |              |         |
| Agricultural Machinery                            | 23,757        | 0.3%    | 123,504       | 0.2%    | 143.6%           | 6,677        | 5.7%    |
| All Other   | 1,009         | 0.0%    | 10,139        | 0.0%    | 62.5%            | 2,833        | 38.8%   |
| Total   | 24,766        | 0.3%    | 133,643       | 0.2%    | 138.7%           | 9,510        | 7.7%    |
| 14. Machinery, Industrial Equipment and Tools     |               |         |               |         |                  |              |         |
| General Purpose Equipment - Bearings              | 10,746        | 0.1%    | 115,390       | 0.2%    | 28.8%            | 44,064       | 61.8%   |
| Construction Equip. and Materials Handling Equip. | 26,143        | 0.3%    | 275,886       | 0.4%    | 5.8%             | -17,547      | -6.0%   |
| All Other   | 18,571        | 0.2%    | 252,166       | 0.3%    | -29.1%           | -41,598      | -14.2%  |
| Total   | 55,460        | 0.7%    | 643,442       | 0.8%    | -6.4%            | -15,081      | -2.3%   |
| 15. Electrical Equipment                          | 26,871        | 0.3%    | 278,487       | 0.4%    | -10.3%           | -41,562      | -13.0%  |
| 16. Appliances, Utensils and Cutlery              |               |         |               |         |                  |              |         |
| Appliances  | 179,501       | 2.3%    | 1,682,617     | 2.2%    | 8.9%             | -4,741       | -0.3%   |
| Utensils and Cutlery                              | 265           | 0.0%    | 5,632         | 0.0%    | 72.1%            | 4,309        | 325.7%  |
| Total   | 179,766       | 2.3%    | 1,688,249     | 2.2%    | 9.0%             | -432         | 0.0%    |
| 17. Other Domestic and Commercial Equipment       | 13,725        | 0.2%    | 117,484       | 0.2%    | 35.5%            | -5,052       | -4.1%   |
| 18. Containers, Packaging and Shipping Materials  |               |         |               |         |                  |              |         |
| Cans and Closures                                 | 34,864        | 0.5%    | 357,766       | 0.5%    | -51.3%           | -267,177     | -42.8%  |
| Barrels, drums and shipping pails                 | 31,389        | 0.4%    | 258,162       | 0.3%    | 12.5%            | -66,289      | -20.4%  |
| All Other   | 4,849         | 0.1%    | 50,931        | 0.1%    | -40.2%           | -46,535      | -47.7%  |
| Total   | 71,102        | 0.9%    | 666,859       | 0.9%    | -8.3%            | -156,011     | -19.0%  |
| 19. Ordnance and Other Military                   | 1,402         | 0.0%    | 18,327        | 0.0%    | 117.0%           | 2,896        | 18.8%   |
| 20. Export  | 625,000       | 8.1%    | 6,262,721     | 8.2%    | -12.0%           | -1,341,596   | -17.6%  |
| 21. Non-Classified Shipments                      | 137,925       | 1.8%    | 1,783,848     | 2.3%    | -47.5%           | -428,577     | -19.4%  |
| TOTAL SHIPMENTS (Items 1-21)                      | 7,692,319     | 100.0%  | 76,425,069    | 100.0%  | 9.2%             | 3,693,882    | 5.1%    |

+ - Includes revisions for previous months

P - Preliminary, final figures will appear in the detailed quarterly report.

\* - Net total after deducting shipments to reporting companies.



皆さん、こんにちは。ジェトロ・ウィーン事務所の徳島です。

12月下旬から1月上旬までのクリスマス・年末年始シーズンは日本に一時帰国していたため、ウィーンに戻ってきてからの気候の変化には驚かされています。このお便りを書いている1月中旬は、最高気温が連日0℃を下回る厳しい寒さが続いています。日本滞在中は過密な日程が続いたこともあり、帰国後しばらくは倦怠感や発熱、頭痛といった風邪のような症状に悩まされていました。

ウィーンでは毎年、大晦日の午後から始まる「シルヴェスタープファート (Silvesterpfad)」と呼ばれるカウントダウンイベントで新年を祝うのが恒例となっています。今年もウィーン中心部の他、プラターを含む全8か所で開催され、計55万人が来場したそうです。道沿いには数多くの屋台が並び、各会場ではショーやライブ演奏が行われます。深夜0時になると、シュテファン大聖堂の鐘 (Pummerin) が鳴り響き、「美しく青きドナウ」のワルツに合わせて踊り出すのが伝統的な習慣です。今年は残念ながら参加できませんでしたが、ウィーン滞在中に一度は訪れてみたいイベントです。

1月9日には、今シーズン初めての本格的な積雪が観測されました。街の人々は今年最初の雪に写真を撮って喜び、事務所近くの市立公園 (Stadtpark) では、子どもたちが夢中になって雪遊びをしている姿が印象的でした。一方で、リングシュトラッセのような交通量の多い道路でさえ除雪が追いつかないほどの積雪となり、市内では車両のスリップ事故が多発したそうです。今後もしばらくは寒波が続くとのことで、各報道機関も注意を呼び掛けています。

自宅近くの旧ドナウ川 (Alte Donau) では、数日間にわたる寒波の影響で水面が凍結し、氷の上を歩く人や、アイスホッケー、スケートを楽しむ人の姿が多く見られます。旧ドナウ川は1870年代の洪水対策によってドナウ川本流と切り離され、現在は水流が少ない湖となっているため、例年冬になると凍結するようです。ただし、温かい地下水の流入によって氷が薄くなることもあり、落下の危険性が伴うことから、ウィーン市はアイススケートなどの行為を推奨しておらず、あくまで自己責任であることを強調しています。今年に入ってすでに何人かが落下したとの報道もありますが、幸いにも軽症で済んだようです。

気候に関連した話題をもう一つ取り上げますと、1月19日の夜にオーストリア各地の上空でオーロラが観測されました。過去20年以上で最も強力な太陽嵐が地球の磁場に衝突したことによって発生したもので、オーストリアに限らずヨーロッパ各地でも鮮明に見られたようです。ウィーンでも、街の灯りが比較的少ない郊外や高台では緑色や紫色の光が観測されたと報道されていました。このニュースを知ったのは翌日のことで、せっかくのオーロラチャンスを逃す形となってしまいました。日本でも北海道や岩手で観測されたようですが、日本の皆さんはご覧になれましたでしょうか。

写真は、凍った旧ドナウ川を歩くコブハクチョウの様子です。



ジェトロ・ウィーン事務所  
産業機械部 徳島 康介



皆様、こんにちは。ジェトロ・シカゴ事務所の村山です。

年が明けたシカゴでは、いよいよ冬本番を迎えています。気温が氷点下を下回ることは当たり前で、0℃を超えると「今日は暖かいな」と感じるほどになってきました。雪がちらつく日も多く、寒さと転倒の恐怖に二重に震えながら、凍った道を歩く日々を過ごしています。

実際、どの程度寒いのかと言うと、シカゴの1月の平均気温は、「最高気温」が約0℃、最低気温が約-7℃です。一方、東京は最高気温が約10℃、最低気温が1~2℃程度ですので、平均でも10℃以上の差があります。東京の「よく冷える日」が、シカゴでは「比較的暖かい日」に感じます。さらに風が強い日が多く、体感的には一段と寒く感じます。

北米大陸の内陸に位置するシカゴでは、海洋による緩和作用を受けにくく、冬季に大陸自体が急激に冷え込むため、極めて低い気温が発生しやすくなっています。そこへ北極圏やカナダから南下してくる強烈な寒気が直接入り込むため、シカゴはしばしば-20℃以下の厳寒にさらされます。また、シカゴの周辺は大平原が広がる地形のため遮るものが少なく、冬季の平均風速は秒速6メートルに達し、歩くのが困難なほどの強風が吹きつけ体感温度を更に下げます。さらに、ミシガン湖の比較的暖かい湖面と寒気がぶつかることで局地的な降雪が発生し、晴天から突然の吹雪へと天気が急変することもあります。

そんな厳しい冬を乗り越えるため、シカゴでは万全の雪対策がとられています。市の道路・衛生局（Department of Streets and Sanitation）が除雪・融雪作業を統括しており、カメラネットワークや舗装センサーで市内の路面状況を常時監視しています。降雪時には、気象観測や国立気象局などとの連携によって天気を予測し、GPSを搭載した車両を効率的に配置して路面のパトロールや除雪、融雪剤の散布を行うそうです。おかげで大雪の後にも速やかに除雪作業が行われ、我々は安心して市内をめぐることができます。ただ、歩道に撒かれた融雪剤が派手な青色をしており、初めて見たときにはガラス片が飛び散っているかと思って驚きました。視認性を高める効果などがあるそうですが、少し踏むのをためらいたくなります。

また、シカゴの寒さはスポーツにも影響します。今シーズン、シカゴに拠点を置くフットボールチームであるシカゴ・ベアーズが、15年ぶりにポストシーズンで勝利しました。ちなみに、15年間未勝利はNFLの記録にもなっていたそうです。ベアーズがレギュラーシーズンで好成績を残したため、本拠地であるソルジャー・フィールドで試合が行われたのですが、このスタジアムは屋根がありません。雪の降る中で行われたポストシーズン第

1戦はベアーズが劇的な逆転勝利を収めました。そのため、「この寒さはホームのベアーズが有利なのは」とも言われましたが、同じスタジアムで行われた第2戦は延長の末惜しくも敗れてしまったので、やはり寒さだけでは勝敗は決まらないようです。

日本でも大雪の影響が出ているようですが、皆様お気をつけてお過ごしください。それではまた。

写真は、凍るミシガン湖畔とシカゴの街並みの様子です。



ジェトロ・シカゴ事務所  
産業機械部 村山 裕紀

# 一般社団法人 日本産業機械工業会

---

THE JAPAN SOCIETY OF INDUSTRIAL MACHINERY MANUFACTURERS

本 部 〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号(機械振興会館4階)

TEL : (03) 3434-6821

FAX : (03) 3434-4767

関西支部 〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル2階)

TEL : (06) 6363-2080

FAX : (06) 6363-3086